

## 第34回青年部総会議案書

# 「志高く」

～十年後の兵庫経済を担う「経営者」が育つ環境づくり～

日時 2025年4月25日（金）17時30分～

会場 ホテルオークラ神戸



一般社団法人兵庫県中小企業家同友会青年部

## 第34回青年部総会 式次第

- 《第1部 基調講演》 17:30～18:20
1. 開会
  2. 部会長挨拶
  3. 基調講演趣旨説明
  4. 報告者紹介
  5. 基調講演
  6. 第1部閉会宣言
- 《第2部 卒業式》 18:30～19:01
1. 開会
  2. 卒業生紹介
  3. 卒業生出し物
  4. 卒業証書授与
  5. 送辞
  6. 答辞
  7. 第2部閉会宣言
- 《第3部 総会》 19:10～19:40
1. 開会
  2. 議長選出
  3. 審議事項
    - 第1号議案 2024年度活動報告
    - 第2号議案 2025年度青年部役員選出
    - 第3号議案 2025年度活動方針案及び年間スケジュール案
    - 第4号議案 2025年度予算案
  4. 議長解任
  5. 相談役閉会挨拶
- 《第4部 各グループ活動方針発表》 19:50～20:45
1. 開会
  2. 部会長挨拶
  3. 活動方針発表
    - 青年部第1グループ ..... 31 ページ
    - 青年部第2グループ ..... 39 ページ
    - 青年部第3グループ ..... 47 ページ
    - 青年部第4グループ ..... 55 ページ
    - 青年部第5グループ ..... 63 ページ
    - 青年部第6グループ ..... 70 ページ
    - 諸規程・資料等 ..... 78 ページ
- 《第5部 懇親会》 21:00～22:35

# 第1号議案-1

作成日: 2025.3.31  
作成者: 西村勇人

## 2024年度青年部 第1グループ活動報告

開催月	開催日	行事名	行事内容	報告者・進行役・インストラクター	参加者数	会場
5月	30日	5月例会	本気で挑んで勝ち續をつける！	報告者: 遠藤 広章氏(株式会社ENDO 代表取締役 北播支部) 講師: 西村 勇人氏(株式会社西村屋フードコネクト 常務取締役 中神戸支部)	88名(青年部会員68名+本会7名+青年部対象ゲスト13名)自G60名	アリストンホテル神戸
6月	13日	6月G長研修	G長研修 発言機会をコントロールし、活発な議論を促す！	報告者: 島田 大孝氏(トラストリング株式会社 代表取締役 阪神支部)	28名(自G27名+他G1名)	株式会社エー・ティ・エム
	28日	6月渉外例会	『教え合い文化で右肩上がりの圧倒的成長！』 ～成長の種は青年部の学びにある～	報告者: 山下 徹也氏(日和建設株式会社 東神戸支部 渉外委員会)	89名(青年部会員68名+本会19名+青年部対象ゲスト12名)自G49名	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
7月	20-21日	7月MG研修	数字を使って交流しよう！	報告者: 深谷 正法氏(株式会社深谷工務店 代表取締役 神戸中央支部)	35名(青年部会員29名+本会4名+青年部対象ゲスト2名)自G 22名	株式会社エー・ティ・エム
	30日	7月43ビジョン例会	想いは手法の上流にあり！想いなき手法は無力なり！ ～ビジョンと描く異業種への挑戦！～	報告者: 深澤 有也氏(株式会社atelier SUBACO 代表取締役 神戸中央支部)	91名(青年部会員68名+本会7名+青年部対象ゲスト26名)自G50名	相楽園(THE SORAKUEN) 神戸市産業振興センター会議室&神戸シーバス both KOBE
8月	4日	納涼会	類人猿たちの1000万ドルのサンセットクルーズ！！	記念講演: 米津 健一氏(日本情報クリエイティブ株式会社 代表取締役 会長 宮崎同友会)	38名(青年部会員38名)自グループ 37名 37%	
	29日	8月ウエルカム例会 青年経営者全国交流会	創業6年で年商10億円、圧倒的ブランディング戦略！！ 集え！変革者 ～日本のひなから照らす未来～	報告者: 三木 博史氏(株式会社福翔土木 代表取締役 中はりま支部)	110名(青年部会員67名+本会20名+青年部対象ゲスト23名)自G54名	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
9月	19-20日	9月サポーター広報例会	青年部活動は未来への投資	報告者: 近畿2府4県から代表して各県御一人報告	20名(自G20名)	宮崎
	28日	中間検証	KPTAを用いた中間検証の実施	報告者: 小西 啓介氏(株式会社ウエストフードブランドニング 代表取締役 香川同友会)	95名(青年部会員66名+本会9名+青年部対象ゲスト15名+会員企業5名)自G49名	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
10月	4日	近畿圏合同例会	志高く、共に立ちあがれ 我々青年経営者が圧倒的ニュースタンダードを創る！	報告者: 前田 祐輔氏(アドベンチャーリンク 神戸中央支部)	14名(自G14名)	西村屋和味旬彩別館
	13日	オール兵庫	熱くなれ！！ 兵庫の未来は私たちがつくる	記念講演: 小西 啓介氏(株式会社ウエストフードブランドニング 代表取締役 香川同友会)	70名(自G70名)	神戸ポートピアホテル
11月	26日	11月研修事業	リーダーの想いの影響力を体験する研修	報告者: 小坂 洋平氏(株式会社ワールドサニー 代表取締役 京都同友会 青年部 部長)	28名(青年部会員自G24名、他G3名、OB1名)	中央区文化センター
	28日	渉外ミニイベント	兵庫×京都青年部交流イベント渉外ハスティア～	報告者: 水野 賢一郎氏((一社)オムケア 代表理事 東神戸支部)	42名(青年部会員自G22名、OB 1名、京都17名、滋賀2名)	株式会社ワールドサニー
12月	8日	12月クリスマス会	～Happy Christmas Party～	報告者: 池端 浩美氏(ゲストハウス神戸なでしこ屋 代表 中神戸支部)	実参加数: 90名(青年部会員自G39名、ゲスト51名)	ラ・スイート神戸オアシヤ インズガーデン
	27日	12月43ビジョン例会	業界は俺たちが変える！	報告者: 福満“グリズリー”ヒロユキ氏、垣崎 辰徳氏	73名(青年部会員自G48名、他G3名、本会7名、ゲスト15名)	ホテルサンルートソブラ神戸
1月	31日	1月ウエルカム例会	青年部活動で見つけた成功へ向かう羅針盤	報告者: 鷹取 昌伸氏(株式会社エー・ティ・エム 取締役、中神戸支部)	110名(青年部会員自G67名、他G6名、本会14名、ゲスト23名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
	21日	2月研修・サポーター広報イベント	聞いた人から売れていく！ショート動画 × キャッチコピーの力	報告者: 鷹取 昌伸氏(株式会社エー・ティ・エム 取締役、中神戸支部)	54名(自G35名+他G6名+ゲスト3名+会員企業6名+本会員4名)	兵庫区文化センター
2月	27日	2月例会	右腕が切り拓く自社成長の未来	報告者: 鷹取 昌伸氏(株式会社エー・ティ・エム 取締役、中神戸支部)	75名(自G43名他G16名+本会9名+青年部対象ゲスト7名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
	27日	褒賞会	圧倒的褒賞会 時間、想い、驚かりを大切にできた仲間と共に		77名(自G76名+青連協1名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル

# 第1号議案-2

作成日: 2025.3.31  
作成者: 二瓶浩昌

## 2024年度青年部 第2グループ活動報告

開催月	開催日	行事名	行事内容	報告者・進行役・インストラクター	参加者数	会場
4月	18日	青年部総会	定時総会、各グループ方針発表、懇親会		305名(第1G47名、第2G42名、第3G41名、第4G29名、第5G45名、第6G49名、青連協11名、他府県・OB38名、ゲスト3名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
5月	2日	グループ長研修	グループ長研修	講師: 二瓶 浩昌氏(株式会社サンナラボ 代表取締役 阪神支部サブ講師: 東嶋 康博氏(かまでん株式会社 専務取締役 東播支部))	19名(自G18名+ゲスト1名)	中央区文化センター
	5月例会	理想の姿をアップデート！ ～明日から実践「頼る」スキル～	経営指針書はここまで生かせる 描いた未来に向かって、ひたむきに取り組んで来た軌跡	報告者: 後藤 彰大氏(株式会社日伸メディアカール 代表取締役 中神戸支部 第2G幹事長)	96名(自G72名+ゲスト24名)	ホテルモントレ姫路
6月	27日	6月指針検証例会	経営指針書はここまで生かせる 描いた未来に向かって、ひたむきに取り組んで来た軌跡	報告者: 鎌田 翔悟氏(株式会社アソビゴエ 代表取締役 神戸中央支部 第2G副幹事長)	64名(自G40名+他G4名+本会2名+ゲスト18名)	HOTEL CASTLE PLAZA
	10日	6月ミニイベント	明日から使えるinstagramの活用方法・バズセッション	ファンリレーター: 堀田 裕史氏(StudioHORI 代表 中はりま支部所属 青年部第2グループ総務強化委員長)	33名(自G28名+他G1名+ゲスト4名)	じばさんびる
7月	29日	7月総務例会	青年部活動とは？ ～異なる活動の理解と認識～	報告者: 総務委員会 川崎委員長、指針検証委員会 越委員長、研修委員会 國藤委員長、例委員会 近成委員長、組織強化委員会 堀田委員長、増強検証委員会 方山委員長、交流委員会 山本委員長	85名(自G48名+他G5名+本会5名+ゲスト27名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
	6日	納涼会	委員会対抗で競って委員会メンバー同士の団結や委員会の活性化しよう！	ファンリレーター: 岡村 有希子氏(Edumuse株式会社 代表取締役 神戸中央支部)	30名(自G28名+他G1名+ゲスト1名)	明石商工会議所
8月	2日	8月事業	事業: EG事業共感の力で理想の姿に近づける！ ～感情を制する者は、人と経営を制する～	ファンリレーター: 岡村 有希子氏(Edumuse株式会社 代表取締役 神戸中央支部)	25名(自G42名+他G1名+ゲスト5名)	中央区文化センター
	30日	8月ウエルカム例会	利益大幅アップ！その裏側の課題 ～2年間で売上4億円から8億円超え！外部環境の荒波を乗り越えるための覚悟と行動～	報告者: 今井 一之介氏(今啓パール株式会社 代表取締役社長 神戸中央支部)	123名(自G52名+他G15名+ゲスト51名+本会4名+県外1名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
9月	26日	9月例会	文殊の知恵で未来を切り拓け ～Visionを共有する組織戦略～	報告者: 広納 華良氏(Reea salon & school 代表 北はりま支部)	14名(自G14名)	ホテル日航姫路
	28日	中間検証	中間検証	ファンリレーター: 市橋 紀氏(株式会社トナーハク 取締役 神戸中央支部) 山地 伸正氏(株式会社ワイジェイグループ 代表取締役 中はりま支部)	32名(自G31名+他G1名)	センタープラザザ西館 会議室
10月	9・20日	青年経営者全国交流会	集い！変革者 ～日本のひびから照らす未来～	記念講演: 米津 健一氏(日本情報クリエイティブ株式会社 代表取締役 宮崎同友会)	146名(第1G20名+第2G24名+第3G21名+第4G20名+第5G20名+第6G31名+青連協10名)	富崎
	5・6日	10月MG研修	初心者も楽しめるMG研修	インストラクター: 鎌田 翔悟氏(株式会社アソビゴエ 代表取締役 神戸中央支部)	78名(自G58名+ゲスト14名+本会6名)	HOTEL CASTLE PLAZA
11月	28日	近畿圏合同例会	志高く、共に立ちあがれ 我々青年経営者が圧倒的にニュースタートを創る！	報告者: 近畿2府4県から代表して各県御一人報告	269名(第1G46名+第2G49名+第3G46名+第4G31名+第5G36名+第6G50名+青連協11名)	神戸ポートピアホテル
	13日	オール兵庫	熱くなれ！ 兵庫の未来は私たちがつくる	記念講演: 小西 啓介氏(株式会社ウエストアワードブランドプランニング 代表取締役 香川同友会)	361名(第1G70名+第2G61名+第3G58名+第4G49名+第5G50名+第6G62名+青連協11名)	神戸ポートピアホテル
12月	8日	12月事業(クリスマス会)	未来に繋ぐワクワクを	進行役: 総務委員会	103名(自G41名+ご家族20名+子供42名)	神仙閣 神戸店
	26日	12月指針検証例会	経営指針書の虎 ～Catch the Chance！新しい未来をつかみ取れ！～	報告者: 近成 淳氏(株式会社マリメイ 代表取締役 阪神支部) 櫻井 大樹氏(朝和自動車株式会社 代表取締役 中はりま支部) 柳井 寛之氏(株式会社やないメディアカルサービス 代表取締役 真神支部) 福井 啓太氏(株式会社成田 代表取締役 兵庫支部)	82名(自G49名+ゲスト17名+他G11名+本会1名+会員企業4名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
1月	15日	1月事業	チームワークの真価を引き出す新感覚研修！	進行役: 研修委員会	82名(自G50名+ゲスト26名+他G5名+本会4名)	中央区文化センター
	25日	1月最終検証	最終検証	ファンリレーター: 高橋 城太郎氏(株式会社ティエーエツチエス 西はりま支部) 寺川 敏博氏(株式会社多可町地域商社RAKU 代表取締役 北播支部)	27名(自G26名+他G1名)	中央区文化センター
2月	30日	1月ウエルカム例会	青年経営者のための成長戦略 ～限られたリソースで未来を切り開く～	報告者: 山地 伸正氏(株式会社ワイジェイグループ 代表取締役 中はりま支部) 富賀見 大輔氏(グランブルー 代表 西神戸支部)	76名(自G57名+他G2名+本会2名+ゲスト15名)	ホテルモントレ姫路
	1・2日	2月MG研修	初心者も楽しめるアップデートMG研修Part2	インストラクター: 鎌田 翔悟氏(株式会社アソビゴエ 代表取締役 神戸中央支部)	23名(自G10名+本会1名+ゲスト12名)	アソビゴエ
3月	5日	2月ミニイベント	お悩み相談バズセッション	ファンリレーター: 中西 健範氏(THS整骨院&THSGYM 代表 中はりま支部)	24名(自G24名)	REUNION ～リユニオン～
	27日	2月第2・第4グループ2月合同例会	一期一会のその先に ～過去が紡ぐ未来、歩んだ道のりが自分を養える。～	記念講演: 住友 良子氏(有限会社事務所スミトモ 専務取締役 神戸中央支部 青年部連絡協議会第1分科会)、井坂 拓也氏(エム・イー・ジー株式会社 代表取締役 神戸中央支部) 第2分科会: 大黒 寛彦氏(株式会社ニュークリエイト 代表取締役 中神戸支部)	183名(自G66名+ゲスト30名+他G10名+本会18名+第5G46名+ゲスト13名)	ラ・スイート神戸オーシャンガーデン
3月	28日	褒賞会	「理想の姿をアップデート」の到達点！ ～1分一秒は学びのチャンス！この時間を振り返り賞賛し合い未来に繋ぐ～	進行役: 総務委員会	82名(自G80名+他G1名+ゲスト1名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
	31日	3月ミニイベント	青年部での学びと実践 ～幹事長を経験して、今だから語れること～	報告者: 後藤 彰大氏(株式会社日伸メディアカール 代表取締役 中神戸支部)	32名(自G23名+他G5名+ゲスト4名)	されど青き空を知る

# 2024年度青年部 第3グループ活動報告

作成日: 2025.3.31  
作成者: 大井啓史

## 《第1号議案-3》

開催月	開催日	行事名	行事内容	報告者・進行役・インストラクター	参加者数	会場
4月	18日	青年部総会	定時総会、各グループ方針発表、懇親会		305名(第1G47名、第2G42名、第3G41名、第4G29名、第5G45名、第6G49名、青連協11名、他府県・OB38名、ゲスト13名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
5月	7日	5月研修事業	自社の会議に活かせる研修	インストラクター: 嵯峨 秀祥氏(株式会社えいぎょうコンサルティング代表 中はりま支部)	20名(自G14名+ゲスト1名+他G5名)	中央区文化センター
	30日	5月例会	向き合い、気づき、実践 ~困難な状況で得た経験と覚悟が新時代を創る~	報告者: 永原 盟千氏(株式会社青粒 取締役副社長 青年部会員)	69名(自G56名+ゲスト8名+他G・OB5名)	THE SORSKUEN
6月	15・16日	6月研修事業	MG研修	インストラクター: 吉木 大雄氏(株式会社Trad Style 代表取締役 神戸中央支部)	26名(自G14名+他G6名+OB2名+本会2名+本会ゲスト1名+ゲスト1名)	センタープラザ西館会議室
	28日	6月ウェルカム例会	自分が変われば自社が変わる! 天清式同友会の使い方	報告者: 天清 渚氏(株式会社日越 代表取締役 西神戸支部)	68名(自G37名+他G6名+本会2名+ゲスト13名)	アルモニアアッシュ
7月	30日	7月例会	ご縁は常にあなたの身近にある	報告者: 木村 圭介氏(株式会社MoiLife 代表取締役 東神戸支部)	66名(自G42名+青連協3名+本会5名+他G9名+ゲスト7名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
8月	24日	納涼会	子どもにかえって交流しよう! スマホはなしよ	進行役: 交流委員会	25名(自G24名+他G1名)	兵庫県立いしま自然体験センター
	30日	8月例会	「自分らしく」を貫け! 踏み出そう、今しか出来ない経験を	報告者: 田野口 直生氏(有限会社長野エーエス 代表取締役社長 長野県中小企業同友会 上田支部 支部長)	51名(自G40名、他G3名、ゲスト2名、県外5名、本会1名)	ソラ神戸(旧名称・北野クラブソラ)
9月	19・20日	青年経営者全国交流会	集え! 変革者 ~日本のひなから照らす未来~	記念講演: 米津 健一氏(日本情報クリエイティブ株式会社 代表取締役 会長 宮崎同友会)	147名(第1G20名+第2G24名+第3G21名+第4G20名+第5G20名+第6G32名+青連協10名)	宮崎
	27日	9月例会	時代を生き抜く適者生存のススメ! 業界の流れを先読みした、自社の在り方へのこだわり	報告者: 大井 啓史氏(株式会社おお井 取締役 東神戸支部)	58名(自G39名+他G本会13名+ゲスト6名)	北野プラザ大甲荘
10月	15日	研修事業	G長研修 ハズセクションを100%楽しむ!	インストラクター: 小川 貴生氏(有限会社インイ 代表取締役 東播支部)	11名	東播磨生活創造センター つかこむ
	28日	近畿圏合同例会	志高く、共に立ちあがれ 我々青年経営者が圧倒的ニュースタンダードを創る!	報告者: 近畿2府4県から代表して各県御一人報告	269名(第1G46名+第2G49名+第3G46名+第4G31名+第5G36名+第6G50名+青連協11名)	神戸ポートピアホテル
11月	13日	オール兵庫	熱くなれ!! 兵庫の未来は私たちがつくる	記念講演: 小西 啓介氏(株式会社ウエストフートプランニング 代表取締役 香川同友会)	361名(第1G70名+第2G61名+第3G58名+第4G49名+第5G50名+第6G62名+青連協11名)	神戸ポートピアホテル
	20日	11月同期会	同期会 兵庫の魅力発信プロジェクト みんなには同期がいるよ!全員集合!!縁でつなぐ兵庫の未来	進行役: 組織強化委員会	45名(自G43名+ゲスト2名+他G1名)	中央区文化センター
12月	30日	クリスマス会	クリスマス会 Let's enjoy&say thank you 家族と一緒に成長する企業の未来	進行役: 交流委員会	18名	有馬兵衛 向陽閣
12月	28日	12月例会	つながりが支える経営の力 硬い頭はすてちまえっ!	報告者: 内海 慎輔氏(株式会社内海グループ 代表取締役 東播支部)	79名(自G44名+ゲスト17名+他G5名+本会13名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
1月	30日	1月ウェルカム例会	適応力が勝る! 新たな視点や知識が経営革新に繋がる	報告者: 赤元 裕介氏(株式会社ワイズケア 代表取締役 中神戸支部)	102名(自G50名+ゲスト36名+他G7名+本会4名+青連協3名+会員企業2名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
2月	28日	2月例会	好奇心が未来を切り拓く! 好ひとアイデアは距離に比例する	報告者: 吉木 大雄氏(株式会社Trad Style 代表取締役 神戸中央支部)	83名(自G51名+ゲスト14名+他G5名+本会11名+青連協1名+会員企業2名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
3月	27日	褒賞会	君は駆け抜けたか!? ヘアオフワードを起こせる文化作り	進行役: 戦略総務委員会	67名(自G67名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル

# 第1号議案-4

作成日：2025.3.31  
作成者：岡田雄貴

## 2024年度青年部 第4グループ活動報告

開催月	開催日	行事名	行事内容	報告者・進行役・インストラクター	参加者数	会場
4月	18日	青年部定時総会	定時総会、各グループ方針発表、懇親会		305名(第1G47名、第2G42名、第3G41名、第4G29名、第5G45名、第6G49名、青連協11名、他府県・OB38名、ゲスト3名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
5月	15日	G長研修	自社に活かす会議研修	インストラクター：岡田雄貴氏(株式会社OK不動産 代表取締役 中はりま支部)	6名	神戸市男女共同参画センター あすてっくKOBE
5月	31日	5月例会	自己開示をしたからこそ生まれた可能性 ～原点こそが未来を創造する～	報告者：平城一馬氏(株式会社平城左官 代表取締役 中はりま支部)	61名(自G43名+他G6名+青連協3名+ゲスト4名+本会5名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
6月	11日	6月研修事業	個々の違いを知り、認め合うために個性心理学を体験し、自身、社員の生まれ持った個性を知ろう。	司会講師：小谷祐介氏(cotty 代表 中はりま支部)	26名(自G25名+他G1名)	じばさんびる
6月	27日	6月ウェルカム例会	本気本音で関われる仲間と成長 経営について真剣に学べる環境がここにある	報告者：門脇正将氏(株式会社ケー・ワイ・ティ 専務取締役 西神戸支部)	44名(自G37名+他G1名+青連協2名+ゲスト3名+本会1名)	アルモニアアソシエツ姫路
7月	30日	7月例会	学びと仲間が照らす自社の未来 ～若手経営者に伝えたい！経営に効いた「即実践」実例集～	報告者：宮崎隆成氏(株式会社宮崎電気 代表取締役 中はりま支部)	58名(自G34名+他G11名+青連協2名+ゲスト4名+本会4名+会員企業3名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
8月	4日	8月交流事業(納涼会)	経営者アルアル！みんなで『経営黒歴史カルタ』をつくろう！	進行役：交流委員会	27名(自G20名+他G3名+青連協1名+ゲスト1名+会員企業2名)	三宮コンベンションセンター
8月	29日	8月涉外例会	垣根を超えた繋がりで昇った景色 ～チーム力で会社の発展へ～	報告者：浅尾亮祐氏(株式会社Next Stage 代表取締役 西はりま支部)	69名(自G34名+他G14名+青連協4名+ゲスト5名+本会12名)	ソラ神戸(旧名称:北野クラブソラ)
9月	7日	中間検証	KPTAシートを用いて中間検証を実施	進行役：総務・広報委員長&総務幹事	12名	神戸市中央区文化センター
9月	19・20日	青年経営者全国交流会	集え！変革者 ～日本のひなたから照らす未来～	記念講演：米津 健一氏(日本情報クリエイティブ株式会社 代表取締役 会長 宮崎同友会)	147名(第1G70名+第2G24名+第3G21名+第4G20名+第5G20名+第6G32名+青連協10名)	宮崎
9月	27日	9月例会	学ばなければならぬ理由 ～そこに愛はあるのか～	報告者：野阪愛由氏(株式会社ZAPPA 代表取締役 中はりま支部)	56名(自G41名、他G3名、ゲスト10名、本会2名)	中央区文化センター
10月	1日	10月事業	目指せ！プレない経営 自社を良くする事業計画	進行役：学べる委員会	34名(自G27名+他G2名+ゲスト5名)	中央区文化センター
10月	28日	近畿圏合同例会	志高く、共に立ちあがれ 我々青年経営者が圧倒的ニュースタンダードを創る！	報告者：近畿2府4県から代表して各県御一人報告	269名(第1G46名+第2G49名+第3G46名+第4G31名+第5G38名+第6G50名+青連協11名)	神戸ポートピアホテル
11月	13日	オール兵庫	熱くなれ！！ 兵庫の未来は私たちがつくる	記念講演：小西啓介氏(株式会社ウエストフートブランドニング 代表取締役 香川同友会)	361名(第1G70名+第2G61名+第3G58名+第4G49名+第5G50名+第6G62名+青連協11名)	神戸ポートピアホテル
11月	23日	11月研修事業	EG活用セミナー EG研修中級を實施	講師：田中翔紘氏(有限会社エッセンシャルエデュケーションセンター 代表取締役 神戸中央支部)	15名(自G10名+他G3名+本会2名)	じばさんびる
12月	15日	12月交流会(クリスマス会)	社長だからといって感謝されているやつおらんよな？の会	進行役：交流委員会	30名(自G22名+他G5名+ゲスト2名+本会1名)	神戸ポートミュージアム1階「フードホール」TOOTHFOOTH
12月	26日	12月例会	仲間との出逢いが成長の原点 ～本気本音で関わる青年部活動と共に～	報告者：森 佑佑氏(株式会社メイスター 取締役 専務 神戸中央支部)	40名(自G26名+他G5名+青連協3名+ゲスト2名+本会4名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
1月	31日	1月例会	仲間とともに未来を掴め！ ～携わって育てての人と紡いだ絆でできる新たな挑戦を！～	報告者：坂本裕規氏(スローペース株式会社 代表取締役 東播支部)	33名(自G21名+他G4名+ゲスト3名+本会5名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
2月	27日	2月合同例会(第2G・第4G合同例会)	記念報告：一期一会の先に、過去が新しく未来、歩んだ道のりが自分を支える 第4G報告：仲間とだから目指せる、未来への挑戦～自己開示による可能性の拡大～	記念報告者：住友良子氏(有限会社事務所ストミエ 専務取締役 神戸中央支部) 第4G報告者：大黒寛登氏(株式会社ニュークワイエット 代表取締役 中神戸支部)	185名(第2G66名+第4G44名+ゲスト34名+他G・本会41名)	ラ・スイート神戸オアシヤ インズガーデン
3月	28日	褒賞会	挑戦の証、そして新たな一歩 栄光の瞬間を仲間と共に、出合いと成長に感謝を込めて	進行役：総務・広報委員会	46名(自G43名+青連協3名)	ホテルオールド神戸

# 第1号議案-5

作成日:2025.3.31  
作成者:大久保泰介

## 2024年度青年部 第5グループ活動報告

開催月	開催日	行事名	行事内容	報告者・進行役・インストラクター	参加者数	会場
4月	18日	青年部総会	定時総会、各グループ方針発表、懇親会		45名(青年部第5G)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
5月	31日	5月例会	新時代へ向けて共に成長する新しい在り方～変化へ対応できる考え方へ、思考のアップデート！～	報告者:上河原 洋之氏(一般社団法人暖家舎 代表理事 西神戸支部)	66名(青年部第5G43名、青年部他G8名、青連協2名、ゲスト6名、本会7名)	北野クラフソラ
6月	27日	6月ウエルカム例会	思いは叶う、学びが叶える ～今ある課題をいかに解決するか。思いを胸に、自らを高めることで道を切り開く。～	ハネラー:逢川 新氏(逢川総合法律事務所 弁護士 神戸中央支部) 眞孝 千佳氏(株式会社メンテナンステア 取締役 神戸中央支部)	59名(青年部第5G49名、青年部他G1名、青連協1名、ゲスト6名、本会2名)	欧風酒場カプト
7月	6日	研修事業	EG研修	田中 翔紘氏(株式会社エッセンシャル・エデュケーション・センター 代表取締役 神戸中央支部)	18名(青年部第5G10名、青年部他G1名、ゲスト7名)	三宮センタープラザ西館 会議室 8号室
	29日	7月組織強化例会	青年部の出逢いが会社を変える！ ～学びから得た自分と自社の成長～	報告者:大久保 泰介氏(キウヤ交通株式会社 代表取締役社長 西神戸支部)	62名(青年部第5G41名、青年部他G3名、青連協2名、ゲスト12名、会員企業2名、本会2名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
8月	4日	納涼会	暑い、本音で話せる仲間へ！		32名(青年部第5G28名、青年部他G2名、ゲスト2名)	大蔵海岸ZAZAZA
	30日	8月総務例会	会社の未来を左右する、ミミリの判断 ～マネーファンタジクスMATSUYAMA！カネの流れを制する者はビジネスを制す～	報告者:松山 幸祐氏(株式会社リュエール 統括部長 中神戸支部)	77名(青年部第5G45名、他G13名、青連協1名、ゲスト9名、会員企業1名、本会4名、他府県3名、事務局1名)	ジャルディーノ リンジエメ 三宮
9月	19-20日	青年経営者全国交流会	集え！変革者 ～日本のひびきたから照らす未来～	記念講演:米津 健一氏(日本情報クリエイティブ株式会社 代表取締役 会長 宮崎同友会)	20名(青年部第5G20名)	宮崎
	27日	9月渉外例会	世の中に流されるな！ブレない在り方で時流をつかめ！！ ～自社のびるのヒントは同友会の学びの中にある～	報告者:平松 洋一郎氏(株式会社ヒラマツ 代表取締役 三重同友会 代表理事)	80名(青年部第5G41名、青年部他G12名、青連協2名、ゲスト16名、本会6名、他府県3名)	北野クラフソラ
10月	28日	近畿圏合同例会	志高く、共に立ちあがれ 我々青年経営者が圧倒的ニュースタンダードを創る！	報告者:近畿2府4県から代表して各県御一人報告	38名(青年部第5G36名、ゲスト2名)	神戸ポートピアホテル
	13日	オール兵庫	熱くなれ！！ 兵庫の未来は私たちがつくる	記念講演:小西 啓介氏(株式会社ウエストワードブランニング 代表取締役 香川同友会)	50名(青年部第5G50名)	神戸ポートピアホテル
11月	16-17日	青年部WG	MG研修	柳井 寛之氏(株式会社やないまーディカルサービス 代表取締役 東神戸支部)	6名(青年部第5G6名)	ホスタリゾート神戸
	20日	研修事業	自社の経営力評価と経営計画作成の勉強会	足立 和宏氏(阪神特殊自動車株式会社 代表取締役 阪神支部)	18名	東播磨生活創造センター(かこ)
12月	1日	12月クリスマス会	クリスマス会 家族と仲間と共に感じる、特別な一日		59名(青年部第5G24名、青連協1名、同伴者(大人)10名、同伴者(中高生)3名、同伴者(小学生以下)11名、同性者(幼児)10名)	THE ROOFTOP KOBE (ザ ルーフトップ 神戸)
	27日	12月スーパールーム例会	出会いの先にある未来 ～青年部活動に否定的であった宮木氏が幹事長になった理由とは？～	報告者:宮木 大輔氏(宮木電機株式会社 取締役 北はりま支部)	35名(青年部第5G27名、他G2名、ゲスト3名、青連協2名、OB1名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
1月	30日	1月同期例会	自己開示から始まる同期の絆 ～失敗と成功から学んだ人との向き合い方～	報告者:水口 義人氏(株式会社西紀荘 代表取締役 北播支部)	43名(青年部第5G33名+他G1名+ゲスト5名、本会2名、会員企業2名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
2月	2日	研修事業	質問型営業研修	下田 美奈氏(株式会社サン 代表取締役 阪神支部)	33名(青年部第5G21名、青年部他G、本会6名+ゲスト6名)	中央区文化センター
	28日	2月度第5・第6グループ合同スーパールーム例会	新時代に向けて ～仲間と共に未来への挑戦～	中野 愛一郎氏(株式会社イベント21 代表取締役 奈良同友会 副代表理事) 佐々木 耀氏(合同会社アクセラブル 代表 中神戸支部 第5G) 七條 佑理氏(前信計器株式会社 常務取締役 兵庫支部 第6G) 津 智人氏(株式会社ユースサイクル 代表取締役社長 神戸中央支部 第6G)	180名(青年部第5G 会員46名+青年部第6G 会員66名+青年部対象ゲスト12+30名、青年部他G10名、本会/その他16名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
3月	27日	3月表彰会	翔ける、そして輝け		51名(青年部第5G51名)	クラブ月世界

# 2024年度青年部 第6グループ活動報告

作成日: 2025.3.31  
作成者: 漣 智人

## 《第1号議案-6》

開催月	開催日	行事名	行事内容	報告者・進行役・インストラクター	参加者数	会場
4月	18日	青年部総会	定時総会、各グループ方針発表、懇親会	進行役: 総会PJ	49名	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
5月	31日	5月志例会	『意志あるところに道がある』 ～夢に期限を未来からの逆算～	報告者: 青田 勇祐氏(スターハイヤー株式会社 代表取締役 西神戸支部 青年部第6G幹事長)	96名(自G72名+ゲスト24名+他G・OB名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
6月	28日	6月チャレンジ例会	『理想からの逆算～小さな事からチャレンジ』 ～社員に香り添い前進し続ける企業～	報告者: 日比野 和俊氏(葉さす株式会社 代表取締役 兵庫支部)	64名(自G40名+他G4名+本会2名+ゲスト18名)	HOTEL CASTLE PLAZA
7月	29日	7月ウエルカム例会	『多くの出会いから見えた自身と自社の成長』 ～本気で相談できる仲間はいませんか?～	報告者: 高橋 英晃氏(株式会社東海ライフサポート 中はりま支部)	85名(自G48名+他G5名+本会5名+ゲスト27名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
7月	13日	7月研修事業	『今日からできる! リーダーは知っておきたい! 言葉のチカラと使い方』 ～組織の士気を上げる言葉術～	講師: 滝川洋輝氏(A-Third株式会社 代表取締役 外部)	30名(自G28名+他G1名+ゲスト1名)	神戸市産業振興センター
8月	20日	納涼会	『夏だ! 祭りだ! 交流だ!!!』 ～チームでピストロ、ミュシユラを取るのには誰だ!!!～	進行役: 交流委員会	25名(自G42名+他G1名+ゲスト5名)	KITTO ギャラリーA
8月	29日	8月同例会	『SNS戦略の真の力』	報告者: 柳原 隆静氏(株式会社Phase Space 代表取締役 神戸中央支部)	123名(自G52名+他G15名+ゲスト51名+本会4名+県外1名)	KITTO
9月	2日	中間検証		進行役: 漣 総括幹事	14名(自G14名)	かこむ 東播磨生活創造センター
9月	19-20日	青年経営者全国交流会	集え! 変革者 ～日本のひなたから照らす未来～	記念講演: 米津 健一氏(日本情報クリエイティブ株式会社 代表取締役 会長 宮崎同友会)	32名	宮崎
9月	26日	9月総務広報例会	『組織の繋がりの先に生まれる至高のモノづくり!』 ～組織体こそ青年部で学べ!～	報告者: 横山 賢氏(都金属工業株式会社 神戸中央支部)	78名(自G58名+ゲスト14名+本会6名)	THE SORAKUEN
10月	28日	近畿圏合同例会	志高く、共に立ち上がり 我々青年経営者が圧倒的ニユースタンドを創る!	報告者: 近畿2府4県から代表して各県御一人報告	50名	神戸ポートピアホテル
11月	13日	オール兵庫	熱くなれ!! 兵庫の未来は私たちがつくる	記念講演: 小西 啓介氏(株式会社ウエストワードプランニング代表取締役 香川同友会)	62名	神戸ポートピアホテル
12月	7日	12月クリスマス会	『GIFT』 ～ありがとうをあのの人に。～	進行役: 交流委員会	103名(自G41名+ご家族20名+子供42名)	ホテル北野ブラザ六甲荘
12月	27日	12月スーパーウエルカム例会	『挑戦する事で未来は変わる!』 ～人は志と仲間で醒かれる～	報告者: 岡田 拓海氏(株式会社NEOLIAS 代表取締役 神戸中央支部)	82名(自G49名+ゲスト17名+他G11名+本会1名+会員企業4名)	アリストンホテル神戸
1月	31日	1月サポーター例会	『マジシャンが紡ぐ多角的経営の軌跡』 ～小さなマジックバーから大規模事業へ、想像を超える成長の秘訣～	報告者: 橋本 大輝氏(株式会社なんいで屋 代表取締役 神戸中央支部)	82名(自G50名+ゲスト26名+他G5名+本会4名)	神戸Harbor Studio
2月	28日	2月第5・第6合同超例会	『新時代に向けて』 ～仲間と共に未来への挑戦～	中野 愛一郎氏(株式会社イベント21 代表取締役 奈良同友会副代表 理事) 佐々木 耀氏(合同会社アクセブル 代表 中神戸支部 第5G) 七條 佑理氏(術信計器株式会社 常務取締役 兵庫支部 第6G) 漣 智人氏(株式会社ユーザーズイカール 代表取締役 社長 神戸中央支部第6G)	183名(自G66名+ゲスト30名+他G10名+本会18名)(第5G46名+ゲスト13名)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
3月	28日	褒賞会	『次世代へのバトン』	進行役: 総務広報委員会	60名(自G58名+歴代2名)	LiveHallクラブ月世界

《第2号議案》

2025年度青年部役員名簿(案)

会内役職	氏名	会社名	会社役職名
------	----	-----	-------

【青年部第1グループ】

幹事長	西村 勇人	㈱西村屋フードコネクト	取締役
総括幹事	三木 博史	㈱福翔土木	代表取締役
副幹事長	池端 浩美	ゲストハウス神戸なでしこ屋	代表
副幹事長	梅澤 一貴	梅澤工業(株)	代表取締役
副幹事長	柴原 重太	しばはら行政書士事務所	代表
副幹事長	鷹取 昌伸	㈱イー. ティ. エム	取締役
総務委員長	坂本 裕規	スローブ(株)	代表取締役
例会委員長	大西 未来	まいふあむ	代表
交流委員長	全 成希	㈱にく全	代表取締役
サポート組織強化委員長	梅本 宗宜	合同会社S&L	代表社員
渉外委員長	坂井 秀寿	㈱sisi	代表取締役
増強委員長	指吸 篤志	㈱指吸建設	代表取締役
研修委員長	尾上 巧	尾上組(有)	
経営指針ビジョン委員長	前田 裕輔	㈱アドベンチャーリンク	代表取締役

【青年部第2グループ】

幹事長	二瓶 浩昌	㈱シナラボ	代表取締役
総括幹事	櫻井 大樹	親和自動車(株)	代表取締役
副幹事長	上河原 洋之	(一社)暖家舎	代表理事
副幹事長	川崎 安功	(一社)FRONTIERE	代表理事
副幹事長	越 希美江	㈱ビヨンド・ワーズ	代表取締役
副幹事長	田中 翔紘	(有)エッセンシャルエデュケーションセンター	代表取締役
総務・広報委員長	森下 健志	㈱ホープ・プランニング	代表取締役
渉外委員長	足立 和宏	阪神特殊自動車(株)	代表取締役社長
増強検証委員長	野阪 愛由	㈱ZAPPA	代表取締役
例会委員長	大塚 真司	大塚ファンド(株)	代表取締役
交流委員長	今井 一之介	今啓パール(株)	代表取締役社長
研修委員長	宮脇 大樹	㈱アソビゴエ	専務取締役
組織強化サポート委員長	村田 優貴	Bar TERASTAR	代表
指針検証委員長	富賀見 大維	グランブルー	代表

会内役職	氏名	会社名	会社役職名
------	----	-----	-------

【青年部第3グループ】

幹事長	大井 啓史	(株)おお井	代表取締役
総括幹事	木村 圭介	(株)Moi Life	代表取締役
副幹事長	天清 渚	(株)日越	代表取締役
副幹事長	内海 慎輔	(株)内海グループ	代表取締役
副幹事長	横山 賢	都金属工業(株)	代表取締役社長
副幹事長	吉田 真琴	SHIN GROUP	代表
戦略総務委員長	佐々木 耀	合同会社アクセブル	代表
例会委員長	森本 圭典	かなえ法律事務所	弁護士
広報委員長	松本 雄成	合同会社カオカ	代表社員
増強委員長	城本 優	(株)A' PARTS	執行役員
組織強化委員長	山本 大志	(株)ヤマソロ	常務取締役
研修委員長	長瀬 岳洋	(株)ヒトカゾク	専務取締役
チャレンジ例会委員長	田辺 裕介	松田土木工業(株)	常務取締役
交流委員長	今榮 孝徳	(株)SAZAnami	代表取締役

【青年部第4グループ】

幹事長	森 功佑	(株)メイスター	取締役専務
総括幹事	深澤 侑也	(株)atelier SUBACO	代表取締役
副幹事長	鎌田 翔悟	アソビゴエグループ	代表
副幹事長	曹 祐仁	(株)老祥記	専務取締役
副幹事長	東嶋 康博	がまでん(株)	専務取締役
副幹事長	山本 篤志	(株)山本工務店	代表取締役
総務委員長	小嵐 祐季	(株)ASTY	代表取締役
例会委員長	松本 慎一	(株)トータルムーヴ	取締役
研修委員長	藤本 仁	(株)cocoico	代表取締役
拡大委員長	宮崎 隆成	(株)宮崎電気	代表取締役
交流委員長	増田 健太郎	(株)HanaBan	代表取締役
サポート広報委員長	中谷 早里	(株)GAON	代表取締役
経営指針委員長	杉岡 怜子	(株)Re rise	代表取締役
渉外委員長	宮本 康平	(株)松本商店	代表取締役

【青年部第5グループ】

幹事長	大久保 泰介	キクヤ交通(株)	代表取締役社長
総括幹事	石郷岡 聖	(株)ファッションジャケット	代表取締役
副幹事長	湖山 達哉	弁護士法人イーグル法律事務所	代表弁護士
副幹事長	榮 恭佑	(株)SKS	代表取締役
副幹事長	松山 幸祐	(株)リュミエール	統括部長
総務渉外委員長	西垣 勝貴	おはし総研(株)	代表取締役
例会委員長	富田 政幸	富田造園	代表
指針ビジョン委員長	古本 領	(株)ギパー・コ・クリエーション	代表取締役
交流委員長	倉掛 雅行	(株)五光興産	取締役
組織活性委員長	井上 大樹	(株)井上電設	代表取締役
拡大委員長	籠本 典嗣	(株)カゴモト	常務取締役兼工場長
研修委員長	富澤 拓弥	(株)Cotatsu奉仕会	代表取締役

会内役職	氏名	会社名	会社役職名
------	----	-----	-------

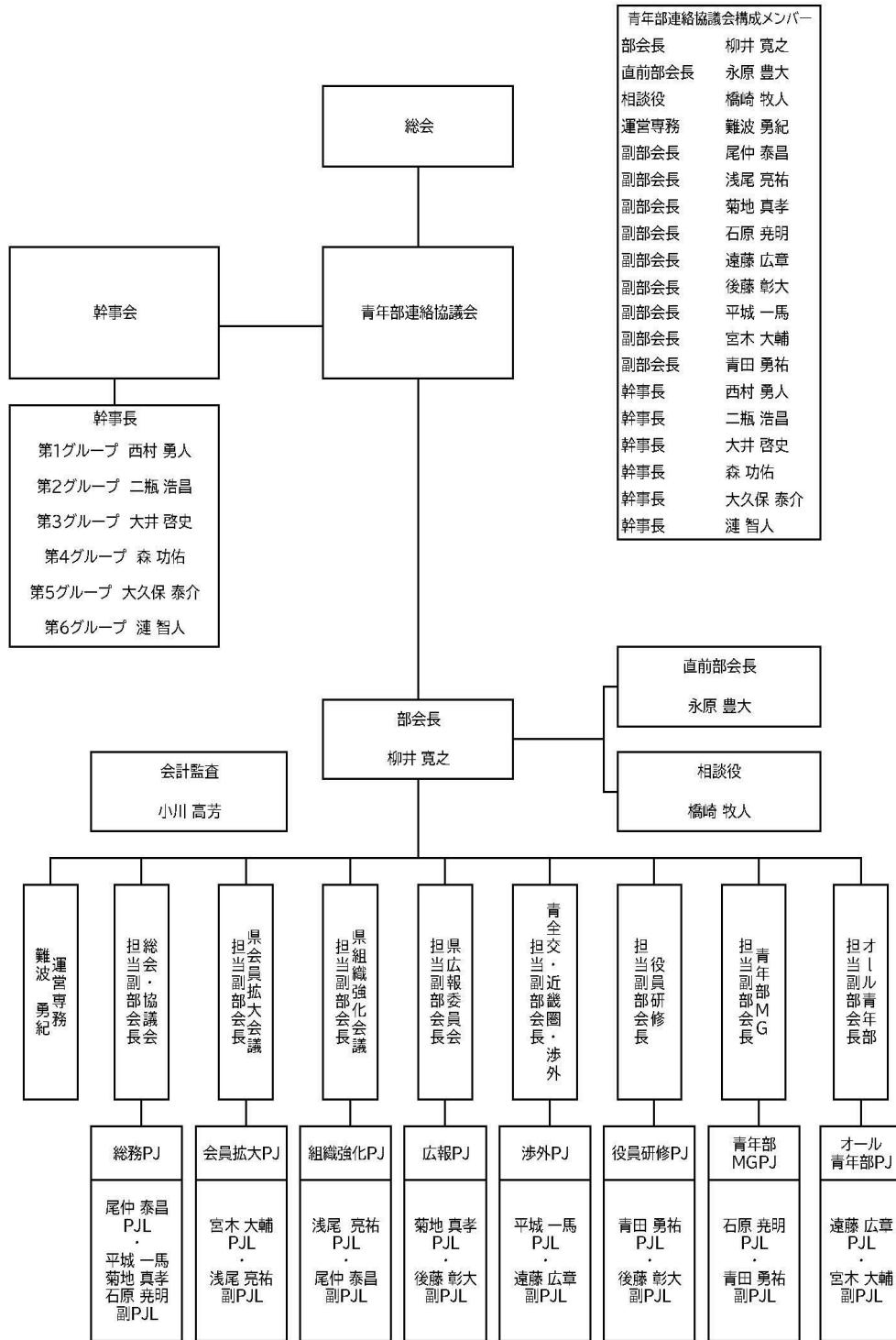
【青年部第6グループ】

幹事長	漣 智人	(株)ユーズサイクル	代表取締役
総括幹事	高橋 英晃	(株)東海ライフサポート	取締役
副幹事長	岡田 拓海	(株)NEQLIAS	代表取締役
副幹事長	大黒 寛登	(株)ニュークリエイト	代表取締役
副幹事長	七條 佑理	前信計器(株)	常務取締役
副幹事長	船富 健吾	(株)FDC	代表取締役
総務委員長	赤澤 知宣	(株)リリーフ	代表取締役
志例会委員長	奥田 剛	ふるいち神戸中央店	代表
拡大増強委員長	古川 琢也	(株)グリーンボット貿易部	代表取締役
財務規則委員長	西川 俊彦	(株)花保	取締役
交流委員長	榎本 舞	Dahlia	代表
サポート広報委員長	吉田 充宏	(株)OWNAXISS	代表取締役
研修委員長	岡田 雄貴	(株)O.K不動産	代表取締役
渉外委員長	藤谷 成将	(株)藤谷塗装工房	代表取締役

【青年部連絡協議会】

部会長	柳井 寛之	(株)やないメディカルサービス	代表取締役
運営専務	難波 勇紀	(株)難波工業	代表取締役
直前部会長	永原 豊大	(株)青粒	代表取締役社長
相談役	橋崎 牧人	日新産業(株)	代表取締役社長
副部会長	青田 勇祐	スターハイヤー(株)	代表取締役
副部会長	浅尾 亮祐	(株)Next Stage	代表取締役
副部会長	石原 堯明	(株)tipps	代表取締役
副部会長	遠藤 広章	(株)ENDO	代表取締役
副部会長	尾仲 泰昌	(株)阪神月星	代表取締役社長
副部会長	菊地 真孝	(株)三喜	代表取締役
副部会長	後藤 彰大	(株)日伸メディカル	代表取締役
副部会長	平城 一馬	(株)平城左官	代表取締役
副部会長	宮木 大輔	宮木電機(株)	取締役
第1グループ幹事長	西村 勇人	(株)西村屋フードコネクト	取締役
第2グループ幹事長	二瓶 浩昌	(株)シナラボ	代表取締役
第3グループ幹事長	大井 啓史	(株)おお井	代表取締役
第4グループ幹事長	森 功佑	(株)メイスター	取締役専務
第5グループ幹事長	大久保 泰介	キクヤ交通(株)	代表取締役社長
第6グループ幹事長	漣 智人	(株)ユーズサイクル	代表取締役
担当事務局	野原 将	(一社)兵庫県中小企業家同友会	上席主任

《第2号議案》 一般社団法人兵庫県中小企業家同友会 青年部  
2025年度 青年部連絡協議会組織図(案)



## 《第3号議案》

# 志高く

## ～十年後の兵庫経済を担う「経営者」が育つ環境づくり～

1970年に兵庫県中小企業家同友会が発足し、12名の青年経営者が発起人となり1992年に青年部が立ち上がり、2024年度には一般社団法人化され、青年部も更なる発展の年となりました。この環境の中、改めて原点に立ち返り、同友会活動に基づいた企業の成長を、どれだけ具体的に、かつ先進的に取り組んでいくかということは青年経営者の大きな課題です。青年経営者であるからこそ、志高く、切磋琢磨しながら学び合い、青年経営者であるからこそ、経営者としての資質の向上を目指す。青年部会員の成長とともに、十年後の兵庫経済を担う経営者が育つ「環境づくり」に邁進します。

### 【活動方針】

#### ■青年部活動と自社経営は不離一体

何のために青年部活動を行っているのか。改めて、活動の目的を明確に持ち、実践し、何としても自身の成長と自社の発展に繋げましょう。青年部活動を通して、会員全員が青年部活動と自社経営の不離一体を体現します。

#### ■同友会型企业づくり

自分の知識や経験だけにこだわるのではなく、謙虚さを持って同友会に学ぶことにより、テクニックだけではなく本質を知り、科学性と創造性を発揮して経営に対応することで経営者の成長を体現します。

### 【数値計画】

年度	年度(期末)	目標当期グループ数
2025年度	700名体制	6グループ
2026年度	800名体制	7グループ
2027年度	1,000名体制	9グループ
2028年度	1,300名体制	11グループ
2029年度	1,700名体制	13グループ

### 【我々が目指す企業への歩み】

- ① 「赤字会社」から「黒字会社」へ  
現状が赤字経営の場合は、現状をリアルに見て、あらゆる手を打ち、まずは赤字を脱却する。
- ② 「黒字会社」から「強い会社」へ  
自社の強みを生み出す経営資源を磨き上げ、どんな環境変化にも負けない強靱な体質の会社をつくる。
- ③ 「強い会社」から「よい会社」へ  
企業理念が明確であり、社員が生きがいや使命感、誇りを持って働き、永続して利益を出し続ける企業となる。
- ④ 「よい会社」から「なくてはならない企業」へ  
めざす未来像へ向けて、社会課題の解決に取り組み、社員にとって、顧客にとって、業界にとって、地域にとって、なくてはならない企業となる。

2025年4月  
一般社団法人兵庫県中小企業家同友会青年部  
部会長 柳井 寛之

## 青年部連絡協議会

### 【名称】

青年部連絡協議会

### 【目的】

「兵庫青年部は一つ」の原則の基、活動を担保する。

1人ひとりの幹事長が輝く兵庫青年部において、複数のグループが個々に活動する為、グループ間の円滑な活動をサポートすると共に、県理事会、県専門委員会および他府県青年部との窓口となり、県内外に対し一つの青年部として共通プロジェクト(PJ)を担う。十年後の兵庫経済を担う「経営者」が育つ環境づくりを遂行することを目的とする。

### 【構成および議決権】

部会長(歴代幹事長)..... ■議決権有り  
運営専務(歴代幹事長)..... ■議決権有り  
直前部会長(歴代部会長)..... □議決権無し  
相談役(歴代部会長)..... □議決権無し  
副部会長(歴代幹事長)..... ■議決権有り  
協議会員(歴代幹事長)..... □議決権無し  
現職幹事長..... ■議決権有り  
現職総括幹事(オブザーバー参加)..... □議決権無し

### 【その他】

(一社)兵庫県中小企業家同友会青年部運営規定に準ずる。

## 職務分掌(案)

### 【部会長】

- 青年部総会の招集
- 青年部連絡協議会の招集
- (一社)兵庫県中小企業家同友会理事会への出席
- 中同協青年部連絡会への出席
- 近畿圏各青年部総会への出席
- 近畿圏サミットへの出席

### 【運営専務】

- (一社)兵庫県中小企業家同友会理事会への出席
- 中同協青年部連絡会への出席
- 近畿圏各青年部総会への出席
- 近畿圏サミットへの出席
- 県の理事会方針および青年部諸規程の研究・見直し
- 他府県青年部の組織体および規程の研究
- 青年部予算・会計に関する業務
- 青年部 OB との連絡
- 事務局との調整

### 【総会・協議会担当副部会長】

- 総会事業に関する総務 PJ メンバーへの指揮
- 青年部連絡協議会に関する総務 PJ メンバーへの指揮
- 青年部連絡協議会においての各グループの経費精算の進捗確認
- 青年部連絡協議会において各幹事会運営の規定確認及び補助

### 【県組織強化委員会担当副部会長】

- 県組織強化会議への出席
- 県組織強化会議の情報を青年部連絡協議会や組織強化 PJ メンバーへ共有
- 青年部各グループの増強の進捗確認・フィードバック

### 【県会員拡大委員会担当副部会長】

- 県会員拡大会議への出席
- 県会員拡大会議の情報を青年部連絡協議会や会員拡大 PJ メンバーへ共有
- 青年部各グループの増強の進捗確認・フィードバック

### 【県広報委員会担当副部会長】

- 県広報委員会への出席
- 県広報委員会の情報を青年部連絡協議会や広報 PJ メンバーへ共有
- Doyu Hyogo の記事の取りまとめ
- 「クロジノ」と「本会 Facebook ページ」への投稿確認

### 【近畿圏・青全交・渉外担当副部会長】

- 近畿圏サミットへの出席
- 近畿圏合同例会に関する渉外 PJ メンバーへの指揮
- 第 21 回近畿圏合同例会(和歌山開催)に関する議案の取りまとめ・青連協への上程
- 青全交に関する渉外 PJ メンバーへの指揮

**【役員研修担当副部長】**

- 役員研修に関する役員研修 PJ メンバーへの指揮
- 役員研修に関する議案の取りまとめ・青連協への上程

**【青年部 MG 担当副部長】**

- 青年部 MG に関する青年部 MGPJ メンバーへの指揮
- 青年部 MG に関する議案の取りまとめ・青連協への上程

**【オール青年部担当副部長】**

- オール青年部に関するオール青年部 PJ メンバーへの指揮
- オール青年部に関する議案の取りまとめ・青連協への上程

**【相談役・直前部長】**

- 青年部連絡協議会への助言
- 部長の補佐

**【PJL】**

- 各 PJ における事業の実施

**【各 PJ 副 PJL】**

- PJL の代理・補佐

**【青年部連絡協議会構成メンバー共通】**

- ◆青年部総会への出席
- ◆青年部連絡協議会への出席
- ◆青年部役員研修への出席
- ◆近畿圏合同例会への出席
- ◆全国行事への出席
- ◆支部例会への出席
- ◆各グループの青年部例会への出席
- ◆各グループの近況把握と助言
- ◆部長の補佐

## プロジェクト(PJ)職務分掌(案)

【総務 PJ】（構成:担当副部長・各グループ総括幹事）

- 青年部総会の企画設営、総会議案書の作成
- 青年部連絡協議会の設営、次第作成、議事録作成、各幹事会運営規定の確認補助、懇親会設営

【組織強化 PJ】（構成:担当副部長・各グループ担当者）

- 県組織強化会議の情報を各幹事会へ共有
- 毎月の青年部連絡協議会で会員退会数値の確認
- 組織強化策の検討

【会員拡大 PJ】（構成:担当副部長・各グループ担当者）

- 県会員拡大会議の情報を各幹事会へ共有
- 毎月の青年部連絡協議会で会員拡大数値の進捗管理
- 会員拡大策の検討

【広報 PJ】（構成:担当副部長・各グループ総括幹事）

- 県広報委員会の情報を各幹事会へ共有
- Doyu Hyogo の記事と写真の期限内の提出
- 「クロジノ」と「本会 Facebook ページ」に投稿

【渉外 PJ】（構成:担当副部長・各グループ幹事長・各グループ近畿圏合同例会担当副幹事長）

- 県外との渉外窓口
- 年 2 回の兵庫県開催の近畿圏サミットの企画設営
- 他府県開催の近畿圏合同例会への参画、参加者取りまとめ、参加方法の企画
- 自県開催の近畿圏合同例会の企画設営(6年に1回の輪番制) ※2030年度は兵庫開催
- 近畿圏サミットの議長担当(6年に1回の輪番制)
- 近畿圏サミットの会計担当(6年に1回の輪番制)
- 青全交への参画、参加者取りまとめ、参加方法の企画

【役員研修 PJ】（構成:担当副部長・各グループ担当者）

- 前年度末に、青年部役員(幹事長・総括幹事・副幹事長・委員長)研修の企画設営

【青年部 MGPJ】（構成:担当副部長・各グループ担当者）

- 年 1 回の 2day 青年部 MG の企画設営

【オール青年部 PJ】（構成:担当副部長・各グループ担当者）

- 年 1 回のオール青年部の企画設営

《第3号議案-1》

2025年度青年部第1グループ年間スケジュール(案)

開催月	開催日	行事内容	例会扱い	非例会扱い	担当委員会
4月	25日	青年部総会	○		総務委員会
5月	29日	例会	○		例会委員会
6月	27日	ウェルカム例会	○		増強委員会
7月	25日	経営指針ビジョン例会	○		経営指針ビジョン委員会
		交流事業		○	交流会委員会
8月	29日	渉外例会	○		渉外委員会
9月	25日	サポート組織強化例会	○		サポート組織強化委員会
10月	4日	近畿圏合同例会		○	
	17日	オール兵庫	○		
		研修事業		○	研修委員会
11月	20日 21日	青年経営者全国交流会		○	
	27日	ウェルカム例会	○		増強委員会
12月	19日	経営指針ビジョン例会	○		経営指針ビジョン委員会
		交流事業		○	交流委員会
1月	30日	オール青年部	○		
		サポート組織強化事業		○	サポート組織強化委員会
		研修事業		○	研修委員会
2月	27日	例会	○		例会委員会
		渉外事業		○	渉外委員会
3月	27日	褒賞会	○		総務委員会

《第3号議案-2》

2025年度 青年部 第2グループ年間スケジュール(案)

開催月	開催日	行事内容	例会扱い	非例会扱い	担当委員会
4月	18日	青年部総会	○		総務広報委員会
5月	29日	例会	○		例会委員会
6月	26日	ウェルカム例会	○		増強検証委員会
		研修事業		○	研修委員会
7月	25日	例会	○		総務広報委員会
		交流事業		○	交流委員会
8月	29日	例会	○		指針検証委員会
9月	26日	例会	○		渉外委員会
10月	4日	近畿圏合同例会		○	
	17日	オール兵庫	○		
	30日	中間検証		○	指針検証委員会
11月	20日 21日	青年経営者全国交流会		○	
	27日	例会	○		組織強化サポート委員会
12月	13日	クリスマス事業		○	交流委員会
	19日	ウェルカム例会	○		増強検証委員会
1月		最終検証		○	指針検証委員会
		オール青年部	○		
		研修事業		○	研修委員会
2月	26日	例会	○		例会委員会
3月	27日	褒賞会	○		総務広報委員会

《第3号議案-3》

2025年度青年部第3グループ年間スケジュール(案)

開催月	開催日	行事内容	例会扱い	非例会扱い	担当委員会
4月	25日	青年部総会	○		総務委員会
5月	29日	報告例会	○		例会委員会
6月	26日	ウェルカム例会	○		増強委員会
		事業		○	研修委員会
7月	24日	例会	○		総務委員会
		事業		○	交流委員会
8月	29日	広報例会	○		広報委員会
		同期会		○	組織強化委員会
9月	26日	チャレンジ例会	○		チャレンジ例会委員会
10月	4日	近畿圏合同例会		○	
	17日	オール兵庫	○		
11月		事業		○	研修委員会
	20日 21日	青年経営者全国交流会		○	
	28日	スーパーウェルカム 例会	○		増強委員会 組織強化委員会
12月	19日	事業	○		交流委員会
1月	30日	オール青年部	○		
		事業		○	広報委員会
2月	26日	スーパー例会	○		例会委員会 チャレンジ例会委員会
3月	26日	褒賞会	○		総務委員会

《第3号議案-4》

2025年度青年部第4グループ年間スケジュール(案)

開催月	開催日	行事内容	例会扱い	非例会扱い	担当委員会
4月	25日	青年部総会	○		総務委員会
5月	30日	例会	○		例会委員会
6月	26日	ウェルカム例会	○		拡大委員会
		事業		○	研修委員会
7月	24日	経営指針例会	○		経営指針委員会
		事業		○	交流委員会
8月	28日	サポート例会	○		サポート広報委員会
		事業		○	研修委員会
9月	26日	例会	○		例会委員会
10月	4日	近畿圏合同例会		○	
	17日	オール兵庫	○		
		事業		○	渉外委員会
11月	20日 21日	青年経営者全国交流会		○	
	28日	ウェルカム例会	○		拡大委員会
		事業		○	経営指針委員会
12月	26日	渉外例会	○		渉外委員会
		クリスマス会		○	交流委員会
1月	30日	オール青年部	○		
2月		同期会		○	サポート広報委員会
	26日	スーパーウェルカム例会	○		拡大委員会
3月	26日	褒賞会	○		総務委員会

《第3号議案-5》

2025年度青年部第5グループ年間スケジュール(案)

開催月	開催日	行事内容	例会扱い	非例会扱い	担当委員会
4月	25日	青年部総会	○		総務渉外委員会
5月	30日	例会	○		例会委員会
6月	27日	組織活性例会	○		組織活性委員会
7月	24日	例会	○		拡大委員会
		事業		○	研修委員会
8月	28日	指針ビジョン例会	○		指針ビジョン委員会
		事業		○	交流委員会
9月	25日	総務渉外例会	○		総務渉外委員会
10月	4日	近畿圏合同例会		○	
	17日	オール兵庫	○		
11月	20日 21日	青年経営者全国交流会		○	
	28日	例会	○		拡大委員会
12月	26日	事業	○		指針ビジョン委員会
		クリスマス会		○	交流委員会
		事業		○	研修委員会
1月	30日	オール青年部	○		
		同期会		○	組織活性委員会
2月	27日	例会	○		例会委員会
		事業		○	研修委員会
3月	26日	褒賞会	○		総務渉外委員会

<<第3号議案-6>>

2025年度青年部第6グループ年間スケジュール(案)

開催月	開催日	行事内容	例会扱い	非例会扱い	担当委員会
4月	25日	青年部総会	○		総務委員会
5月	30日	志例会	○		志例会委員会
6月	27日	財務規則例会	○		財務規則委員会
7月	25日	同期会	○		サポート広報委員会
		研修事業		○	研修委員会
8月	28日	ウェルカム例会	○		拡大増強委員会
		交流事業		○	交流委員会
9月		中間検証		○	総務委員会
	25日	総務例会	○		総務委員会
10月	4日	近畿圏合同例会		○	
	17日	オール兵庫	○		
11月	20日 21日	青年経営者全国交流会		○	
	27日	渉外例会	○		渉外委員会
12月	26日	サポート広報例会	○		サポート広報委員会
		交流事業		○	交流委員会
1月	30日	オール青年部	○		
2月	27日	スーパーウェルカム例会	○		志例会委員会 拡大増強委員会
		研修事業		○	研修委員会
3月	27日	褒賞会	○		総務委員会

《第4号議案》

2025年度 青年部 予算(案)

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日 (単位 円)

収入				支出					
科目	単価	数量	金額	備考	科目	単価	数量	金額	備考
前年度繰越金	7,731,518	1	7,731,518	3月末時点	総務PJ費	900,000	1	900,000	青年部総会等
年会費	24,000	703	16,872,000	2025年10月時点見込会員数	渉外PJ費	60,000	1	60,000	
					青年部MGPJ費	65,000	1	65,000	青年部MG等
青年部事業費収入	10,836,000	1	10,836,000	青年部MG、各グループ事業費収入合計	青年部事業費支出	10,836,000	1	10,836,000	青年部MG、各グループ事業費支出合計
					広報PJ費	165,000	1	165,000	DOYU兵庫(15,000円×11)
					会員拡大PJ費	200,000	6	1,200,000	6グループ×200,000円
					組織強化PJ費	33,000	1	33,000	
					役員研修PJ費	20,000	1	20,000	青年部役員研修等
					第1グループ運営費	2,045,000	1	2,045,000	2025年10月時点見込会員数
					第2グループ運営費	2,045,000	1	2,045,000	2025年10月時点見込会員数
					第3グループ運営費	2,045,000	1	2,045,000	2025年10月時点見込会員数
					第4グループ運営費	2,045,000	1	2,045,000	2025年10月時点見込会員数
					第5グループ運営費	2,045,000	1	2,045,000	2025年10月時点見込会員数
					第6グループ運営費	2,045,000	1	2,045,000	2025年10月時点見込会員数
					部会分担費	800	703	562,400	2025年10月時点見込会員数
					e.doyu利用費	600	70	42,000	青年部のみ所属の後継者会員
					近畿圏青年部分担金	100,000	1	100,000	
					会議費	374,600	1	374,600	青年部連絡協議会・役員選考委員会
					慶弔費	100,000	1	100,000	
					支払手数料	180,000	1	180,000	支払手数料・請求書郵送費・振込手数料等
					オール青年部	700,000	1	700,000	
40周年積立金繰入	200,000	1	200,000		40周年積立金	300,000	1	300,000	前年度までの繰越金200,000円+100,000円
					予備費	0	1	0	災害対策等発生時は予備費より、不足分は前年度次期繰越金から算出
					次期繰越金	7,731,518	1	7,731,518	
収入計				35,639,518	支出計				35,639,518

特記事項:前年度繰越金は2025年6月臨時総会にて確定する。

《第4号議案-1》

2025年度 青年部第1グループ 予算(案)

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日  
(単位:円)

収入				支出			
科目	単価	数量	金額	科目	単価	数量	金額
第1グループ運営費	2,045,000	1	2,045,000	総務委員会	200,000	1	200,000
会員拡大PJ費	200,000	1	200,000	例会委員会	320,000	1	320,000
				渉外委員会	200,000	1	200,000
				サポート組織強化委員会	200,000	1	200,000
				増強委員会	400,000	1	400,000
				交流委員会	300,000	1	300,000
				研修委員会	0	1	0
				経営指針ビジョン委員会	320,000	1	320,000
				増強関連費	20,000	1	20,000
				会議費	5,000	12	60,000
				褒賞費	100,000	1	100,000
				組織強化費	100,000	1	100,000
第1グループ事業費収入	1,430,000	1	1,430,000	第1グループ事業費支出	1,430,000	1	1,430,000
				予備費	25,000	1	25,000
収入計			3,675,000	支出計			3,675,000

特記事項  
※事業費収入及び支出は、事務局より領収書が発行されるものとなります。

《第4号議案-2》

2025年度 青年部第2グループ 予算(案)

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日  
(単位:円)

収入				支出			
科目	単価	数量	金額	科目	単価	数量	金額
第2グループ運営費	2,045,000	1	2,045,000	総務・広報委員会	320,000	1	320,000
会員拡大PJ費	200,000	1	200,000	例会委員会	320,000	1	320,000
				渉外委員会	240,000	1	240,000
				組織強化サポーター委員会	150,000	1	150,000
				増強検証委員会	320,000	1	320,000
				交流委員会	300,000	1	300,000
				研修委員会	30,000	1	30,000
				指針検証委員会	250,000	1	250,000
				広報戦略費	70,000	1	70,000
				会議費(幹事会)	70,000	1	70,000
				褒賞費	60,000	1	60,000
				拡大戦略費	60,000	1	60,000
				組織強化費	40,000	1	40,000
第2グループ事業費収入	1,492,000	1	1,492,000	第2グループ事業費支出	1,492,000	1	1,492,000
				予備費	15,000	1	15,000
収入計			3,737,000	支出計			3,737,000

特記事項  
※事業費収入及び支出は、事務局より領収書が発行されるものとなります。

《第4号議案-3》

2025年度 青年部第3グループ 予算(案)

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日  
(単位 円)

収入				支出			
科目	単価	数量	金額	科目	単価	数量	金額
第3グループ運営費	2,045,000	1	2,045,000	総務委員会	330,000	1	330,000
会員拡大PJ費	200,000	1	200,000	例会委員会	165,000	1	165,000
				組織強化委員会	165,000	1	165,000
				増強委員会	165,000	1	165,000
				交流委員会	300,000	1	300,000
				研修委員会	0	1	0
				広報委員会	165,000	1	165,000
				チャレンジ例会委員会	165,000	1	165,000
				合同例会事業費	330,000	1	330,000
				広報戦略費	70,000	1	70,000
				会議費(幹事会)	80,000	1	80,000
				褒賞費	100,000	1	100,000
				拡大戦略費	140,000	1	140,000
				組織強化費	60,000	1	60,000
第3グループ事業費収入	1,630,000	1	1,630,000	第3グループ事業費支出	1,630,000	1	1,630,000
				予備費	10,000	1	10,000
収入計			3,875,000	支出計			3,875,000

特記事項

※事業費収入及び支出は、事務局より領収書が発行されるものとなります。

《第4号議案-4》

2025年度 青年部第4グループ 予算(案)

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日  
(単位:円)

収入				支出			
科目	単価	数量	金額	科目	単価	数量	金額
第4グループ運営費	2,045,000	1	2,045,000	総務委員会	200,000	1	200,000
会員拡大PJ費	200,000	1	200,000	例会委員会	300,000	1	300,000
				渉外委員会	200,000	1	200,000
				拡大委員会	500,000	1	500,000
				交流委員会	300,000	1	300,000
				研修委員会	30,000	1	30,000
				サポート広報委員会	200,000	1	200,000
				経営指針委員会	200,000	1	200,000
				拡大戦略費	90,000	1	90,000
				組織強化費	80,000	1	80,000
				褒草費	50,000	1	50,000
				会議費	50,000	1	50,000
第4グループ事業費収入	1,800,000	1	1,800,000	第4グループ事業費支出	1,800,000	1	1,800,000
				予備費	45,000	1	45,000
収入計			4,045,000	支出計			4,045,000

特記事項  
※事業費収入及び支出は、事務局より領収書が発行されるものとなります。

《第4号議案-5》

2025年度 青年部第5グループ 予算(案)

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日  
(単位:円)

収入				支出					
科目	単価	数量	金額	備考	科目	単価	数量	金額	備考
第5グループ運営費	2,045,000	1	2,045,000		総務渉外委員会	400,000	1	400,000	9月例会、褒賞会等
会員拡大PJ費	200,000	1	200,000		例会委員会	370,000	1	370,000	5月・2月例会、G長研修
					組織活性化委員会	250,000	1	250,000	6月例会、同期会
					拡大委員会	360,000	1	360,000	7月・11月例会
					交流委員会	320,000	1	320,000	8月・12月交流会
					研修委員会	60,000	1	60,000	7月・12月・2月事業
					広報戦略費	60,000	1	60,000	名刺、ネームプレート等
					指針ビジョン委員会	250,000	1	250,000	8月例会、12月事業
					会議費	60,000	1	60,000	幹事会
					褒賞費	100,000	1	100,000	
第5グループ事業費収入	1,160,000	1	1,160,000		第5グループ事業費支出	1,160,000	1	1,160,000	交流・研修事業等
					予備費	15,000	1	15,000	
収入計			3,405,000		支出計			3,405,000	

特記事項

※事業費収入及び支出は、事務局より領収書が発行されるものとなります。

《第4号議案-6》

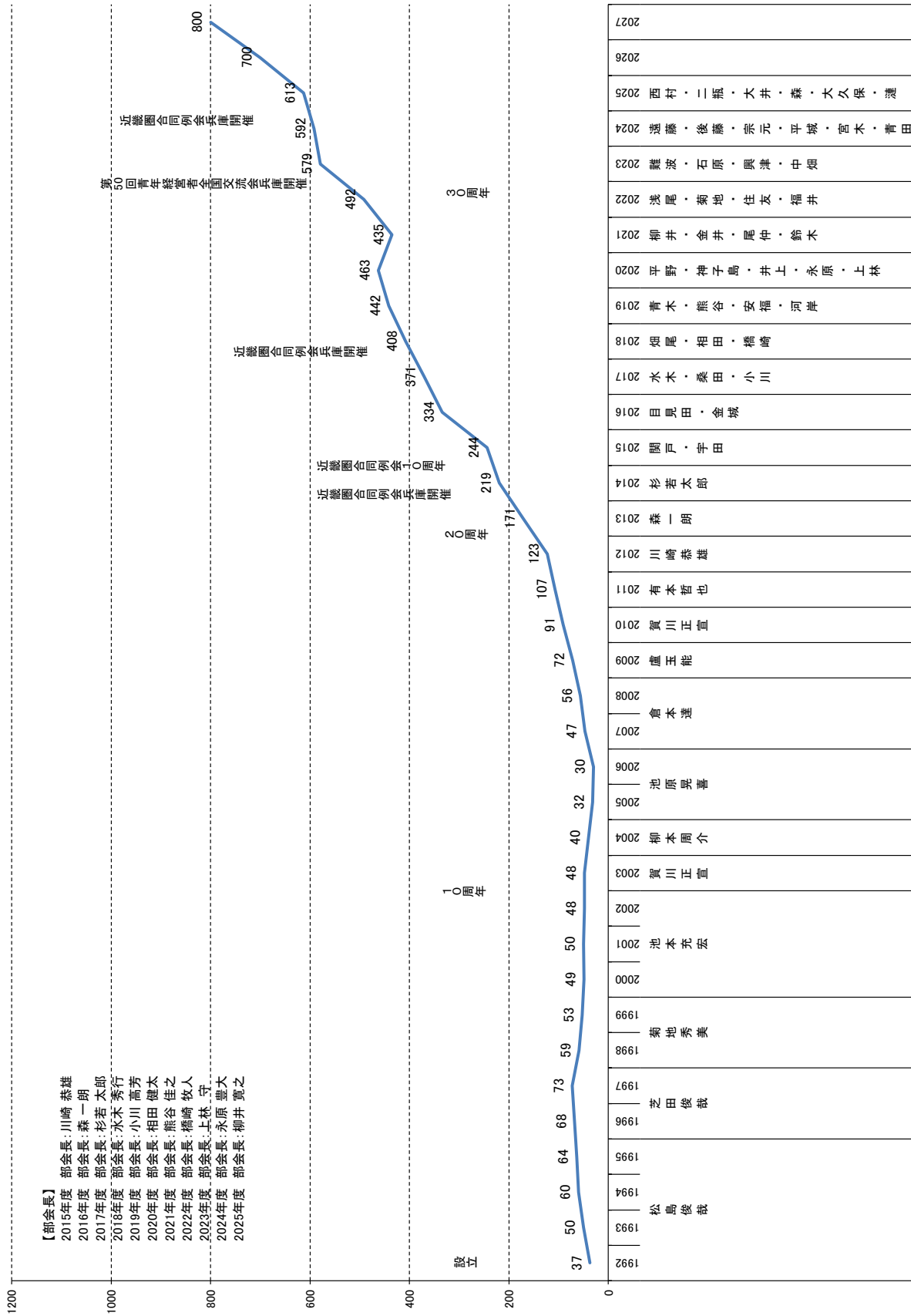
2025年度 青年部第6グループ 予算(案)

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日  
(単位:円)

収入				支出			
科目	単価	数量	金額	科目	単価	数量	金額
第6グループ運営費	2,045,000	1	2,045,000	総務委員会	300,000	1	300,000
会員拡大PJ費	200,000	1	200,000	志例会委員会	330,000	1	330,000
				渉外委員会	150,000	1	150,000
				サポート広報委員会	330,000	1	330,000
				拡大増強委員会	330,000	1	330,000
				交流委員会	250,000	1	250,000
				研修委員会	0	0	0
				財務規則委員会	172,000	1	172,000
				広報戦略費	70,000	1	70,000
				拡大戦略費	100,000	1	100,000
				会議費	100,000	1	100,000
				褒賞費	100,000	1	100,000
第6グループ事業費収入	1,650,000	1	1,650,000	第6グループ事業費支出	1,650,000	1	1,650,000
				予備費	13,000	1	13,000
収入計			3,895,000	支出計			3,895,000

特記事項  
※事業費収入及び支出は、事務局より領収書が発行されるものとなります。

# 期首会員数推移



- 【部会長】  
 2015年度 部会長: 川崎 恭雄  
 2016年度 部会長: 森 一朗  
 2017年度 部会長: 杉若 太郎  
 2018年度 部会長: 永木 秀行  
 2019年度 部会長: 小川 高芳  
 2020年度 部会長: 相田 健太  
 2021年度 部会長: 熊谷 佳之  
 2022年度 部会長: 橋崎 牧人  
 2023年度 部会長: 上林 守  
 2024年度 部会長: 永原 豊大  
 2025年度 部会長: 柳井 寛之

## 2025 年度 青年部第 1 グループ 活動方針(案)

# 『一步善進』 今日の一步が未来を変える

今や 600 名を超える規模となった、(一社)兵庫県中小企業家同友会青年部。その仕組みや学べる環境は日々進歩しています。そのような環境の中で、今期第 1 グループとして特に大切にしていきたい想いについてお伝え致します。

### 【歴史を繋ぐ】

今の青年部の環境は、先輩経営者の皆様が 32 年もの間、想いを繋ぎ、組織や仕組みを築き上げて下さったからこそ出来上がったものです。先輩方が作り上げて下さった成熟した環境に感謝しながら、より良い物を次世代に繋いでいく事が持続的な成長には必要不可欠です。それは社業でも同様です。たとえ創業して間もないという会社であっても、そこに想いがあれば立派な歴史です。歴史を繋いで下さった方々への感謝と恩を大切にしながら、より良い環境を作っていくという意識を持って行動していきましょう。

### 【人格を磨く】

経営者は自社の数字だけ伸ばしていればよいのでしょうか？それでは持続的な発展は見込めません。同友会の理念にもある『国民や地域と共に歩む中小企業』となっていく為には、経営者自身のマインドや考え方、あり方の意識、“志”を高めていく必要があります。善き想いを心に抱き、善き考え方をもち、善き行動を行う。青年部活動を通じて、人としても成長が出来るきっかけとなるような 1 年にしていければと考えています。

### 【繋がりを大切にする】

私は青年部で色々な方と出会い、色々な考え方や価値観に触れ、自身にはない発想や考え方を沢山教えてもらいました。限りある青年部の時間の中での出会いはまさに一期一会です。同じ環境・タイミングの中で出会えたこの一瞬を大切に、仲間と本気で向き合い、切磋琢磨出来るような活動をしていただきたいと思います。

最後に、青年部の価値は真剣に取り組むことにあります。青年部では経営者との出会いや、学びの機会が多くありますが、その環境を活かし、『良い会社をつくる・良い経営者になる・良い経営環境をつくる』ことが同友会活動の目的です。出会いや学びを活かし、自社・自身・仲間に真剣に向き合い、自社や自身の思い描くビジョンに向かって一步一步ステップアップし、変化を楽しみながら経営者としても人としても成長できる 1 年にしていきたいと思います。

2025 年度 第 1 グループ 幹事長 西村 勇人

## 組織方針(案)

### 【組織運営方針】

青年部活動の価値は真剣に取り組むことにあります。その過程で、自社・自身・仲間に本気で向き合っていれば、おのずと善い方向に進んでいくと確信しています。もし進む方向に迷ったのなら、どの道がより善い道なのかを考え、決断をしていただきたいと思います。経営者は決断の連続です。青年部活動の中で様々な意思決定を行いながら、自社や自身の思い描くビジョンに向かってより善い方向に一歩一歩ステップアップして行けるような組織づくりを目指します。全ての事業に対して回答率 100%出席率 60%を目指します。

### 【幹事会運営方針】

経営者として、常に見られている意識を保つことは大切です。それは人格を磨く事にも繋がります。議論の質だけでなく、立ち居振る舞いも意識し、憧れられる幹事会メンバーを体現していきます。上程期限など、決められたルールはきちり守る、懇親会では腹を割って自社の経営について熱く語り合う等、メリハリの利いた運営を行います。

### 【委員会運営方針】

委員会の質には徹底してこだわっていただきたいです。質の向上の為、正副委員長会の議論もしっかり行い、ゲストを含める全ての会員の学びになる委員会を目指していただきたいです。また、自委員会だけでなく、他の委員会の成功にも協力し合える環境を構築し、幹事会全体で切磋琢磨し合える委員会運営を目指します。

### 【増強拡大に関する方針】

増強拡大無くして組織の成長はあり得ません。様々な価値観・考え方をを持った経営者との出会いを増やすことは自身と自社の成長に必ず繋がっていきます。また、増強の質も重視したいと考えています。単純に数を増やすのではなく、心から青年部に入って共に学びたいと思って頂けるような事業や委員会づくりを行い、結果として組織拡大が達成出来ているような環境づくりを目指します。

●グループ全体で純増 25 名以上の達成

### ◆各委員会運営方針

### 【総務委員会に関する方針】

青年部運営の要として全体が円滑に役割を果たせる様に情報・スケジュール・議案書・委員会の管理を行いながら正副幹事長会と委員会との連携を、縦軸・横軸を意識して行います。また、他幹事会との情報交換も行いながら青年部は 1 つという想いのもと、全幹事会の連帯強化にも努めます。

- 会員拡大に関する業務
- 正副委員長会・委員会の開催
- 4 月総会の企画・運営
- 3 月卒業褒賞会の企画・運営
- 正副幹事長会・幹事会の議事録の作成
- 9 月中間検証の企画・運営
- 年間スケジュールの管理
- 各委員会の活性化の数値化
- 総務 PJ への参画
- 委員長会の立ち上げ
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成、出欠回答率 100%

#### 【例会委員会に関する方針】

例会は青年部活動においてのメインコンテンツです。例会を大切な商品と捉え、質を磨き上げていきます。例会委員会では、とくに第1グループの活動方針が体现できるような例会づくりを行い、その報告を通じて、参加者が未来への一歩を踏み出すきっかけになるような環境づくりを行います。

- 会員拡大に関する業務
- 正副委員長会・委員会の開催
- 年に2回以上例会の企画・運営(グループ内から報告者を出す。)
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成、出欠回答率 100%

#### 【交流委員会に関する方針】

交流無くして人と正面から向き合うことは出来ません。青年経営者同士が本気で交流し、本気で楽しめる場を提供することでグループ全体の横串を通し、真剣に楽しむ経験を経て、腹を割って話し合えるかけがえのない経営者仲間が出来るような環境づくりを行います。

- 会員拡大に関する業務
- 正副委員長会・委員会の開催
- 7月納涼会の企画・運営(会員向け)
- 12月クリスマス会の企画・運営(家族向け)
- 年に1回以上交流ミニイベントの企画・運営
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成、出欠回答率 100%

#### 【サポート組織強化委員会に関する方針】

会歴の浅い会員や新会員を中心に、青年部活動の意義を理解してもらおうと同時に、共に活動する仲間に青年部活動の良さやどのような活動・事業を行っているかについてを告知し、会員が最大限に学びを得ることができるよう、青年部活動をサポートします。また、組織を大きくしていくうえで必要不可欠である組織強化をグループ全体で体験できるような環境づくりを行います。

- 会員拡大に関する業務
- 正副委員長会・委員会の開催
- 年に1回サポート組織強化例会の企画・運営
- 年に1回以上サポート組織強化ミニイベントの企画・運営
- 所属先委員長と連携した新会員のサポート
- 退会者となりそうな方へのサポート及び管理
- SNSを活用し、月に1度以上事業・イベントの告知・報告
- 組織強化PJへの参画
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成、出欠回答率 100%

#### 【渉外委員会に関する方針】

青年部は一つという想いのもと、県内の本会支部・青年部 OB・他グループとの連携強化、橋渡し役を担います。また、県外との繋がりを作り、青年部会員が県外の例会や勉強会に積極的に参加出来るような環境づくりを行い、学びと出会いの輪を広げていきます。

- 会員拡大に関する業務
- 正副委員長会・委員会の開催
- 年に1回渉外例会の企画・運営
- 年に1回以上渉外ミニイベントの企画・運営
- 近畿圏合同例会PJへの参画
- 近畿圏サミットへの積極的な参加
- 青全交・近畿圏合同例会の参加動員取りまとめ業務
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成、出欠回答率 100%

#### 【増強委員会に関する方針】

組織として数字・目標達成に本気で向き合い、数字にこだわる意識を癖付けながら、グループ全体で目標達成が出来るような仕組みづくりを行います。心から青年部に入って共に学びたいと思って頂けるような事業や委員会づくりを行い、結果として組織拡大が達成出来ているような環境づくりを行います。

- 会員拡大に関する業務
- 正副委員長会・委員会の開催
- 年に2回以上ウェルカム例会の企画・運営
- グループ全体で増強 25名の達成に向けた進捗管理やグループ全体の動員窓口
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成、出欠回答率 100%

#### 【研修委員会に関する方針】

経営に必要な知識・技術や経営者としてのやり方・あり方を体得できる研修を通じて、経営課題を解決する手掛かりを学ぶと共に、人としても成長できるような事業づくりを目指します。組織で共に成長していく事を体感し、研修・教育の重要性を学ぶことで研修・教育を自社に落とし込むきっかけとなるような環境づくりを行います。

- 会員拡大に関する業務
- 正副委員長会・委員会の開催
- 年に2回以上の学びのある研修事業を企画・運営
- 年に1回以上のG長研修の企画・運営
- 青年部 MGPJ への参画
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成、出欠回答率 100%

#### 【経営指針ビジョン委員会に関する方針】

経営者としてどうありたいか、会社をどうしたいかという想いを明確にすることは、会社の持続的な成長・発展には必要不可欠です。経営指針やビジョンの重要性、経営者としての想いの大切さを再認識してもらえるような事業を通し、自社・自身がより善い未来に向かうことが出来るきっかけとなるような環境づくりを行います。

- 会員拡大に関する業務
- 正副委員長会・委員会の開催
- 年に2回以上経営指針ビジョン例会の企画・運営
- 経営指針書成文化セミナーへの積極的な参加、未受講者への受講促し
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成、出欠回答率 100%

## 職務分掌(案)

### 【幹事長】

- 正副幹事長会の召集・出席
- 幹事会の召集・出席
- 支部例会への出席
- 近畿圏サミットへの出席
- 連絡協議会への出席
- 青年部第 1G 幹事会の代表としての活動
- 幹事の任命
- 所属各グループの委員会設置
- 近畿圏合同例会への出席
- 県・青年部役員研修への出席

### 【副幹事長および総括幹事】

- 幹事長の補佐
- 担当委員会および事業の報告
- 正副幹事長会への出席
- 幹事会への出席
- 幹事会の議長担当
- 担当以外の委員会との連絡・調整
- 役員研修への出席
- 支部例会への出席
- 近畿圏合同例会への出席
- 渉外担当副幹事長は近畿圏サミットへの出席
- 県・青年部役員研修への出席

### 【総括幹事】

- 幹事会メンバーでの中間検証の企画・検証
- 事務局との調整
- 会計管理の業務
- 連絡協議会への出席
- 県・青年部役員研修への出席
- 県の理事会方針および青年部諸規定の研究

### 【委員長】

- 月 1 回、正副委員長会の召集・出席
- 月 1 回、委員会の召集・出席
- 予定者委員会の召集・出席
- 幹事会への出席
- 支部例会への出席
- 青年部役員研修への出席
- 青年部例会の企画・運営
- 近畿圏合同例会への出席・参画
- 会員増強への協力

### 【副委員長】

- 担当委員会の各事業の企画・運営・実施
- 委員長を補佐し、万一の場合には、副委員長がその職務を代行する
- 事業責任者を兼務する場合もある

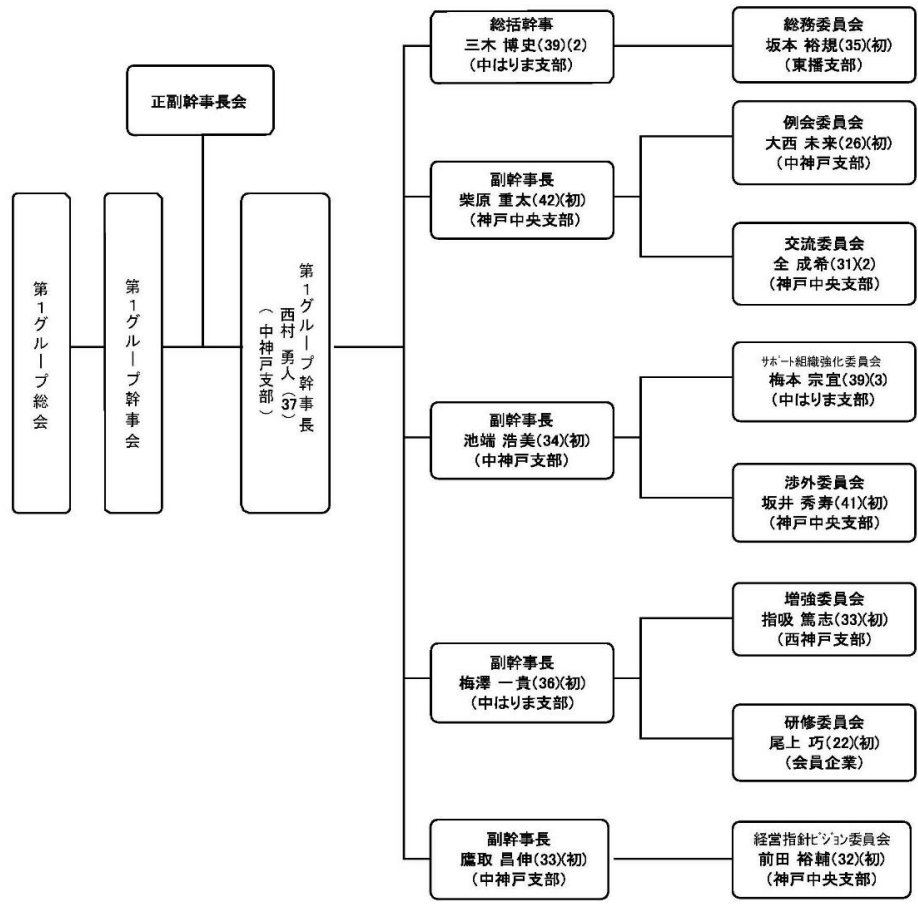
- 年1回以上幹事会へのオブザーバー出席
- 会員増強への協力
- 委員会報告シートの提出
- 正副委員長会への出席
- 委員会への出席

**【運営幹事】**

- 委員会および懇親会の召集・設営に関する業務
- 委員会内の連絡網の管理に関する業務
- 委員会名簿作成・管理に関する業務
- 委員会・例会の参加要請・出欠確認に関する業務
- 委員会・事業における会計に伴う諸事に関する業務
- 委員会報告シートの提出
- 正副委員長会への出席
- 委員会への出席

**【会員】**

- 担当委員会への出席
- 例会への出席
- 県行事および支部行事への出席



## 総務委員会委員長所信(案)

委員会名 : 総務委員会  
担当総括幹事予定者 : 三木 博史  
委員長予定者 : 坂本 裕規  
作成日 : 2025 年 1 月 11 日

### 「支える精神！組織のエンジン！」

#### 【所信】

組織を支える「要」としての役割を果たし、率先して円滑な組織運営が行える環境を創ります。その上で、第 1 グループだけでなく、青年部全体の活性化を目指します。

経営者としての視座を高く持ちながら、パフォーマンスを最大限に発揮できるようにサポートするという総務の視点を兼ね備え、普段見えにくい自社の課題に気づくことで、自社・自身の成長へと繋げていきましょう。

#### 【運営方針】

##### (委員会運営)

- 委員会メンバーの悩みや課題を聞き、共有することで、より自己開示しやすい環境をつくります。
- 懇親会では経営の話をし、議論を深め、本気で向き合える仲間になり、自社・自身の発展につながる魅力的な委員会にします。
- 決算書・経営指針書を持参し、見せ合う機会をつくり、自社の数字について理解を深め、委員会メンバーが総務機能の重要性を理解し、自社の組織運営に効果をもたらします。
- 自委員会だけでなく、他委員会や総務 PJ、他グループの幹事会へ参加できる環境と機会をつくります。
- 幹事会と正副幹事長会の議事録を作成します。
- 各委員会の事業に関わる情報を把握し、発信します。
- 事前に委員会メンバーの課題を共有し、全員で解決できる時間にします。

##### (事業運営)

- 予定者委員会では、新年度が始まる前に第 1 グループの活動方針や意義を理解する場とし、第 1 グループ全体が同じ方向に進めるような事業にします。
- 中間検証では半期の目標を振り返り、達成度合を確認します。その後、後期を迎えるにあたっての目標と戦略を立て、幹事会グループで合意をとり「一歩善進」を意識した具体的な行動計画を作ります。
- 3 月の卒業褒賞会では、幹事長が掲げた「一歩善進」のテーマのもとに活動した第 1 グループの仲間の成長を称え合い、来期以降の自社・自身、青年部活動の成長に繋がるような事業にします。

#### 【行動計画】

##### (委員会計画)

- 委員会は毎月 1 回開催します。委員会後は懇親会を開催します。
- 正副委員長会は委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 委員会出席率 60%以上達成できるように取り組みます。
- 総務委員会では今期純増 3 名以上の新入会員を迎え入れます。
- 中間検証後追加で 1 名以上の副委員長を選出します。

##### (事業計画)

- 担当事業 3 回の企画・運営をします。
- 各事業の参加率を 60%以上達成できるように取り組みます。
- 総務 PJ に参画します。

#### 数値目標

委員会参加率(60%以上) 例会参加率 (60%以上) 拡大目標 (純増 3 名以上)

## 例会委員会委員長所信（案）

委員会名 : 例会委員会  
担当副幹事長予定者 : 柴原 重太  
委員長予定者 : 大西 未来  
作成日 : 2025 年 1 月 11 日

### 想いを繋ぎ、創り出す未来

#### 【所信】

1つ1つの例会には熱い想いや経営のヒントが詰まっています。これらをより多くの人に繋ぎ、参加者の社業をより発展させることを目指し、もっと参加したい、学びたいと思えるような例会を作ります。また、例会作りや委員会活動でのチャレンジする姿勢を通して、メンバーが勇気をもって善い一歩を踏み出したくなるような環境を創造します。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会は委員メンバーが主体となって運営します。
- 委員会は自分史や自社の経営について経営体験報告を行い、企業訪問します。
- 委員会では報告前に1人1分話す場を設け、自社・自身において最近チャレンジしたことを発表します。
- 委員会後に必ず懇親会を実施します。
- 懇親会では報告の質を高めるため、報告者へのフィードバックタイムを設けます。

##### （事業運営）

- 第1グループ全体の例会の質を高め、「参加したい」「学びたい」と思える例会を作ります。
- 例会の報告者は自グループから選出し、運営は委員会メンバー全員で行います。
- アンケートを実施し、懇親会参加率を高める例会を企画します。
- 子連れ可能な例会を企画・提案します。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月1回以上開催します。
- 正副委員長会を委員会とは別日で毎月1回以上開催します。
- 委員会での経営体験報告のプレを必ず委員会前に実施します。
- 委員会出席率 60%以上、出欠回答率 100%を目指します。
- 純増 4 名以上を目指します。

##### （事業計画）

- 5 月と 2 月に例会を企画・運営します。
- 年に 1 回 G 長研修を実施します。
- 委員メンバー 1 名以上が必ず公式プレに参加します。
- 4 月中に例会に参加する人を増やすためのアンケートを実施します。
- 懇親会の内容を検討し、第 1 グループ全体の例会の懇親会参加率 50%以上を目指します。
- 事業出席率 60%以上、出欠回答率 100%を目指します。

#### 数値目標

委員会参加率(60%以上) 例会参加率 (60%以上) 拡大目標 (純増 4 名以上)

## 交流委員会委員長所信（案）

委員会名 : 交流委員会  
担当副幹事長予定者 : 柴原 重太  
委員長予定者 : 全 成希  
作成日 : 2025 年 1 月 11 日

### 「とことん向き合う」 ～交流がもたらす新しい価値観～

#### 【所信】

交流を通じ、新たな視点、考え方に触れることで、人と関わる楽しさを感じ、腹を割って話し合える仲間を見つける環境を創ります。本気で向き合った先にある、自社・自身に活かせる人との繋がりをグループ全体で実現することを目指します。かけがえのない経営者仲間を作りましょう！！

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 業務連絡は組織図を理解する為に、運営幹事より委員会グループラインを活用します。
- グループ全体を繋ぐ為に、委員会開催日を委員長ライン、幹事会を使い他委員会に告知します。
- 参加率を上げるために、委員会開催日は年間スケジュールで決め、原則 1 か月前に委員会内で告知します。
- お互いの経営課題にとことん向き合える環境を創ります。

##### （事業運営）

- 交流を通じグループメンバーが本気本音で関わり合える事業を実施いたします。
- グループ活性化の為に各委員会と連携してメンバーリストを作成します。
- より多くの交流を図る為にメンバーに役割を与え、一人一人が活躍できる事業を実施します。
- グループ全員が主役になるような本気で楽しめる事業を開催いたします。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 月一回以上の委員会を開催いたします。
- 月一回以上の正副委員長会を開催いたします。
- 委員会は、経営体験報告を実施いたします。
- 1 分間スピーチを実施し自社の状況と課題を共有し、本気本音で関わり合います。
- 委員会は月初に行い、グループ全体を繋ぐために他委員会への参加を促進します。
- 可能な限り委員会メンバーの会社にて委員会を開催いたします。
- 委員会の後は必ず懇親会を開催し、経営の話に加え交流の大切さについて語り合います。
- 副委員長を 1 名増やします。

##### （事業計画）

- メンバーリストは 5 月の幹事会で共有します。また、サポート組織強化委員会と協力し、毎月共有します。
- 7 月納涼会の企画・運営をします。
- 12 月クリスマス事業の企画・運営をします。
- 各事業、委員会の参加率 60%以上、回答率 100%を目指します。
- 年一回以上の交流ミニイベントの企画・運営を致します。

#### 数値目標

委員会参加率(60%以上) 例会参加率 (60%以上) 拡大目標 (純増 5 名以上)

## サポート組織強化委員会委員長所信（案）

委員会名 : サポート組織強化委員会  
担当副幹事長予定者 : 池端 浩美  
委員長予定者 : 梅本 宗宜  
作成日 : 2025 年 1 月 19 日

### 「本気で関わり共に善進」

#### 【所信】

サポート組織強化委員会では、共に活動する仲間に青年部活動の良さやその目的を伝えていくことで組織強化の重要性を体現します。この 1 年間を通して経営課題に本気で向き合うことで互いに成長し、仲間が踏み出した一歩を共に喜び合える環境と関係を構築します。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- お互いのことをよく知るために会社訪問を行い、背景や悩みを共有し、経営課題に向き合います。
- 各委員会メンバーが 1 年後に達成する目標を掲げ、達成状況を共有する時間をつくります。
- 会員が今より自社と自身を一步善進させるための知識や姿勢を学べる機会を提供します。
- 1 年間の青年部活動を通して、委員会メンバー全員が自社を良くすることを目指します。

##### （事業運営）

- 退会率が高いとされる、入会 3 年未満の会員の自社成長につながる事業を運営します。
- 会員の経営課題にスポットをあて、解決のきっかけになるような事業を運営します。
- 事業責任者のみでなく、委員メンバー全員が参画し事業運営を行います。
- 他の委員会とも繋がりを大切に、交流することでグループ全体の関係構築をサポートします。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 初回委員会で各メンバーの目標設定、9 月に中間検証を行い、目標達成の状況について 1 年後に振り返りを行います。
- 正副委員長会は委員会とは別日に毎月 1 回開催します。
- 新入会員へ配布するオリエンブックを 6 月までに作成し、入会者がスムーズに青年部活動に参加できるようサポートします。
- 各委員会と連携し、参加率の低い会員、退会の可能性がある会員のリストを作成し、フォローできる体制を構築します。
- 今期純増 3 名以上の新入会員を迎え入れます。

##### （事業計画）

- 9 月サポート組織強化例会の企画・運営をします。
- 1 月にサポート組織強化ミニイベントの企画・運営をします。
- Facebook ページを作成し、月に 1 回以上の事業、イベントの告知・報告をサポートします。
- 組織強化 PJ への参画

#### 数値目標

委員会参加率(60%以上) 例会参加率 (60%以上) 拡大目標 (5 名以上)

## 渉外委員会委員長所信（案）

作成日 : 2025 年 1 月 27 日  
委員会名 : 渉外委員会  
担当副幹事長予定者 : 池端 浩美  
委員長予定者 : 坂井 秀寿

### 「成長の輪を広げる 架け橋となる」

#### 【所信】

限りある出会いの中で学びの機会を大切に、より多くの出会いを作る事で、本気で学び合いグループ全員が一步前へ踏み出し、成長を後押しできる環境を作ります。

目標を立て一歩ずつ善進する事で、描いた未来を実現できる組織を体現すると共に、自社の成長へと繋がります。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会は、委員メンバーが主導となって運営します。
- 委員会は、企業訪問を行い 経営体験報告を実施します。
- 委員会は、本気で経営課題を議論できる場にします。
- 委員会は、成長に繋がる出会いや学びを大切にします。
- 委員会は、開催毎に改善や工夫を加え、毎回最高の委員会を目指します。
- 委員会の懇親会は、自社・自身の経営課題について話し、開催毎に何か1つ成長に繋がるヒントを得られる場にします。

##### （事業運営）

- 圧倒的に成果を残しているグループ外の経営者と関わりを持ち、普段の青年部活動では得られない、成長に繋がる学びやきっかけを得られる事業を作ります。
- 委員会一丸となって取り組み、挑戦を通して一步前へ踏み出し、委員メンバー全員が成長できる機会にします。
- グループ外の事業へ参加し、委員会が架け橋となって、成長に繋がるより多くの出会いを作り、後押しします。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は、毎月 1 回開催します。
- 委員会は、毎回目的やゴールを掲げ実施します。
- 委員会は、積極的にゲストやオブザーバーを迎え入れ実施します。
- 委員会の懇親会は、自社・自身の経営課題を発表する時間を設け実施します。
- 正副委員長会は、委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 渉外委員会では、今期純増 5 名を迎え入れます。

##### （事業計画）

- 8 月に渉外例会を開催します。
- 2 月にミニイベントを開催します。
- 近畿圏合同例会 PJ へ参画します。
- 近畿圏サミットへ積極的に参加します。
- 青全交・近畿圏合同例会の参加動員取りまとめを行います。

#### 数値目標

委員会参加率(60%以上) 例会参加率 (60%以上) 拡大目標 (7名以上)

## 増強委員会委員長所信（案）

委員会名 : 増強委員会  
担当副幹事長予定者 : 梅澤 一貴  
委員長予定者 : 指吸 篤志  
作成日 : 2025 年 1 月 20 日

### 「楽しさの先にある成長を掴む！」

#### 【所信】

青年部の歴史に感謝し、活動を通じて仲間と楽しく学びながら、本気・本音で向き合い、互いの長所、短所を理解し合うことで、自社と自身を成長させるための要素を、一つでも多く見つけます。一期一会の精神を大切にしつつ、単に会員数を増やすことだけを目的とせず、全力で楽しむことで、仲間同士の学びや深い交流関係を築き、グループの活性化を目指します。グループ全体を巻き込み、繋がりと学びを広げる環境を全員で創り、自社と自身の強みを高めて、熱い繋がりを築く増強活動に取り組んでいきます。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会全員に運営幹事から情報発信を行い委員会メンバー全員に共有しておく。
- グループ全体を繋ぐ為に、委員会開催日を委員長会ライン、幹事会を使い他委員会に告知します。
- 期首初めに出席率を上げる目的と、事前に準備する事の大切さを認識する目的で年間スケジュールを策定します。
- 増強の目的を委員会内でしっかりと認識し、目標数値に対して貪欲に向き合います。

##### （事業運営）

- 事業目的を周知し、正副委員長が中心となって事業運営・動員目標の達成を行います。
- 担当例会は新入会員増加も目的とし、報告者については広く候補をあげます。
- 増強会議は委員長は参加必須とし、委員会メンバーには必ず案内を行いその都度出欠をとります。
- 例会委員会と協力し、例会の懇親会でゲストとの意見交換の時間を設け、入会の良さを体感してもらう。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催し、「1 分間スピーチ」を取り入れて近況報告を共有します。
- 正副委員長会を別日に毎月 1 回実施し、今後の活動について現在の問題提起を行い共有します。
- 委員会出席率 60%以上、出欠回答率 100%を目指します。
- 委員会内の情報共有用 HP を第 1 回正副委員長会までに作成しフォーマットを共有します。
- 中間検証後に副委員長を 2 名以上増員し、期末には正副 6 名体制を目指します。
- 増強数値を見える化するため委員会でグラフを作成し、月 1 回グループ全体に運営幹事が共有します。
- 委員会開催日の 1 カ月前、1 週間前、前日に委員会ラインで運営幹事がリマインドを行う。

##### （事業計画）

- 年に 2 回以上、ゲスト 16 名を目標としたウェルカム例会を企画・運営します。
- 今期は純増 5 名以上の新規会員入会を目標に取り組みます。
- 組織全体の士気を上げるため、ゲスト参加 10 名を目標とした、座談会を 8 月・11 月・令和 7 年 2 月に開催する。
- グループ純増 25 名を達成する為に、6 月以降の幹事会前に増強会議を開催します。

#### 数値目標

委員会参加率(60%以上) 例会参加率 (60%以上) 拡大目標 (純増 5 名以上)

## 研修委員会委員長所信（案）

委員会名 : 研修委員会  
担当副幹事長予定者 : 梅澤 一貴  
委員長予定者 : 尾上 巧  
作成日 : 2025 年 1 月 21 日

### 「経営課題をぶっ壊せ」

#### 【所信】

日々成長し続けるために、自社・自身の成長に必要な知識や技術を研修を通じて学びます。これにより、経営課題を解決する手掛かりを得るとともに、経営に必要な知識を身につけ課題を克服します。また、人としても日々成長できるような環境づくりを目指します。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 経営体験報告を行い、可能であれば報告者の会社訪問をします。
- 経営体験報告前に現状の課題や、悩みを共有します。
- 委員会で、自社・自身の課題を聞き出して懇親会でさらに深掘りし、解決へ向け話し合います。
- 委員会メンバーが予定を立てやすくする為に委員会の年間スケジュールを作成します。
- 委員会を活性化させる事と、報告者へのフィードバックの数を増やす為、委員会参加率 60%以上を目指します。

##### （事業運営）

- 事前準備を徹底的に行い、円滑に事業を遂行します。
- 研修後に意見交換の時間を設け、参加者同士のつながりを深めることで学びをより豊かなものにする。
- 研修・教育を自社に落とし込むきっかけとなるような環境づくりを行います。
- 会員の経営課題を解決する手掛かりになるような研修事業を企画・運営します。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員長会は委員会とは別日に毎月 1 回開催します。
- 3 月の予定者委員会で運営幹事が中心となり、委員会の年間スケジュールを作成します。
- 委員会後に懇親会を行い、委員会での内容を振り返り、懇親会ではさらに深掘りし、経営課題の解決へ向け話し合います。
- 毎月の委員会で来月の委員会の確認をします。
- 委員会グループを作成し、運営幹事が委員会の 2 週間前と前日にリマインドし、1 週間前に次策を送ります。

##### （事業計画）

- 年に 1 回以上の学びのある研修事業を企画・運営します。
- 年に 1 回以上の家族や、社員の参加できる研修を企画・運営します。
- 年に 2 回以上の G 長研修を例会委員会と協力して企画・運営します。
- 青年部 MGPJ への参画
- 例会参加率 60%以上、出欠解答率 100%を目指します。

#### 数値目標

委員会参加率(60%以上) 例会参加率 (60%以上) 拡大目標 (純増 4 名以上)

## 経営指針ビジョン委員会委員長所信（案）

委員会名 : 経営指針ビジョン委員会  
担当副幹事長予定者 : 鷹取 昌伸  
委員長予定者 : 前田 裕輔  
作成日 : 2025 年 1 月 11 日

### 「ロマンとそろばんで描こう！より善い未来」

#### 【所信】

自社・自身のワクワクした未来を実現し、成長・発展していくためには、「志」と「実践」が必要不可欠です。そのために、経営指針やビジョンを通して、「人としてどうありたいか」、「会社をどうしていきたいか」という想いを明確化できる機会を作ります。そして、自社・自身がより善い未来に向かうことが出来るきっかけとなるような環境づくりを行っていきます。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 事務所見学: 可能であれば会社・事務所を訪問し、見学します。
- 自己紹介、業務内容、経営理念、ビジョン、現在の課題、への取組といった経営体験報告を行います。
- 委員会は必ず懇親会までセットで企画し、報告者ゆかりのお店で自社の課題や経営指針、ビジョンについて深く語ります。
- ワークショップ: 「自分のことは棚に上げて話すけど」をキーワードに経営指針書にフィードバックします。
- 毎月の委員会後にアンケートを実施する。定性・定量的なデータを踏まえて、質の高い委員会運営を行っていきます。

##### （事業運営）

- 経営指針ビジョン委員会として 2 回の例会を実施します。
- 経営指針書を活用している実践者、高い志を掲げ、ビジョンを守り、貫き通している実践者を報告者にした事業を行います。
- 例会の報告者は原則、自グループより選出します。
- 経営指針書作成が大切に面白いと思える事業(研修なども含む)を行います。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員長会は委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 委員会は、委員長が方針を示し、運営幹事・副委員長・報告者が協力して作り上げます。
- 正副・委員メンバーを中心にした経営体験報告を行います(10 回)。
- 経営指針書をブラッシュアップするワークショップを実施します(2 回)。
- 委員会の最後に、各自 1 分間以内で「現在の課題と次月までにやること」を宣言します。

##### （事業計画）

- 事業参加率を毎回 60%以上達成及び、出欠回答率 100%を目指します。
- 年に 2 回以上経営指針ビジョン例会の企画・運営
- 経営指針書成文化セミナーへの積極的な参加、未受講者への受講促しを行います。
- 年 1 回以上の経営指針書を作成・実践を促す事業の企画・運営を行います。

#### 数値目標

委員会参加率(60%以上) 例会参加率 (60%以上) 拡大目標 (3 名以上)

## 2025 年度 青年部第 2 グループ 活動方針(案)

# 「その先」へ挑む 情熱とワクワク、仲間と共に次のステージへ

2025 年度、青年部第 2 グループは、「その先」へ挑むことをテーマに活動していきます。私たち経営者は、日々挑戦を続けています。その挑戦をさらに大きく、強いものにするため、共に学び、その先を目指そうとする姿勢が必要です。時代の変化と共に環境が変わっていく今、経営する目的を明確にして環境を変える行動、様々な経験から学び変化に対応できる力を身につけ、未来を切り拓く会社経営をしていきましょう。

私たち青年部第 2 グループには、3 つの大切な軸があります。

### 1 つ目は、仲間との本気・本音の関わり合い

同じ経営者として、時に励まし合い、時に厳しく指摘し合う中で築く一生涯の信頼関係が、活動の基礎となります。ともに高め合える仲間と、熱い思いを分かち合いましょう。

### 2 つ目は、高い志と目標設定

「10 年後の兵庫経済を担う」という高い志を胸に、自社経営において具体的な目標を掲げ、目標から逆算して挑戦を積み重ねることが、私たちの使命です。高い志を持って、共に前進していきましょう。

### 3 つ目が、組織的な活動と実践

先輩たちが築いた歴史や仕組みを学びながら、本質を理解し、自社の組織運営に活かしていく。委員会活動や事業、青年部での活動すべてが学びの機会です。実践を通じて、個人の成長と組織の成長は培われます。実践の積み重ねが、私たちの成長の原動力です。学びと実践を重ねながら、ともに成長する喜びを分かち合いましょう。

3 つの軸が交わる場所に第 2 グループが目指す理想の姿があります。

その先にある景色を想像して、1 年という限られた時間の中で情熱とワクワクを胸に仲間と共に「その先」へ挑んでいきましょう。

2025 年度 第 2 グループ 幹事長 二瓶 浩昌

## 組 織 方 針(案)

### 【組織運営方針】

青年部組織を自社事と捉え本気で取り組み、理想の組織運営を学び、自身・自社でその先へ挑んでいきましょう。会員の皆さんが所信のもと個性を発揮し、活発に人間味のある交流をしながらも、困難に直面したら組織一丸となって乗り越え、同じ目的を達成するため仲間と共に主体的にチャレンジし、個人も、組織も成長していくことを目指します。

### 【幹事会運営方針】

幹事会は第 2 グループの最高意思決定機関という自覚をもって、幹事会運営に臨みます。幹事は品格を重んじ、責任ある発言と行動を取り、互いを尊重し誠意ある真剣な議論を行うことで、合意形成の本質を学びます。委員長は委員会メンバーの代表者という責任感をもって幹事会に参画し、理想の会議体を目指します。情熱を持ちワクワクしながら、仲間と共に次のステージへ向かえる幹事会を目指します。

### 【委員会運営方針】

委員会の仲間同士で切磋琢磨でき、刺激の多い場所となることから、委員会活動は第 2 グループの活動において、最も重要な基盤です。委員会メンバー個人・自社のそれぞれの成長に重点を置きつつ、掲げた委員長所信を体現します。本気・本音の関わりから、共に高め合える仲間と、熱い思いを分かち合いきましょう。委員会メンバーが高い志を持ち、その先へ挑戦するための土台、主体的に学びを掴み取りに行く環境作りをします。

### 【増強に関する方針】

会員が青年部活動の魅力を知り、切磋琢磨できる新たな仲間と本気で関わることで、共に学び合いの連鎖を体感します。そして、新たな自身の自身・自社の成長のために、第 2 グループが一丸となって真剣に向き合います。今期純増目標 25 名以上を目指す中で、増強の苦楽を会員皆が真摯に受け止め、高い志を持ってその先の未来へと繋がる強固な増強へ挑戦し続けます。

### 【総務・広報委員会に関する方針】

青年部運営の要として、会議・予算・スケジュール管理・広報を担い、スムーズな事業運営を牽引します。情報の周知、理解を高め、目標達成のための活きた意見・情報を整理整頓することで、組織全体のパフォーマンスを向上させます。

- 幹事会の成立を担保し、幹事会・正副幹事長会の議事録を担当します
- 総務 PJ への参画
- 第 2 グループの広報を担います
- 7 月例会の企画・運営
- 3 月褒賞会の企画運営
- 各委員会との横の連携を行うことで、強固な組織を作ります
- 年間スケジュールを管理します
- 各委員会の活性化を数値化します
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成

### 【渉外委員会に関する方針】

青年部は 1 つを体現するため、本会支部、青年部 OB、他グループ、県の垣根を超えた関わりをします。青年経営者の関わりの幅を最大限に引き上げる活動をします。

- 近畿圏サミットへの参加
- 9 月渉外例会の企画・運営。
- 1 回以上、他グループ、兵庫県外の青年部会員と関わる事業作りをします。
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成

#### 【指針検証委員会に関する方針】

幹事長所信、組織方針や委員長所信の実践度合いに対する検証を行い、組織の進展を促進させる仕組みを構築します。また、会員の経営指針の実践状況を共有・発信できる場を提供します。

- 8月指針検証例会の企画・運営
- 1回以上ミニイベントの企画・運営
- 中間検証の企画・運営
- 総務委員会と連携しながら、幹事会全体の所信の実践進捗を促進させます
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成

#### 【例会委員会に関する方針】

例会では報告者の体験から自身と自社をどのようにして成長させたのか、さらに、その背景にある経営者の覚悟と姿勢をも学びます。過去の例会に学び、例会のあり方から第2グループ全体の例会品質にこだわり、実践するきっかけ、挑み続ける理由の根源を突き詰め、その先を目指す会員へ成長機会を提供します。バズセッションでは、グループ長の育成に配慮し、報告の学びをさらに深められる場にします。

- 5月、2月例会の企画・運営
- オール青年部への積極的な参画
- 複数回のグループ長研修の企画・運営
- グループ内の例会開催における設えの担保と学びの質の向上を目指す
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成

#### 【増強検証委員会に関する方針】

増強の本質を理解し、新規会員を迎える活動をしていただきます。会員に計画達成の意義を伝えるとともに、生きた組織を体感していただく機会を提供します。組織全体として、ゲストが入りたくなる環境作りをするための先導役となります。

- 6月、12月ウェルカム例会の企画・運営
- ゲスト向け座談会を年1回以上開催する
- 第2グループで純増25名の達成
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成

#### 【組織強化サポート委員会に関する方針】

新入会員や会歴の浅い会員の経営の悩み、会への要望を聞き、積極的なフォローを行い、青年部活動とその意義を伝えます。共に学びたいという熱い想いを持った仲間の事業参加や事前情報を提供し、新たな仲間と本気で関わることで、学び合いの連鎖を体感できる機会を提供します。

- 11月組織強化例会の企画・運営
- 新入会員フォローができる場を設けます
- 年間1回以上のミニイベントの企画・運営
- 増強検証委員会と連携し、入会者のフォロー体制を構築
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成

#### 【研修委員会に関する方針】

経営に必要な知識・技術・考え方を学べる研修と人間的な成長を促進する研修を開催します。あらゆる環境下で臨機応変に対応できる強くなやかな会社を作るための経営課題解決のきっかけを学びます。

- 年2回以上の研修事業の企画・運営
- 年間1回以上のMG研修の企画・運営
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成
- 青年部 MGPJ への参画をします。

#### 【交流委員会に関する方針】

会員同士の絆を深め、組織の結束を強固なものとしします。また、青年部運営における交流の意義を知る機会とします。

- 7月、12月交流事業の企画・運営

- 年間1回以上の交流ミニイベントの企画・運営
- 委員会・例会の参加率60%以上達成

## 職務分掌(案)

### 【幹事長】

- 正副幹事長会の召集・出席
- 幹事会の召集・出席
- 支部例会への出席
- 近畿圏サミットへの出席
- 連絡協議会への出席
- 青年部第2G幹事会の代表としての活動
- 幹事の任命
- 所属各グループの委員会設置
- 近畿圏合同例会への出席
- 県役員研修への出席

### 【副幹事長および総括幹事】

- 幹事長の補佐
- 担当委員会および事業の報告
- 正副幹事長会への出席
- 幹事会への出席
- 幹事会の議長担当
- 担当以外の委員会との連絡・調整
- 県役員研修への出席
- 支部例会への出席
- 近畿圏合同例会への出席
- 渉外担当副幹事長は近畿圏サミットへの出席

### 【総括幹事】

- 幹事会メンバーでの中間検証の企画・検証
- 事務局との調整
- 会計管理の業務
- 連絡協議会への出席
- 県役員研修への出席
- 県の理事会方針および青年部諸規定の研究

### 【委員長】

- 月1回、正副委員長会の召集・出席
- 月1回、委員会の召集・出席
- 予定者委員会の召集・出席
- 幹事会への出席
- 支部例会への出席
- 県役員研修への出席
- 青年部例会の企画・運営
- 近畿圏合同例会への出席・参画
- 会員増強への協力

### 【副委員長】

- 担当委員会の各事業の企画・運営・実施
- 委員長を補佐し、万一の場合には、副委員長がその職務を代行する
- 事業責任者を兼務する場合もある
- 青年部例会の出席・参画
- 近畿圏合同例会への出席・参画

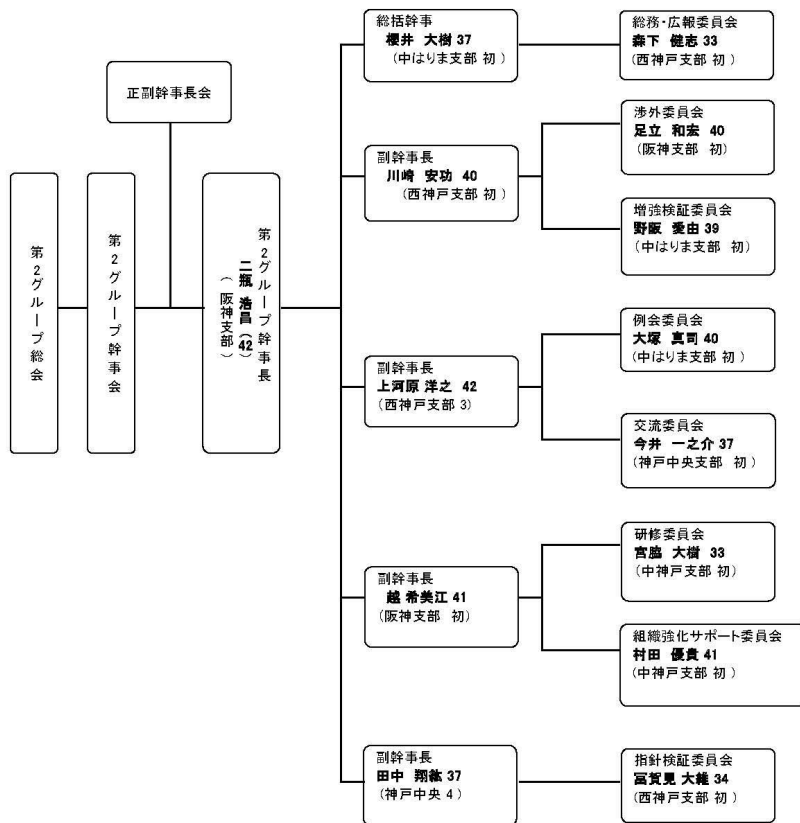
- 年1回以上幹事会へのオブザーバー出席
- 会員増強への協力
- 正副委員長会への出席
- 委員会への出席

**【運営幹事】**

- 委員会および懇親会の召集・設営に関する業務
- 委員会内の連絡網の管理に関する業務
- 委員会名簿作成・管理に関する業務
- 委員会・例会の参加要請・出欠確認に関する業務
- 委員会・事業における会計に伴う諸事に関する業務
- 青年部例会への出席・参画
- 近畿圏合同例会への出席・参画
- 委員会報告シートの提出
- 正副委員長会への出席
- 委員会への出席

**【会員】**

- 担当委員会への出席
- 青年部例会への出席
- 県行事および支部行事への出席



## 総務広報委員会委員長所信（案）

委員会名 : 総務広報委員会  
担当総括幹事予定者 : 櫻井 大樹  
委員長予定者 : 森下 健志  
作成日 : 2025 年 1 月 18 日

### **ポジティブに挑戦！ ～仲間と学び、未来を創る～**

#### **【所信】**

全てに学びがあると捉え、経営課題を明確にし、仲間と共に解決する力を養うことが重要です。取り巻く環境変化を収集・周知し、柔軟に対応する力と信頼できる仲間を育む場を創り上げます。

また、外部環境の変化に的確な対応ができる強い組織を築きます。

生涯を共にできる仲間と支え合い、前向きに挑戦し続けることで、組織全体のパフォーマンス向上につながります。こうした環境を提供することで、組織運営を学び、成長できる場を創ります。

#### **【運営方針】**

##### **(委員会運営)**

- 思いやりを持って本気本音で関わります。
- 信頼関係を土台に、個人の成長と自社の成長の機会を提供します。
- 懇親会は経営の話をする時間として自社の悩みを打ち明け解決策を模索する時間を提供します。
- 委員メンバーのやる気を引き出す環境を創っていきます。

##### **(事業運営)**

- 各委員会と連携し、スムーズな事業運営を牽引します。
- 同じ作業が何度もない様に、仕組みを構築し、作業の効率化を図ります。
- 委員メンバーが積極的に幹事会にオブザーバー参加し、次世代の委員長を 1 名以上育成します

#### **【行動計画】**

##### **(委員会計画)**

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日に毎月 1 回開催します。
- 中間検証後、副委員長を 2 名増やします。
- 各委員会のゲスト目標は 1 名以上を目指します。

##### **(事業計画)**

- 各委員会が使いやすい仕組みの構築、コミュニケーションを通して委員会をサポートします。
- 対外広報は、SNS 等を用い、第 2 グループに学びに来たいと思えるような活動をします。
- 対内広報は、環境変化を察知し、的確に対応できる情報提供し、第 2 グループの広報を担います。
- 第 2 グループとして今期純増 25 名を目指します。
- 幹事会の成立を担保し、幹事会・正副幹事長会の議事録を担当します。
- 総務 PJ への参画。
- 7 月例会の企画・運営及び、3 月褒賞会の企画・運営。
- 各委員会との横の連携を行うことで、強固な組織を作ります。
- 年間スケジュールを管理します。
- 各委員会の活性化を数値化します。

#### **数値目標**

**委員会参加率(70%) 例会参加率 (65%) 純増目標 (4 名)**

## 渉外委員会委員長所信（案）

委員会名 : 渉外委員会  
担当副幹事長予定者 : 川崎 安功  
委員長予定者 : 足立 和宏  
作成日 : 2025 年 1 月 19 日

### 学びは「経営者の自己開示」にある

#### 【所信】

渉外委員会では、互いの経験や価値観の違いを認め、何事にも敬意と関心をもって関わる姿勢を基本とします。また、本会や青年部他グループ、さらには他府県本会、青年部の垣根を超えた交流の中で、経営者同士が自己開示することで、より深い学びと気づきを得られると考えています。自己開示を通じて得た出会いや気づきを大切に、湧き上がる情熱とワクワクをエネルギーに変えて、経営者として共に成長できる環境づくりを目指します。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 青年部活動の基礎組織として、すべての活動の基点とします。
- お互いを「社外重役」として真摯な交流を行い、自社の問題点や経営者としての課題に気づき、確認し、実践に取り組みます。
- 学んだことをどのように実践したか確認しあい、「知ってる」から「できる」を目指す関わりに取り組みます。
- 本気本音で関わり合える懇親会を開催します。
- 委員会メンバーが積極的に幹事会にオブザーバー参加し、次世代の委員長を1名以上育成します。

##### （事業運営）

- 渉外委員会事業、渉外例会では報告者、参加メンバー、運営メンバーの3者が学べる事業にします。
- 10年後の兵庫経済を担う経営者を担えるよう青年部活動の中で切磋琢磨できる仲間とともに学び取る姿勢を持って事業運営を行います。
- 県外事業への積極的な参画を促します。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月1回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月1回開催します。
- 中間検証後、追加で副委員長を2名選出します。
- 近畿圏サミットへ参画します。

##### （事業計画）

- 9月渉外例会を企画・運営します。
- 1回以上、他グループ、兵庫県外の青年部会員と関わる事業作りをします。
- 第2グループとして、純増25名以上を迎え入れます。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 純増目標 (4名)

## **増強検証委員会委員長所信（案）**

委員会名 : 増強検証委員会  
担当副幹事長予定者 : 川崎 安功  
委員長予定者 : 野阪 愛由  
作成日 : 2025 年 1 月 17 日

### **「幸せな強い組織を作るために」**

#### **【所信】**

私たち経営者は、自身・社員・お客様の幸せを実現するために、自社を本当に「強い組織」にしたいと考えています。そのために、この青年部の活動を通じて、「本当に強い組織をつくるためのあり方」を学びたいと思います。

増強とは、多様な視点やスキル、経験を組織に取り入れることで、課題を解決し、組織の活力を維持・発展させ、永続的な成長を可能にするものです。

私たち増強委員は、グループ全員が増強活動を円滑に進められるよう伴走し、その活動を新しい文化として青年部の歴史に刻んでいきます。この使命に情熱を持ち、挑戦し続けます。

#### **【運営方針】**

##### **(委員会運営)**

- これからの時代に必須のスキルを学び活用する。
- 誰一人取り残さない、個性を大切にしよう。
- 効果的な増強施策を立案・実行・検証する。
- 会社見学を通して、多様な経営スタイルに触れることで、新たな発見や共通体験を生み出す。
- 懇親会では、委員会を含む今日一日の振り返りを行い、学びをアウトプットする習慣をつける。
- 委員メンバーが積極的に幹事会にオブザーバー出席し、次世代の委員長を一名以上育成する。

##### **(事業運営)**

- 参加者に青年部活動スイッチを「カチッ」と入れてもらえる機会を作る。
- 人前で発言するスキル、本質を掘り下げる技術を身に付ける。
- 委員会メンバー全員が役割を持ち、“主催者”として事業運営に関わることの魅力を知る。

#### **【行動計画】**

##### **(委員会計画)**

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 中間検証後、副委員長を 2 名選出します。
- 委員会報告書を毎月 1 回委員会へ共有します。

##### **(事業計画)**

- 第 2 グループ全体から新入会員純増 25 名以上を達成します。
- 6 月と 12 月にウェルカム例会を企画、運営します。
- 拡大を目的としたゲスト向け座談会を年に一回開催します。
- 渉外委員会との連携を行い、拡大合同委員会を年 2 回以上開催します。
- 各例会で青年部対象ゲスト 2 名を動員します。

#### **数値目標**

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 純増目標 (4 名)

## 例会委員会委員長所信（案）

委員会名 : 例会委員会  
担当副幹事長予定者 : 上河原 洋之  
委員長予定者 : 大塚 真司  
作成日 : 2025 年 1 月 19 日

### 「昨日より 101%の成長とワクワク」

#### 【所信】

本委員会の目的は自社の発展と捉えメンバー本人の成長が最重点課題と考える。活動では様々な価値観や強みを持つ仲間と本気・本音の関わりを通して経営者の覚悟と姿勢を引き出した委員会・例会に繋げる。得た学びを糧とするためにメンバーの高い目標設定と逆算からの日々の小さな達成、さらには効果的なタイムマネジメントで実践の回数を増やし「気づけばここまで来た」と実感し未来への成長のワクワク感と情熱を醸成する。

#### 【運営方針】

##### (委員会運営)

- 各メンバーの経営課題を包み隠さずに話せる環境を作る
- 各メンバーの活動における高い目標設定とそれに対する進捗をお互いが確認する体制を整える
- 達成確認とタイムマネジメントに大きな効果を与えるデジタルツールの活用を学び実践する
- 懇親会では経営のしくじり話・成功談をお互い話し合える環境を作る
- 未来に繋ぐために委員会メンバーを幹事会にオブザーバー参加し視座をあげられる環境を作る

##### (事業運営)

- 例会は参加者への問題提起の場とするために報告者との本気・本音の関わりを行う
- 過去の例会に学びながらあり方を考え品質にこだわりを持つ
- グループ内外の例会を通して未来を目指す会員へ成長機会を提供する
- バズセッションで学びをさらに深められるようグループ長の育成をする

#### 【行動計画】

##### (委員会計画)

- 委員会は毎月 1 回開催する
- 委員会にて毎月の自社と自身の掲げた目標を皆で進捗確認を行う
- 進捗表を作成し確認と周りからのフィードバックを行う
- デジタルツール勉強会を毎月時間を作って皆で共有する
- 正副委員会は委員会と別日で毎月 1 回開催する
- 中間検証後、追加で 2 名の副委員長を選出する

##### (事業計画)

- 5 月、2 月例会の企画・運営
- オール青年部への積極的な参画
- 複数回のグループ長研修の企画・運営
- 第 2 グループとして、純増 25 名以上を迎え入れる

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 純増目標 (4 名)

## 交流委員会委員長所信（案）

委員会名 : 交流委員会  
担当副幹事長予定者 : 上河原 洋之  
委員長予定者 : 今井 一之介  
作成日 : 2025 年 1 月 19 日

### 「みんなで寄れば文殊の知恵」

#### 【所信】

交流を通して様々な業種間の情報交換や、各々の経営について追求し合い、一人では思いつかない発想によって、新しい実践に繋がる学びの場を提供します。

また、学びを実行し「経営の楽しさ」を体感することで更に自らが、熱意をもって主体的に学ぶ意欲を向上させ、挑戦をし続ける組織やメンバーを目指します。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 参加するメンバーが成長を感じる楽しい学びの場にします。
- 委員会に参加するメンバーの課題を整理し、解決に導き成長へと繋げます。
- 委員会メンバーが、本気本音でお互いの意見を出し合える環境を作ります。
- 新たな会員や他委員会から参加したくなる学びの場を提供します。
- 懇親会では、学んだ情報を共有し自身が実践できる内容まで掘り下げる活動にします。
- 成長を感じる楽しい組織にするには何が必要かを仲間と共に考えます。
- 委員会のメンバーを幹事会へオブザーブ参加し、次のステップに進むサポートをします。

##### （事業運営）

- 自身や自社が成長する出会いの場を提供します。
- 委員会全体でタスク管理を行い、情報共有を欠かさず進め事業の達成に取り組めます。
- 出会いによって新しい学びを発見し、それぞれに交流が闊達になる取り組みをします。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 参加する各々に 1 つ以上の役割を担っていただきます。
- 中間検証後、追加で 2 名の副委員長を選出します。

##### （事業計画）

- 7 月納涼会は、季節感を嗜み交流を深める企画、運営をします。
- 12 月クリスマス会は会員や家族、仲間に参加するのが楽しみになる企画、運営をします。
- 年 1 回ミニイベントを開催します。
- 第 2 グループとして、純増 25 名以上を迎え入れます。

#### 数値目標

委員会参加率(65%) 例会参加率 (65%) 純増目標 (4 名)

## 研修委員会委員長所信（案）

委員会名 : 研修委員会  
担当副幹事長予定者 : 越 希美江  
委員長予定者 : 宮脇 大樹  
作成日 : 2025 年 1 月 19 日

### 仲間との挑戦が未来の笑顔を創る『自分越え』

#### 【所信】

私たちは共に歩む姿勢を大切にします。どんな小さな一歩でも向上心があれば、明るい未来を見据える為の大きな力となり、必ずその人なりの次のステージに進めると信じています。昨日よりも今日、今日よりも明日と、仲間と共に成長し過去の自分を越え周囲に笑顔をもたらす環境を築きます。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会では、互いに自己開示をし、理解し合うことで共に歩む姿勢を構築します。メンバーの「やりたい」を全力で応援し合います。
- 委員会は、毎月メンバーの会社を訪問することでより、メンバー同士の相互理解を深めます。
- 「ミニ研修・バズセッション・経営体験報告」を中心に担当会員を中心に取り決めます。
- 委員会メンバーが積極的に幹事会にオブザーバー参加し、次世代の委員長を1名以上育成します。
- 懇親会では、委員会を含む今日一日の振り返りを行い、学びをシェアし合える場にします。

##### （事業運営）

- 経営者自身が学びの重要性を理解し、習慣づけ出来る研修事業を行います。
- 体験型の研修を通じて今日の自分よりも明日の自分が成長したと実感出来るようにします。
- 共通体験を通じて、第2グループ全体の関係性を深めます。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月1回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月1回開催します。
- 中間検証後に、追加で2名の副委員長を選出します。

##### （事業計画）

- 年2回以上の研修事業を企画・運営します。
- 上記研修事業以外に年間1回(6月)以上のMG研修を企画・運営します。
- 青年部MGPJへの参画をします。
- 第2グループとして、純増25名以上を迎え入れます。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率(60%) 純増目標(4名)

## 組織強化サポート委員会委員長所信（案）

委員会名 : 組織強化サポート委員会  
担当副幹事長予定者 : 越 希美江  
委員長予定者 : 村田 優貴  
作成日 : 2025 年 1 月 19 日

### 「一緒に行こうよ！」 ～仲間との繋がりを深め、成長の場を作り合う～

#### 【所信】

すべての根幹となる「コミュニケーション」に重点を置き、この先ずっと信頼し、相談し合える仲間づくりができる環境を作り合います。個々に寄り添ったサポート体制を作り、新たなメンバーも安心感を持って参加していくことで、自ら学びを掴み取りに行く姿勢に繋がります。仲間とたくさん関わることで、自分の世界を広げたいような多くの学びが得られる第 2 グループを作ります。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会では、メンバーのことを深く知り、経営課題を自分事に置き換えて一緒に問題解決のアイデアを出し合う場を設けます。
- 青年部活動をしている意義を自分の言葉で語れるようにし、それを新たなメンバーに繋いでいける環境を作ります。
- 積極的な幹事会のオブザーブ参加をすることで、組織運営や自発的に学びを掴み取りに行く姿勢に繋げ、未来の委員長の育成をします。
- 懇親会では、委員会や例会では話しきれない悩みや課題をさらに深掘りした経営の話をするすることで、より強い関わりを生み出す場を作ります。

##### （事業運営）

- 事業を通じて社内のコミュニケーションを強化し社員の自主性を高め、頼もしい社員と共により強固な経営環境を作る学びの場を提供します。
- 事業を通じて経営課題を解決できる繋がりを増やし、心軽やかに次の挑戦に進める環境を作り出します。
- 委員会メンバーには、自委員会だけではなくグループ全体の事業を通じて橋渡し役ができるようなコミュニケーションを取ってもらいます。
- 新規入会者や会歴の浅い方をフォローできる体制を作ります。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 中間検証後、追加で 2 名の副委員長を選出します。

##### （事業計画）

- 11 月に組織強化例会を企画・運営します。
- 年間 1 回以上のミニイベントを企画・運営します。
- 増強検証委員会と連携し、新規入会者のサポートができる情報を発信していきます。
- 第 2 グループとして、純増 25 名以上を迎え入れます。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 純増目標 (4 名)

## 指針検証委員長所信(案)

委員会名 : 指針検証委員会  
担当副幹事長予定者 : 田中 翔紘  
委員長予定者 : 富賀見 大維  
作成日 : 2025 年 1 月 19 日

### 誠実さと情熱を持って尽くす 仲間と心を一つに、一步を踏み出し続ける

#### 【所信】

私たち経営者は環境がいかに厳しくとも常に経営を維持発展させていく責任があります。持続的変革に必要なのは、小さくとも一步を踏み出し続ける勇氣です。独りでは踏み出せない一步であっても、仲間と一緒にであれば怖くない。互いに個性を認め、誠実さと情熱を持って尽くし「独りでは成し得ない未知のステージへ挑む」この高い志を実現するために仲間と共に楽しみながら成長できる環境を創ります。

#### 【運営方針】

##### (委員会運営)

- 委員会では、自社の理想の姿から逆算した目標と行動計画を共有し、実行力を高めます。
- 社業及び委員会の計画や行動を振り返り、指針の実践状況を共有・発信できる場所にします。
- 懇親会では本気・本音で関わり合う事で経営を学べる環境を作ります。
- メンバーが積極的に幹事会に参加し、視座を上げることで未来の委員長を育成します。

##### (事業運営)

- 例会事業では、経営指針の重要性を学び、自社での実践につなげるよう取り組みます。
- 中間検証では所信や方針の実践度を検証し、さらに「その先」へ挑む土台を作ります。
- 役割分担・タスク管理を明確にし、負担を分散するとともに、主体的な事業への関わりを深めます。

#### 【行動計画】

##### (委員会計画)

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 中間検証後、追加で 2 名の副委員長を選出します。

##### (事業計画)

- 総務委員会と連携し、幹事会全体の所信の月次検証の企画・運営をします。
- 8 月指針検証例会及び、10 月中間検証の企画・運営をします。
- 2 月にミニイベントの企画・運営をします。
- 第 2 グループとして今期純増 25 名を目指します。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 純増目標 (4 名)

## 2025 年度 青年部第 3 グループ 活動方針(案)

# パーパスを見つけよう！ ～壁を越え、わくわくする未来を創造するために～

先輩方と会員の皆様によって支えられここまで築き上げられた歴史に心から感謝し、その歩みを未来へと繋ぐべく、私たちはさらなる高みへと挑戦します。

私たちは、誰のためにそして何のために活動しているのでしょうか。その問いに対し常に自問自答する事で、自社の存在意義を見つける事が出来ると信じています。成功体験を積み重ねることで「勝ちグセ」を育み、自らの成長に結び付けていきましょう。私たちが活かせる環境を最大限に活用し学びを得ることで、次の一步を力強く踏み出していけるのです。

私たちが直面する壁は、成長のための試練であり、変革のための機会です。この壁を乗り越えるためには、ゴールを明確にし、その達成へ向けて逆算し行動することが必要です。では私たちにとって壁とはなんのでしょうか。壁とは経営課題や自身の悩みかもしれませんがそれぞれのフェーズにより壁の種類や高さは異なります。だからこそ自己開示をし仲間たちと共に壁に挑み、成功体験を積み重ねる道を選びます。それがどんなに小さな一歩であっても、自身や自社や仲間たちが掲げた目標を共に達成し続けることが成長と変革をもたらすと信じています。

今期の活動のテーマは以下の 3 つです

### **全力で楽しむ**

楽しくなければ青年部ではありません。青年経営者として楽しい事業・青年経営者として楽しい活動を大事にし活動の意味を見いだせるきっかけを作りましょう。

### **見られ方の意識**

青年経営者として、自分自身がどのように見られているかを意識し、透明性と信頼性のある行動を心掛けます。自己開示も大切にし、言動を通じて自分を示していくことにより、仲間との信頼関係を深めましょう。

### **承認しあう**

仲間が挑戦する姿を応援し、本気本音で戦略や悩みをぶつけ合いながら、お互いの努力と成果を認め合い、共に成長を喜べる環境を作りましょう。

最後に、わくわくする未来を創造し、何を成し遂げるかを常に考え、みなさんと共に歩んでまいります。未来に向けて、挑戦し続け、経営課題に真摯に向き合い、自社・自身を成長させる事が我々の目的であり存在意義です。実り多き第 3 グループ幹事会にします。1 年間という有限の時間を大切に、どうぞよろしく願いいたします。

2025 年度 第3グループ 幹事長 大井 啓史

## 組 織 方 針(案)

### 【組織運営に関する方針】

- 1つ上の視座で物事を判断できるよう日々心掛け、強い組織を目指します。
- やり方から学ぶでもいい、あり方が成長できる組織作りをします。
- メンバーが互いの経営に関する悩みや体験、情報を共有できる組織作りをします。
- 次世代の青年経営者が育つ環境作りをします。
- すべての会員、特に新入会員や会歴の浅い方に青年部活動を広く知ってもらい働きかけを行います。
- メンバーひとりひとりが目的を持てるような働きかけを行います。
- 年間スケジュールの理解を図ります。
- すべての事業に対して、各委員会の100%出欠回答を目指します。
- 時間の大切さを実感する場とする為に、提出期限の厳守、集合時間の厳守を徹底します。
- 早期に関係性を築き、全体で助け合える仲間になります。

### 【正副幹事長会運営に関する方針】

- 副幹事長が議長を務め、議事進行を学ぶ機会を作ります。
- 委員長が活躍できるよう裏方で支え組織運営を円滑にします。
- 何を学べるのかを自問自答し、与えられる学びよりも掴みに行く学びに拘ります。

### 【幹事会運営に関する方針】

- 組織運営を学ぶ為に、組織図に沿った指示・報告・連絡・相談を行います。
- 懇親会は関わり合いを深くする場、経営の話をする場とし、同友会をどう自社に活かしたかの近況報告を共有します。
- 会議運営を学んで頂く事、幹事会を知って頂く事を目的とし、会員のオブザーバー参加を強く推奨します。
- 議案上程時は担当事業責任者の出席を原則とします。

### 【委員会運営に関する方針】

- 正副委員長会、委員会を活性化させ、参加することが楽しみになる委員会を目指します。
- 経営体験報告を通し互いの経営課題を共有し、自社の成長の一助となる委員会を目指します。
- 正副委員長が活き活きする事により次世代の正副委員長になりたいメンバーを増やし、さらなる活性化を目指します。
- 委員会開催は会社訪問をし、経営体験報告を行う事を強く推奨します。

### 【拡大増強方針】

- 増強委員会がその中心を担い、拡大増強に関する企画、運営を行います。
- 役職、配属委員会に関係せずグループ会員全員で拡大増強に取り組みます。
- 第3グループで60名の新入会員を迎え入れます。

### 【各事業についての補足事項】

- オール兵庫は、青年部例会扱いとします。
- 近畿圏合同例会、青全交は、青年部例会扱いとしません。
- 青全交、オール兵庫、近畿圏合同例会のいずれも各委員会で積極的に参加を募ります。
- 8月に中間検証を開催し、半期の検証を行います。

### 【総務委員会に関する方針】

青年部運営の要として、会議・予算・スケジュール管理を担いスムーズな事業運営を牽引します。また、意見・情報の整理整頓を行うことで組織全体の最適化を行います。

- 会員拡大、増強に関する業務
- 幹事会の成立を担保し、幹事会、正副幹事長会の議事録を担当
- 合同予定者委員会、3月褒賞会の企画・運営

- 4 月青年部総会の企画・運営
- 総務 PJ への参画
- 年間スケジュールの管理
- 各委員会の活性化を数値化する事による徹底した数値管理
- 中間検証の企画・運営
- 運営幹事会の開催管理
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成

#### 【組織強化委員会に関する方針】

新入会員や会歴の浅い会員に対して青年部活動とその意義を伝え、この会で学んでいきたいという志高い仲間を増やし、その関係性を築く機会を提供します。

既存会員を巻き込み、新入会員へのフォローを行う仕組みや環境・風土を作ります。

- 会員拡大、増強に関する業務
- 11 月例会の企画・運営
- 8 月同期会例会の企画・運営
- 組織強化 PJ への参画
- オリエンテーション資料を作成し新入会員に対する細やかなフォローができる体制を整えます。
- 増強委員会と連携し、入会者へのスムーズなフォロー体制の構築
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成

#### 【増強委員会に関する方針】

目標達成のために各委員会と力を合わせ、グループ全体で勝ちグセをつけ良いスパイラルを起こすための旗振り役を担います。さらにゲストが参加しやすい環境を作り、課題解決の一步を踏み出すきっかけ作りを行います。

- 会員拡大、増強に関する業務
- 6 月ウェルカム例会の企画・運営
- 会員拡大 PJ への参画
- オール青年部 PJ への参画
- 組織強化委員会と連携し、入会者へのスムーズなフォロー体制の構築
- 全委員会で増強活動を行うための戦術や数字に向き合う組織風土作り
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成

#### 【例会委員会に関する方針】

会員の一番の学びの場である例会では、報告者の体験からどのようにして自身と自社を成長させたのか、そしてその背景にある経営者の覚悟と姿勢を学びます。

- 会員拡大、増強に関する業務
- 5 月例会の企画・運営
- 例会についての管理・検証・試み
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成

#### 【広報委員会に関する方針】

商品やサービスの良さを知ってもらうために、対内・対外に対し情報発信を牽引します。自社の成長の為に透明性と信頼性をもちあらゆるツールを駆使し発信し学びます。

- 会員拡大、増強に関する業務
- 8 月例会の企画・運営
- 例会、事業の認知に関する業務
- 広報 PJ への参画
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成

#### 【研修委員会に関する方針】

経営に必要な知識・技術・考え方を学べる研修を通じて、急激な時代の変化にも対応できる強くしなやか

な会社を作るための経営課題解決のヒントを学びます。

- 会員拡大、増強に関する業務
- 年1回の研修事業と年1回のMG研修の企画・運営
- 青年部MGPJへの参画
- 役員研修PJへの参画
- 委員会・例会の参加率60%以上達成

#### 【チャレンジ例会委員会に関する方針】

会員の一番の学びの場である例会では、報告者の体験からどのようにして自身と自社を成長させたのか、そしてその背景にある経営者の覚悟と姿勢を学びます。

青年部例会とはに真摯に向き合い、青年経営者としての立ち振る舞いや例会に臨む姿勢を作ります。

- 会員拡大、増強に関する業務
- 9月例会の企画・運営
- 例会についての管理・検証・試み
- 委員会・例会の参加率60%以上達成

#### 【交流委員会に関する方針】

日常の経営者としての顔だけではなく、その人個人としての顔を見ることが出来る交流事業を通じて、より会員同士の絆を深め、組織の結束を強固なものとしします。また自社における交流の大切さを知る機会としします。

- 会員拡大、増強に関する業務
- 7月納涼会の企画・運営
- 12月クリスマス会の企画・運営
- 委員会・例会の参加率60%以上達成

## 職務分掌(案)

### 【幹事長】

- 正副幹事長会の招集・出席
  - 幹事会の招集・出席
  - 県役員研修への参加
  - 支部例会への出席
  - 近畿圏サミットへの参加
  - 青年部連絡協議会への出席
  - 青年部第 3G 幹事会の代表としての活動
  - 幹事の任命
  - 所属各グループの委員会設置
  - 自社の成長・経営者としての成長
- ※ 委員会とは各グループ共通の基本委員会ならびに各グループ独自の任意委員会  
※ 基本委員会の構成は青年部連絡協議会の決議によるものとする

### 【総括幹事】

- 県の理事会方針および青年部諸規定の研究・見直し
- 他府県青年部の組織体及び規定の研究
- 幹事会メンバーでの中間検証の企画・検証
- OB 会員・県委員会との連絡
- 事務局との調整
- 会計に関する業務
- 青年部連絡協議会への出席
- 幹事会の司会担当
- DoyuHyogo の青年部ページの管理
- 委員長会開催管理
- 担当委員会、正副委員長会への適宜参加
- 自社の成長・経営者としての成長

### 【副幹事長及び総括幹事】

- 幹事長の補佐、万一の場合は副幹事長がその職務を代行する
- 担当委員会及び事業の報告
- 正副幹事長会への出席
- 正副幹事長会の議長担当
- 幹事会への出席
- 幹事会の議長担当
- 会員拡大増強の主体的な協力
- 担当委員会以外の委員会との連絡・調整
- 県役員研修への参加
- 支部例会への出席
- 近畿圏サミットへの年 1 回以上の参加
- 担当委員会、正副委員長会への適宜参加
- 自社の成長・経営者としての成長

### 【委員長】

- 月 1 回、委員会とは別日に正副委員長会の招集・出席
- 月 1 回、委員会の招集・出席
- 予定者委員会の招集・出席
- 幹事会への出席
- 支部例会への出席

- 青年部例会の企画・運営
- 近畿圏合同例会への参加・参画
- 委員長会の企画・参加
- 自社の成長・経営者としての成長

【運営幹事】

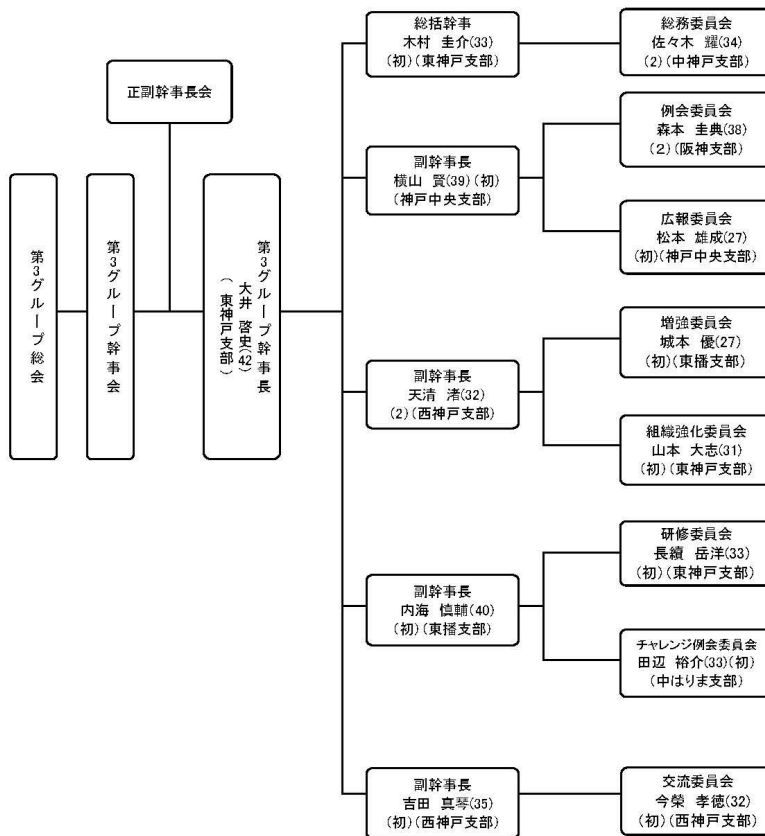
- 委員会及び懇親会を招集・設営に関する業務
- 委員会内の連絡網の管理
- 委員会・事業の出欠確認に関する業務
- 委員会・事業における会計に伴う諸事
- 例会等の参加率 60%以上の招集
- 運営幹事会の企画・参加
- 対内、対外への広報機能
- 自社の成長・経営者としての成長

【副委員長及び運営幹事】

- 委員長の補佐、万一の場合は副委員長がその職務を代行する
- 正副委員長会への出席
- 委員会への出席
- 例会、各事業への参加
- 担当委員会の各事業の企画・運営・実施
- 事業責任者を兼務する場合もある
- 県行事及び支部行事への参加
- 自社の成長・経営者としての成長

【会員】

- 委員会への出席
- 例会、各事業への参加
- 県行事及び支部行事への参加
- 自社の成長・経営者としての成長



## 総務委員会委員長所信（案）

委員会名 : 総務委員会  
担当総括幹事予定者 : 木村 圭介  
委員長予定者 : 佐々木 耀  
作成日 : 2025 年 1 月 17 日

### 他社を知り 自社を知る

#### 【所信】

青年経営者として様々な経営者と関わることで自社の存在価値を知り、成長への契機とします。さらに、他者の成長を喜び、更なる自身の成長へと繋げていきます。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会の運営に携わっている全員に感謝と敬意を持って関わります。
- 馴れ合いではなく本気で向き合うことを大切に、経営課題解決について建設的に話し合います。
- 1年の付き合いではなく、生涯の仲間となるほどに深く関わる環境を作ります。
- 1人1人が課題を明確にし、解決に向けたアクションを起こし、成長を感じる1年とします。
- 委員会活動に留まらず、各委員会や幹事会全体の活性を目指します。

##### （事業運営）

- 合同委員会では委員会の関係構築だけでなく委員会の垣根を超えてグループ全体で相互に知れる関係になることを目指します。
- 中間検証では、自委員会の前期の課題だけに向き合うだけでなく、他委員会の成功体験や戦略を知ることにより結果にコミットするアクションへと繋がります。
- 褒賞会に際し、1年間の成果をグループ全員で最大限讃え、自身のさらなるステップや次世代へ繋げるきっかけとします。
- 各委員会の活性化を数値化し、さらに改善のための関わりを積極的に促していきます。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月1回開催します。
- 委員会の出席率を毎回60%以上、出欠回答率100%達成します
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月1回開催します。
- 委員会報告については経営体験報告を通じて自社の課題についてビジョン、ビジネスモデルまで掘り下げて議論を深めます。
- 委員会はきっちり議論し、また懇親会では最大限交流に励み、楽しい場作りとします。

##### （事業計画）

- 合同予定者委員会、中間検証、3月褒賞会、同期会の企画、運営を行います。
- 4月青年部総会へ参画します。
- 各事業の出席率を、毎回60%以上、出欠回答率100%達成します。
- 委員長会や運営幹事会の取りまとめ、並びに各委員会の活性化の情報共有から次のアクションを話し合うことを徹底します。

#### 数値目標

委員会出席率(60%) 例会出席率 (60%) 拡大目標 (7名)

## 例会委員会委員長所信（案）

委員会名 : 例会委員会  
担当副幹事長予定者 : 横山 賢  
委員長予定者 : 森本 圭典  
作成日 : 2025 年 1 月 17 日

### 「学びを楽しみ、最高の未来をつくる」

#### 【所信】

青年部活動の中心である例会は、報告者、会員、ゲスト、全ての人が楽しくなければ意味がない。伝統を踏襲しながらも、時代に合わせた参加者のニーズをみだし、会員と青年部の素晴らしい未来に繋がる例会にする。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会メンバー全員が役割を担い、自社及び自身が成長できる契機とします。
- 委員会では、経営報告を中心に、研修や交流を図るイベントにより楽しく深い交流をうみます
- 委員会内においては、お互いに尊重しながら本音で言い合える環境をつくります。
- 委員会メンバーが主体性をもって行動できる委員会にします。

##### （事業運営）

- 委員会メンバーが役割を担って事業を作り上げることにより、他にはない経験と学びを得ます。
- 例会の伝統を重んじながらも、学びを楽しめる例会にします。
- 懇親会も含めて学びが得られる環境にします。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月1回開催します。
- 正副委員長会は、委員会とは別日で毎月1回開催します。
- 委員会の出席率を毎回 60%以上、出欠回答率 100%を達成します。
- 運営幹事及び副委員長を中心に、委員会メンバーに事業責任者や報告者などの役割を担ってもらいます。

##### （事業計画）

- 5 月例会を企画、運営します。
- 2 月例会を企画、運営します。
- 各事業の出席率を毎回 60%以上、出欠回答率 100%を達成します。
- 副委員長が主体となって、委員会メンバーを事業責任者として例会をつくりあげます。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (7名)

## 広報委員会委員長所信（案）

委員会名 : 広報委員会  
担当副幹事長予定者 : 横山 賢  
委員長予定者 : 松本 雄成  
作成日 : 2025 年 1 月 17 日

### 「わくわくする気持ちが人と組織を成長させる」

#### 【所信】

挑戦しよう！もっと頑張ろう！と思える原動力の 1 つが、わくわくする気持ちです。広報活動を通して、広報委員会から第 3 グループ、そして青年部全体へとわくわくを伝播させ、青年部の広報活動にイノベーションを起こし、活動に関わる全ての方に人として、組織としての成長のきっかけを与えます。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 活動を通して自社に役立つ広報(PR)手法を会得してもらい、自社の成長に繋げてもらいます。
- それぞれのメンバーの会社状況を理解し、高め合えるような環境を創ります。
- 様々な可能性を見出し、学びを最大限引き出せる委員会を開催します。
- 事業や委員会の機会のみならず、忌憚なく話し合える人間関係を創ります。

##### （事業運営）

- 参加前からわくわくし、参加して大いに学び、参加後は自社に役立つ事業を企画開催します。
- 時代の流れに合わせて対応できる知識や技術、考え方を学べる研修を企画開催します。
- 事業から得る学びに加えて、人と人との繋がりを作れるような事業を企画開催します。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員長会は、委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 委員会の出席率を毎回 60%以上、出欠回答率 100%を達成します。
- 発信だけではなく、伝えるための広報活動(事業告知や増強への取り組み)を行います。
- 委員会では経営体験報告を中心に、1 人 1 人得意領域に合わせて様々な研修要素を盛り込んだコンテンツも企画していきます。

##### （事業計画）

- 8 月に広報例会を企画、運営します。
- 1 月に研修事業を企画、運営します。
- 各事業の出席率を毎回 60%以上、出欠回答率 100%を達成します。
- 時流に合わせた新常識などを広報面から取り入れて創意工夫を行います。
- 自委員会の事業のみならず、1 年間を通して広報面から第 3 グループ全体をサポートします。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (7 名)

## 増強委員会委員長所信（案）

委員会名 : 増強委員会  
担当副幹事長予定者 : 天清 渚  
委員長予定者 : 城本 優  
作成日 : 2025 年 1 月 17 日

### 「生涯を共にする TEAM に！」

#### 【所信】

個の力・団結力を高め、委員会全員が自社の成長に繋がるきっかけを作ります。  
そして 1 年間深く関わり、今期活動が終了した後も生涯切磋琢磨できる仲間(Team)を作ります。  
個の成長が TEAM の成長に、TEAM の成長が個の成長に繋がるという意識を第 3 グループに広め全青年経営者へその姿を見せ TEAM の輪を広げるにより会員拡大へ繋がります。

#### 【運営方針】

##### (委員会運営)

- 委員会メンバーが個の力・団結力を高め、学べる環境を整え自社の発展に繋がる委員会を開催します。
- 委員会は委員会メンバーの会社訪問をして開催します。
- 事業の作り込みを通して、助け合い尊重しあえる関係性を創ります。

##### (事業運営)

- 正副委員長を中心に所信を浸透させ、所信に沿った事業運営を行います。
- 担当例会は新入会員増加を目的とし、報告者については幹事会内で広く候補をあげます。
- 家族・社員から応援されるような事業を作ります。

#### 【行動計画】

##### (委員会計画)

- 毎月 1 回委員会を開催します。
- 毎月 1 回ゲスト管理シートを元に委員会メンバー及び各委員長に情報共有します。
- 正副委員会は、委員会と別に毎月 1 回開催し所信の読み合わせをします。
- 委員会出席率を毎回 60%以上、出欠回答率 100%を達成します。

##### (事業計画)

- 6 月ウェルカム例会の企画・運営をします。
- 11 月スーパーウェルカム例会の企画・運営をします。
- 各事業の出席率を毎回 60%以上、出席回答率 100%を達成します。
- 組織強化委員会と連携し、入会者へのスムーズなフォロー体制を構築します。
- 家族や社員に向けて委員会参観日を作ります。

#### 数値目標

委員会出席率( 60%) 例会出席率 ( 60%) 拡大目標 ( 7 名)

## 組織強化委員会委員長所信（案）

委員会名 : 組織強化委員会  
担当副幹事長予定者 : 天清 渚  
委員長予定者 : 山本 大志  
作成日 : 2025年1月17日

### 「正解はない、挑戦しよう」

#### 【所信】

青年部には挑戦できる環境があり、一人では出来ないことでもかけがえのない仲間となら成し遂げ、成長することができる。そうすることで失敗を恐れず挑戦できる組織へと繋がります。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 心から楽しみ、素直さと誠実さを大切にし、共に成長できる委員会運営を目指します。
- 互いに学び、自己開示を通じて信頼を深め、知識を共有し合える文化を全員でつくります。
- 挑戦をテーマに委員会運営を行い、自らの成長と自社の発展につなげていきます。

##### （事業運営）

- 共に成長し合える仲間を迎え入れ、青年経営者としての視座を高める場を築きます。
- 青年部での経験を通じて、自社や自身の成長を見出せるような学びの場を提供します。
- 同じ志を持つ仲間と出会い、貴重な時間を共有しながら成長できる同期会を開催します。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月1回開催します。
- 正副委員会は、委員会とは別の日に毎月1回開催します。
- 経営体験報告を行い、共通の悩みや課題に共感を生み、共に成長できる絆を深めます。
- 委員会の出席率を毎回60%以上、出欠回答率100%を達成します。

##### （事業計画）

- 11月例会の企画・運営をします。
- 8月同期会の企画・運営をします。
- 各事業の出席率を毎回60%以上、出欠回答率100%を達成します。
- 同期会を通して、仲間と共に成長できる事業運営をします。
- 増強委員会と連携し、入会者へのスムーズなフォロー体制を構築します。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率(60%) 拡大目標(7名)

## 研修委員会委員長所信(案)

委員会名 : 研修委員会  
担当副幹事長予定者 : 内海 慎輔  
委員長予定者 : 長續 岳洋  
作成日 : 2025 年 1 月 17 日

### **【知る、学ぶ、実践する】**

#### **【所信】**

経営者は、時代の変化に適応し、強靱な体質に自社を成長させるため、学び続け、実践する必要があります。その学びを実践することで、自己と自社の成長に繋がります。

「自己の成長が自社・組織の成長にどう影響を与えるか」をグループ内で共有し、共に成長し高め合う研修事業を行います。また、委員会メンバーの学びの経験を共有し、経営者としての視座を高め、壁を乗り越えていきます。

#### **【運営計画】**

##### **(委員会方針)**

- 委員会メンバーが積極的に関わり、自己開示・協力をすることで問題解決を図ります。
- 委員会内でミニ研修を行い、委員会メンバーと交流を深め、経営者として成長します。
- 研修事業の作り込みを通して、委員会メンバーがワクワクする委員会・研修にします。
- 正副委員メンバーと共に委員会を盛り上げ、来期以降も続く関係性を作ります。

##### **(事業運営)**

- 青年経営者としての「あり方」を学ぶ研修を企画・運営します。
- 時代の変化に対応できる経営者としての本質的な学びが出来る研修を企画運営します。

#### **【行動計画】**

##### **(委員会計画)**

- 毎月 1 回委員会を開催します。
- 正副委員会は、委員会と別に月に 1 回開催します。
- 委員会の出席率を毎回 60 %以上、出欠回答率 100%達成できるように取り組みます。
- 研修事業参加者に対し、自社に落とし込んでいるかの調査を行い、結果を共有します。

##### **(事業計画)**

- 6 月に青年部 MG の企画運営を行います。
- 11 月に研修事業の企画運営を行います。
- 上記の他に年 1 回の研修事業の企画運営を行います。
- 青年部 MGPJ へ参画します。

#### **数値目標**

委員会参加率(60%) 例会参加率(60%) 拡大目標(7名)

## チャレンジ例会委員会委員長所信(案)

委員会名 : チャレンジ例会委員会  
担当副幹事長予定者 : 内海 慎輔  
委員長予定者 : 田辺 裕介  
作成日 : 2025 年 1 月 17 日

### 【チャレンジこそが自己成長へとつながる】

#### 【所信】

過去の例会から学び、同友会青年部に必要な例会の内容、提供の仕方を吟味し、委員会メンバーも参加者もわくわくできるような例会づくりを目指します。

新しい企画、意見を出し合い、例会がより良いものになるよう努力し、自己と自社の成長のためにチャレンジし続けます。

#### 【運営方針】

##### (委員会方針)

- 例会づくりを通して委員会メンバー同士が本気で関わりあえる関係性を創ります。
- 委員会メンバーが自社の成長を意識し、毎月のフィードバックを報告し合える関係性を目指します。
- 委員会メンバーの地域で委員会を開催し、全員が参加しやすい環境づくりを目指します。

##### (事業運営)

- 事業責任者の成長が事業の成功へつながると信じ、委員会メンバー全員でサポートし決して事業責任者を孤立させるようなことはさせません。
- 委員会メンバーが自己、自社の成長を意識し、幹事会全体を巻き込んだ例会づくりを目指します。
- 新しいことへのチャレンジを恐れず、委員会メンバー全員で考え取り組みます。

#### 【行動計画】

##### (委員会計画)

- 毎月 1 回委員会を開催します。
- 委員長と運営幹事は委員会前に打合せを行い、委員会の事前準備をしっかりと決める。
- 委員会の出席率を毎回 60%以上、出欠回答率 100%を達成します。
- 毎月の委員会で自社の期首目標に対しての月次報告を行う。

##### (事業計画)

- 単会行事である 9 月チャレンジ例会の企画運営をします。
- 例会委員会と協力し、2 月スーパー例会を開催します。
- 各事業の出席率を毎回 60%以上、出欠回答率 100%を達成します。
- 組織強化委員会と連携し、入会者へのスムーズなフォロー体制の構築をします。

#### 数値目標

委員会出席率(60%) 例会出席率 (60%) 拡大目標 (7名)

## 交流委員会委員長所信(案)

委員会名 : 交流委員会  
担当副幹事長予定者 : 吉田 真琴  
委員長予定者 : 今榮 孝徳  
作成日 : 2024 年 1 月 17 日

### 【一人一人と向き合い、変化し飛躍するきっかけを作る！】

#### 【所信】

人は人でしか磨けない、小さなきっかけが時には大きく人生を変える！  
挑戦する過程で得られる成果や努力をしっかりと認め合う事により、本気本音でぶつかり合い生涯にわたり成長し合える関係を構築します。

#### 【運営方針】

##### (委員会運営)

- 委員会メンバー同士が気軽に悩みや経営課題を相談しあえる委員会運営を目指します。
- 委員会メンバーが主体となって全力で楽しめる、自由な委員会活動を行います。
- 幹事会へのオブザーバー参加のきっかけを委員会メンバーに設ける事で組織運営や経営者としてのあり方を学べる環境を作ります。
- 委員メンバー全員の社業とも向き合い、業績の向上を共に考えれる委員会運営を目指します。

##### (事業運営)

- 納涼会では1人でも多くの会員が交流を楽しめ、グループ全体が仲間と思える事業を創ります。
- クリスマス会では家族を含めグループ全体の交流を行い、関係性を築ける事業を創ります。
- 交流ミニイベントにおいて、委員会を超え人の輪が広がリワクワクする事業を企画します。

#### 【行動計画】

##### (委員会計画)

- 委員会は毎月1回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月1回開催します。
- 委員会の出席率を毎回60%以上、出欠回答率100%達成できるように取り組みます。
- 各委員会において事業責任者を決めて、委員会メンバーが主体的に運営できるように取り組みます。
- 委員メンバーと毎月一人ずつ委員会とは別日で向き合います。

##### (事業計画)

- 7月納涼会の企画・運営をします。
- 12月クリスマス例会の企画・運営をします。
- 他委員会を巻き込んだ、交流ミニイベントを年1回以上行います。

#### 数値目標

委員会出席率(60%) 例会出席率(60%) 拡大目標(7名)

## 2025 年度 青年部第 4 グループ 活動方針(案)

# 絶対的自己変革を遂げよ！ ～友と磨き、共に挑む～

兵庫青年部はこれまで諸先輩方が積み上げてきた環境のおかげで部会も発展していき益々大きな組織となりました。大きくなった組織だからこそ我々は何のために日々青年部活動をしているのか今一度考える必要があるのではないのでしょうか？

自身のため、自社のためと色々理由があると思いますが、忘れてはならないのは周りの人の支えがあって私たちは活動が出来ています。だからこそ私たち経営者は常に周りの人に感謝の気持ちを忘れずに日々活動し成長し続ける必要があるのではないのでしょうか？私たちは経営者として青年部活動の目的を明確に持ち、自身と自社の成長に繋げる事を意識し続けなければならないのです。

私たち第 4 グループでは以下のテーマのもと活動していきます。

### 『仲間の為に行動をする』

共に活動する仲間は一生涯の財産です。少しでも関わる人が良くなるために、日々経営を語り合い、良いものは徹底的に真似る、ダメなものはダメと本気本音で言い合う。仲間と向き合い続ける事で自分自身も磨きあげられていきます。常に本気で仲間の事を考え行動していきます。

### 『志を持ち、挑戦し続ける』

自分達で良いと思った事や「これだ」と思った事を最後までやり遂げるには苦しい事や辛い事などの困難に多々出くわします。ただ何事にも折れない強い志と誰にも負けない高い志を持って最後まで諦めずに日々挑戦し続ける事で、自分自身の殻を破り、今よりも更に強く逞しい経営者になることを目指します。最後に、青年部活動を通してしっかり学び、しっかり活かし、しっかり儲ける、その経験を次の世代に繋げる風土作りを行い、将来あの時の青年部があったから今がある、あの人がいたから今の私たちがいる、そう言いあえる 1 年にしましょう。1 年間どうぞよろしくお願い致します。

2025 年度 第4グループ 幹事長 森 功佑

## 組織方針(案)

### 【総務に関する方針】

青年部運営の要として、会議、予算、スケジュールなどの管理を担い、スムーズな事業運営を牽引します。委員会間の連携強化に努め、青年部会員さんのグループへの愛着や貢献の意志をより深めることを目指します。

- 3月合同予定者委員会の企画、運営
- 4月総会の企画、運営
- 3月褒賞会の企画、運営
- 9月中間検証の企画、運営
- 幹事会、正副幹事長会の次第・議事録の作成、議案書などの資料のとりまとめ
- 年間スケジュールの管理
- 各委員会の活性化指数の管理
- Doyu Hyogo 青年部ページの記事・写真のとりまとめ
- 委員会・例会の参加率 60%以上を達成

### 【拡大に関する方針】

卒業という仕組みある組織において、永続的に活動をするためには新入会員の入会が必要です。ただ、入会して頂くだけでなく、青年部で何を学ぶのか、誰と学びどう自身と自社の成長に活かせるのかを伝え、ここで学びたいと思って入会して頂ける拡大活動を行います。また、目標達成に向けて各委員会と本気で関わり、グループ全体で目標達成する喜びを体感する事で自社でも目標を達成する大切さを学びます。

- 6月ウェルカム例会の企画、運営
- 11月ウェルカム例会の企画、運営
- 2月スーパーウェルカム例会の企画、運営
- 年1回以上の座談会の企画、運営
- 各例会の計画的ゲスト動員等、拡大合同会議にて戦略的な拡大年間スケジュールを立てる
- 拡大活動は、全委員会で協力して行い、副委員長以上には、数字に向き合う事が出来る仕組みを取り入れる
- 拡大活動は、3月度青年部連絡協議会までを期限とする
- 第4グループで純増25名を達成
- 委員会・例会の参加率 60%以上を達成

### 【例会に関する方針】

我々は常に何事にも志高く挑戦し続けていく必要があります。青年部で学び、様々な事に挑戦し、自己変革したことにより、自身や自社をどう成長させたのかを報告を通して学びにします。日々経営と向き合い、苦難を乗り越え成長した経営者の本質を学びます。

- 5月、9月の報告例会の企画、運営
- 1月オール青年部への協力
- 年1回のG長研修の企画、運営
- 委員会・例会の参加率 60%以上を達成

### 【経営指針に関する方針】

経営指針は同友会活動の肝であり、会社の羅針盤であり、必要不可欠なものです。作成する必要性を感じて頂くと共に、実践・継続する事にもフォーカスをして、経営指針と共に、会社が成長することを感じて頂ける活動を行います。

- 7月経営指針例会の企画、運営
- 11月企業変革支援プログラムに関連する事業の企画、運営
- 経営指針成文化セミナー未受講の会員さんの把握と、受講の推進活動を行い、年間5名受講に繋げる。
- 委員会・例会の参加率 60%以上を達成

#### 【研修に関する方針】

経営に必要な考え方・知識・技術などを習得する研修を通じて、青年部会員さんが自社の経営課題を解決する手掛かりを掴み、自身や自社を成長させ、強い会社を作る力を養うと同時に個人としてのビジョンを明確に持つ機会を設け、両輪で経営を行う大切さを知ってもらう活動を行います。

- 年1回、自社の付加価値を見出せる研修の企画、運営
  - 年1回、自身の将来と向き合える研修の企画、運営
  - 年1回、MG研修の企画、運営
  - 9月中間検証の企画、運営への協力
  - 委員会・例会の参加率 60%以上を達成
- ※上記の研修は、6月、8月、1月にそれぞれ1回ずつ行う事。

#### 【サポート広報に関する方針】

会歴の浅い会員さんや新入会員さんのお悩みや経営課題に真摯に寄り添い、青年部で一緒にもっと学びたいと思って頂き、会歴の浅い会員さんや新入会員さんの参加率を上げるサポート活動を行います。また、広報を通じて青年部活動や新会員さんを知って頂く活動を行います。

- 8月サポート例会の企画、運営
- 2月に同期会など新会員さんのための事業の企画、運営
- 広報を通じて会歴の浅い会員さんや新入会員さんの紹介、青年部活動の意義をしっかりと発信できる仕組みづくりを行う
- SNSを活用し、会内外に発信する広報活動を行う
- 配属先の委員長と連携して、新会員さんや会歴の浅い会員さんのお悩みや経営課題などの情報を見える化する。
- 委員会・例会の参加率 60%以上を達成

#### 【交流に関する方針】

仲間のために、家族のために、本気本音で言い合える環境作りを行います。お互いの事を知り合う事により深く語り合える仲間やライバル、パートナーになっていきます。自社や家庭においても同じであり、交流の大切さを感じて頂く活動を行います。

- 7月納涼会、12月クリスマス会(家族向け)の企画、運営
- 交流ミニイベントの企画、運営(交流委員会に一任)
- 委員会・例会の参加率 60%以上を達成

#### 【渉外に関する方針】

我々経営者は井の中の蛙にならない為にも常に外部からの刺激が必要です。志高い他府県の経営者から学ぶ事により、自県には気づくことがない経営のヒントや考え方の違いを学ぶことにより、自身や自社を見つめ直し、更なる成長に繋げる活動を行います。

- 月1回の近畿圏サミットへの参加
- 年2回の自県開催の近畿圏サミットの企画、運営への協力
- 10月他府県青年部との交流イベントの企画、運営
- 12月渉外例会の企画、運営
- 青全交、近畿圏合同例会への参加の協力及びグループ全体の動員の促進
- 委員会・例会の参加率 60%以上を達成

#### 【幹事会運営に関する方針】

- 幹事会メンバー全員が、第4グループ全会員の会社を背負っているという意識と覚悟を持って行動します。
- 組織運営を学ぶために、組織図に従った報告・連絡・相談を行います。
- 時間の大切さを実感する場とするために、提出期限の厳守、集合時間の厳守を徹底します。
- 懇親会は関わり合いを深くする場、経営の話をする場とし、全員参加を目指します。
- 事業開催2か月前に審議を行い、告知の充実を図ります。
- 幹事会を知っていただき、会議運営を学ぶことを目的に、会員さんのオブザーブ参加を推奨します。

**【各事業に関する方針】**

- すべての事業について、各委員会の出欠回答 100%を目指します。
- オール兵庫は、青年部例会扱いとします。
- 近畿圏合同例会は、青年部例会扱いとしません。
- 青年経営者全国交流会(青全交)は、青年部例会扱いとしません。
- オール兵庫、近畿圏合同例会、青全交、については、各委員会で積極的に参加者を募ります。

**【組織運営に関する方針】**

- 兵庫青年部を 1 つの組織で見た時、グループを超えた交流や学び合いが兵庫青年部の質を高めます。
- 委員長を中心に、会員と力を合わせ、大きな成果を生む組織運営を体感します。
- 他委員会の事業成功に貢献し合う関係づくりを行います。
- 9月に中間検証を開催し、半期の振り返りと検証を行います。
- 3月に褒賞会を開催し、青年部活動に貢献した委員会や会員の名誉を称えます。

**【委員会に関する方針】**

- 青年部活動の核となるのは委員会活動です。委員長所信や事業目的の達成にこだわった委員会運営と事業運営を通じて、組織運営を体感します。
- 担当事業や正副委員会、委員会を通じて、委員長所信の実現を目指します。
- 委員会が活性化するかどうかは委員長次第です。正副委員長が中心となり、委員会メンバーを巻き込み、委員会の活性化に努めます。
- 委員会では、委員会メンバーの会社訪問や経営の話をする事で、会員の成長と会社の発展に繋がるきっかけ作りを行います。
- 委員会は、委員会メンバーの一人ひとりにスポットライトを当て、お互いの悩みや経営課題などを把握するように努めます。
- 一生涯の仲間をつくります。

## 職務分掌(案)

### 【幹事長】

- 正副幹事長会、幹事会の招集・出席
- 青年部事業、グループ内事業への出席
- 青年部連絡協議会への出席
- 幹事会代表としての活動
- 他グループ間との連絡・連携
- 近畿圏サミットへの参加、担当月の出席
- 幹事の任命と所属グループの委員会設置
- 幹事会メンバーと会員さんへの寄り添い
- 支部例会、オール兵庫への出席
- 県役員研修への出席

### 【総括幹事】

- 県の理事会方針および青年部諸規定の研究・見直し
- 他府県青年部の組織体および規定の研究
- 青年部予算の管理など会計に関する業務
- 青年部連絡協議会への出席と次第・議事録・青年部活動報告書の作成
- 他グループとの連絡・連携
- 事務局との調整
- 幹事会メンバーでの中間検証の企画・検証
- 新会員の配属委員会の検討

### 【副幹事長および総括幹事】

- 幹事長の補佐
- 正副幹事長会、幹事会への出席
- 青年部事業、グループ内事業への出席
- 幹事会の議長担当
- 担当委員会および事業の報告
- 担当委員長および委員会のサポート、寄り添い
- 担当以外の委員会との連携・調整
- 近畿圏サミットへの年数回の参加、担当月の出席
- 他府県青年部との交流・情報交換
- 支部例会、オール兵庫への出席
- 県役員研修への出席
- 会員増強への協力

### 【全委員長に共通する職務】

- 月 1 回、正副委員長会の招集・出席
- 月 1 回、委員会の招集・出席
- 予定者委員会の招集・出席(2025 年 3 月)
- 幹事会への出席、幹事会後の懇親会の設営
- 青年部事業、グループ内事業への出席・動員
- 支部例会、オール兵庫への出席
- 近畿圏サミットへの年 1 回以上の参加
- 委員会内の会員さんへの寄り添い
- 担当以外の委員会との連携・協力
- 会員増強への協力

#### 【運営幹事】

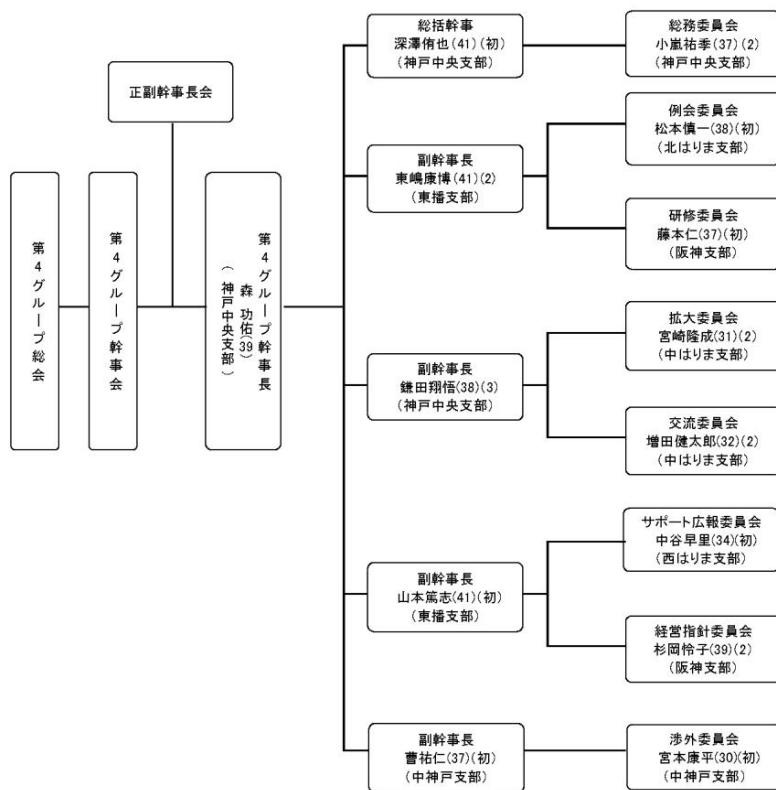
- 委員長の補佐
- 正副委員会の設営・招集・出席
- 委員会および懇親会の設営・招集・出席
- 青年部事業、グループ内事業への出席・動員サポート
- 支部例会、オール兵庫への出席
- 委員会名簿作成・管理
- 委員会内の連絡網の管理
- 青年部事業や委員会への出欠確認
- 青年部事業や委員会における会計に伴う諸事
- 委員会の活性化サポート
- 委員会内の会員への寄り添い
- 委員会報告シートの提出

#### 【副委員長】

- 委員長を補佐し、万が一の場合には、副委員長がその職務を代行する
- 正副委員会への出席
- 委員会および懇親会への出席
- 青年部事業、グループ内事業への出席
- 支部例会、オール兵庫への出席
- 担当委員会の各事業の計画・運営・実施
- 担当委員会事業の事業責任者を兼務する場合がある
- 青年部事業や委員会への出欠確認サポート
- 委員会の活性化サポート
- 委員会内の会員への寄り添い

#### 【会員】

- 担当委員会への出席
- 青年部事業、グループ内事業への出席
- 支部例会、オール兵庫への出席
- 青年部事業や委員会への出欠回答
- 担当委員会の各事業の運営サポート



## 総務委員会委員長所信（案）

委員会名 : 総務委員会  
担当総括幹事予定者 : 深澤 侑也  
委員長予定者 : 小嵐 祐季  
作成日 : 2025年1月13日

### 「“おもしろ総務”は組織の要！！」

#### 【所信】

総務委員会は第4グループの「要」として、組織の基盤を支え、委員長と連携し、活動に面白さと活力を加えることを目指します。自己変革や新しい気づき、出会いがもたらす「おもしろさ」を通じ、「楽しいところに人が集まる」ような環境を作ります。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会メンバーが主体的に動き、参加ではなく参画することでおもしろいと思える環境を整えます。
- 委員会では、委員会メンバーにスポットを当てた、会社訪問や経営体験報告を行います。
- 楽しくおもしろそうな雰囲気作りを通じて、委員会外からも参加したいと思われる活動を行います。
- 各委員会間の情報共有や連携を強化し、効率的な運営を図ります。
- 委員会予定日を各委員会で共有できるように可視化します。
- 年間スケジュールを管理し、各委員会の活性化指数を管理し、見える化します。
- 毎月、委員長・運営幹事会を企画します。

##### （事業運営）

- 青年部総会では各グループPJメンバーと連携し、スムーズな事業運営を行います。
- 3月合同予定者委員会は4月からのスタート準備を行い、また参加したいと思える環境を作ります。
- 褒賞会では共に学んだ仲間とその年1番輝いた委員会、会員を盛大に称え、次年度の青年部活動の発展に繋がります。
- Doyu Hyogo 青年部ページの運営を通じて、活動の魅力を発信します。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月1回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月1回開催します。
- 委員会・例会の参加率60%以上、および例会・事業の回答率100%を達成します。
- 総務委員会で純増3名以上を達成し、グループ全体で純増25名を達成します。
- 委員会メンバーの目標共有会を実施し、メンバーで目標に向かう楽しさを共有します。
- 毎月の幹事会では総務委員会から1名以上オブザーバー参加します。
- 委員間でのコミュニケーション活性化を目的とした懇親会を開催します。
- 委員会ごとに事業責任者を決め、委員会の企画からメンバー全体で行います。
- 目的に応じたオブザーバーを招待し、委員会を盛り上げます。

##### （事業計画）

- 総務PJに参画し、4月に青年部総会を開催します。
- 3月に合同予定者委員会の企画、運営をします。
- 9月に中間検証を運営します。
- 褒賞会を企画・運営します。
- 事業アンケートの評価について、5段階中平均4以上を目指します。
- 幹事会、正副幹事長会の次第・議事録の作成、議案書などの資料のとりまとめをします。
- 毎月委員長、運営幹事会を企画します。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (純増3名)

## 例会委員会委員長所信（案）

委員会名 : 例会委員会  
担当副幹事長予定者 : 東嶋 康博  
委員長予定者 : 松本 慎一  
作成日 : 2025 年 1 月 13 日

### 「飛躍発展」

#### 【所信】

私たちは常に前向きな姿勢で新たな物事へ挑戦し続け、共に新たな自分へアップデートしてゆき、人生も自社も最高のものにできる環境を構築します。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会メンバー全員が主体性を持って行動できるよう役割分担した運営を行います。
- コミュニケーションを取る機会を積極的に設け、関係の質が高い委員会を運営します。
- 懇親会の機会を積極的に設け、相互理解を深め、明るく前向きな姿勢で向き合える関係性を構築します。

##### （事業運営）

- 青年部活動を通じて、自身と自社を成長させ続けている実績のある報告者を例会報告者として選定します。
- バズでの学びを最大化するために年 1 回以上のグループ長研修を企画・運営します。
- 報告者、座長、室長、参加者、例会に関わる全ての人が学びになる例会を開催します。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催し、併せて懇親会も積極的に開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 報告委員会を実施し、委員会メンバーの相互理解を深めます。
- 委員会、例会の参加率 60%以上、および例会・事業の回答率 100%を達成します。
- 例会委員会で純増 4 名以上を達成し、グループ全体で純増 25 名を達成します。

##### （事業計画）

- 5 月、9 月の報告例会の企画、運営をします。
- 年 1 回以上のグループ長研修を行います。
- 1 月オール青年部への協力を行います。
- 2 月スーパーウェルカム例会への協力を行います。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (純増 4 名)

## 研修委員会委員長所信（案）

委員会名 : 研修委員会  
担当副幹事長予定者 : 東嶋 康博  
委員長予定者 : 藤本 仁  
作成日 : 2025 年 1 月 13 日

### 「共に挑み、共に輝く」

#### 【所信】

第 4 グループ全員が 1 年後自社のステージが上がる為の挑戦をし続け、その為に一人ひとりが相手を知り、自社の課題を解決し目標を達成します。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会、懇親会は経営の話を通じて本気本音で語り合います。
- 幹事長所信、委員長所信をはじめ、委員会メンバーがどういった思いで研修委員会を過ごすのかと、自社の課題を1つにまとめた委員会指針書を作成し一人ひとりが相手を知り本気本音で語り合い課題解決します。
- 経営の課題を共有することで会社の発展を促していきます。

##### （事業運営）

- 自社の課題に真剣に向き合う研修を行います。
- 参加者一人ひとりが1年後に成長を実感できるような目標達成型研修を行います。
- 第 4 グループが期待し、必要と感じる研修を研修委員会全員で常に情報収集をします。
- 事業は議案書から当日まで全員が必ず1つは役割を持って参画します。
- 他委員会の事業に関しても、研修委員会が積極的に参画していきます。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月1回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日に毎月1回開催します。
- 懇親会は、委員会指針書を元に自社の課題を中心に話し合う場とします。
- 委員会メンバーから追加で2名以上の副委員長を選出します。
- 委員会メンバーから来期委員長候補を1名以上育成します。
- 委員会メンバーの目標を全員達成します。
- 委員会・例会の参加率 60%以上、および例会・事業の回答率 100%を達成します。
- 研修委員会で純増3名以上を達成し、グループ全体で純増25名を達成します。

##### （事業計画）

- 年3回以上の研修事業を企画、運営し、第4グループ全体の1年の目標達成をサポートします。
- 他委員会の事業の情報収集を積極的に行い、サポートしていきます。
- 目標を必ず達成できるようにアンケート等で第4グループの会員さんの事業の目標を把握します。
- 目標達成ができるような研修を実施し、自社でも活用できる研修を行います。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (純増3名)

## 拡大委員会委員長所信（案）

委員会名 : 拡大委員会  
担当副幹事長予定者 : 鎌田 翔悟  
委員長予定者 : 宮崎 隆成  
作成日 : 2025 年 1 月 13 日

### 「未来を拓く、友を迎える」

#### 【所信】

拡大活動は数字を追い求めるだけでなく、活動の中身を大切にし、同じ目標に向かい走る中で仲を深め、一生涯の友を増やすことを目的とします。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 新しい仲間を招待しその人にあった例会や委員会を体験することで、入会促進を図ります。
- 志を高く持ち挑戦をしていく中で仲間との絆を育み同じ目標に向かい走ります。

##### （事業運営）

- 委員会メンバー全員で作り込み、役割分担をして開催します。
- 事務局とも密に連携し開催に向け抜けを無くし事業の作り込みに専念する時間を増やします。
- 他委員会にも情報を展開し皆で成功に向けて走り、チーム力で成功させます。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 幹事長所信、委員長所信の読み合わせを行います。
- 拡大委員会では目的意識を合わせるために委員会で増強の時間をします。
- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 委員会・例会の参加率 60 %以上、及び例会・事業の回答率 100%を達成します。
- 各委員長と連携を図り戦略的に数値目標を達成します。
- 目標達成へのマイルストーンを作成し、幹事会へ共有し純増数と向き合います。
- 拡大委員会で純増 4 名以上を達成し、グループ全体で純増 25 名を達成します。

##### （事業計画）

- 6 月ウェルカム例会では新入会員増加を目的に開催します。
- 11 月ウェルカム例会では幹事会以外から報告者を選定し、新入会員増加を目的に開催します。
- 2 月スーパーウェルカム例会では他委員会と共同で実施し、新入会員増加を目的に開催します。
- 増強会議を毎月委員長会で行います。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (純増 4 名)

## 交流委員会委員長所信（案）

委員会名 : 交流委員会  
担当副幹事長予定者 : 鎌田 翔悟  
委員長予定者 : 増田 健太郎  
作成日 : 2025 年 1 月 13 日

### 「交流・幸流・硬流」

#### 【所信】

交流…仲間と協力、切磋琢磨し交わる事の素晴らしさを流します。  
幸流…青年部活動を共にする全ての人達、家族に幸福を流します。  
硬流…青年部は一つ！を体現する為結束力の硬さを流し続けます。  
この 3 つの【こうりゅう】を通して仲間となり友となり共に交り！磨き！挑み！全員で自己変革を遂げます。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 人との関わりと学びのバランスを担保しつつ常に楽しさと学びを追求する。
- メンバーの課題にフォーカスし課題解決へコミットする委員会内容を企画する。
- 既存のメンバーを大切に、新たな仲間を探し続けます。
- 過去の事例などにとらわれず、新たなアイデアを取り入れます。

##### （事業運営）

- 今期の交流事業では学びを取り入れず、全力で関わり楽しむことに注力します。
- 7月の納涼会では身は涼しく心は熱くなれるような事業を行います。
- 12月のクリスマス会ではメンバーの大切にしたい人達も巻き込み、全員で楽しめ、感謝を伝えれる事業を行います。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月 1 回開催し、新しい事を取り入れる事にフォーカスした会議を行います。
- 委員会・例会の参加率 60%以上、および例会・事業の回答率 100%を達成します。
- 交流委員会で純増 3 名以上を達成し、グループ全体で純増 25 名を達成します。
- 中間検証後追加で 1 名の志の高い副委員長を選出します。

##### （事業計画）

- 年 2 回の仲間づくりを目的とした交流ミニイベントを企画します。
- 担当事業 2 回の企画・運営を徹底します。
- 各事業の参加率が 60%以上を必ず達成できるように取り組みます。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (純増 3 名)

## サポート広報委員会委員長所信（案）

委員会名 : サポート広報委員会  
担当副幹事長予定者 : 山本 篤志  
委員長予定者 : 中谷 早里  
作成日 : 2025 年 1 月 17 日

### 「支え合い、広め合い、成長し合える仲間」

#### 【所信】

私たちは広報を通じて青年部活動への参加を後押しします。他委員会と連携し、現会員の組織強化を図るとともに、青年部活動を積極的に発信して新会員さんの参加意欲を高め、強固な組織づくりを目指します。

第 4 グループ全体で信頼と助け合いの関係を築き、自分自身と会社の成長を目指します。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会メンバー同士が信頼関係を築ける場を提供し、経営課題を共有しながら共に学び合える委員会運営を目指します。
- 青年部の意義や魅力を SNS を活用し会内外に発信、活動内容や新会員さんを知ってもらう活動を行います。
- 新会員さんの経営課題やニーズを的確に把握し、課題解決に繋がる取り組みをします。

##### （事業運営）

- 新会員さんの経営課題に寄り添った例会内容を考え、組織強化に繋がります。
- 新会員さんも参加しやすい内容企画をし、参加率強化に繋がります。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 新会員さんの状況や課題を把握するため、他委員会と情報共有の場を定期的に設けます。
- Facebook などの SNS を活用し青年部の活動を積極的に発信します。
- 委員会・例会の参加率 60%以上、および例会・事業の回答率 100%を達成します。
- サポート広報委員会で純増 4 名以上を達成し、グループ全体で純増 25 名を達成します。

##### （事業計画）

- 8 月サポート例会では会歴の浅い会員さんの参加を強化することを目的に開催します。
- 2 月同期会では会歴の浅い会員さんの参加を強化することを目的に開催します。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (純増 4 名)

## 経営指針委員会委員長所信（案）

委員会名 : 経営指針委員会  
担当副幹事長予定者 : 山本 篤志  
委員長予定者 : 杉岡 怜子  
作成日 : 2025 年 1 月 13 日

### 小さな「いっぽ」の先にある自己変革

#### 【所信】

小さいいっぽの積み重ねがとても尊いことだと考えます。会社を良くしていくことに全力で取り組み、「小さいいっぽを積み重ねて進む未来を創造し」、本気本音で語り合える仲間を作り、グループ全員が指針に共感し前向きに取り組める仕組みづくりを目指します。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 会員同士が常に前向きな姿勢で関わり合える場をつくります。
- 仲間とともに学び、自社に取り入れてやり尽くします。
- 自己開示から自社に向き合い、仲間とともに成長するための委員会を行います。
- 指針はつくって終わりではなく、実践し続けることを目指します。
- 自身の意識や行動、考え方を常に振り返り、新たな気づきを得るための機会をつくります。
- 指針を作ったことがない会員が指針に向き合うために、委員会全体で問題提起しあえる関係をつくります。
- 必ず前に参加した例会や事業の振り返りを委員会でも共有し、学びを自社に落とし込み、即実践できる環境を目指します。

##### （事業運営）

- 経営指針作成者は指針を公開し、未作成者が経営指針に触れ興味を持つ機会を作ります。
- 経営指針を通して、自社や自身と向き合ういっぽとなる事業を行います。
- 事業や例会の作り込みは委員会全員で行います。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 委員会・例会の参加率 60% 以上、および例会・事業の回答率 100% を達成します。
- 経営指針委員会で純増 3 名以上を達成し、グループ全体で純増 25 名を達成します。
- 指針を踏まえた議題と月次目標の発表を毎月委員会で行います。

##### （事業計画）

- 7 月経営指針例会の企画、運営
- 11 月企業変革支援プログラムに関連する事業の企画、運営
- 経営指針成文化セミナー未受講の会員さんの把握と、受講の推進活動を行い、年間 5 名受講に繋げる。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (純増 3 名)

## 渉外委員会委員長所信（案）

委員会名 : 渉外委員会  
担当副幹事長予定者 : 曹 祐仁  
委員長予定者 : 宮本 康平  
作成日 : 2025 年 1 月 13 日

### 「挑戦する志に垣根なし！仲間と共に道をつなぐ！」

#### 【所信】

挑戦し続けること」を大切に、垣根を越えたネットワークを築き、互いに志を高め合う場を提供します。県外の志高い経営者に関り、新たな価値観や異なる経営視点に触れることで更なる成長に繋がります！

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会は、メンバーが主体となり、共に学び合い、成長し続ける場を目指して運営します。
- 委員メンバーが自ら企画・実行に携わり、互いに役割を担いながら組織運営を学びます。
- 自社の経営をテーマにした経営体験報告や企業訪問を自委員会だけでなく、他委員会、支部との連携を行います。
- 懇親会は単なる親睦の場ではなく、成功や失敗の体験を開示し合い、本質的な悩みや課題を共有する時間とします。
- 委員会活動を「楽しみながら真剣に学ぶ」場とし、メンバー全員がワクワクする企画を展開します。楽しさの中に学びと挑戦を組み込み、成長を実感できる運営を心がけます。

##### （事業運営）

- 他委員会と連携し、県外事業への積極的な参加を促進します。
- 渉外例会では、県外青年部の報告者を招き、経営体験報告をしていただきます。
- メンバー全員が役割を担い、一丸となって事業を成功させる体制を構築します。
- 事前準備を徹底し、スムーズかつ効果的な事業運営を行います。
- 各メンバーが持つ個々の強みを活かし、事業運営に積極的に取り組みます。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 委員会は自委員会だけでなく、他委員会、支部から経営体験報告をしていただきます。
- 委員会・例会の参加率 60%以上、および例会・事業の回答率 100%を達成します。
- 本会事業への参画を促します。
- 近畿圏サミットへの参加、参画を促します。
- 渉外委員会で純増 3 名以上を達成し、グループ全体で純増 25 名を達成します。

##### （事業計画）

- 2 月に外部の志の高い経営者を招いた例会を企画・運営をします。
- 10 月に他府県青年部との交流イベントの企画・運営をします。
- 青全交・近畿圏合同例会への参加の協力及び、グループ全体の動員の促進をします。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (純増 3 名)

## 2025 年度 青年部第 5 グループ 活動方針(案)

# 「微差の経営！」 ～先を見据え今、チャレンジしよう～

私たちの時代。  
先行き不透明で、変化の激しい外部環境と、何度聞いたでしょうか。  
もはやそれが当たり前になり、様々な対応を迫られる中で、私たちが青年部活動に多くの時間を割く意義はなんでしょうか。

私たち経営者は、いかに外部環境が厳しくとも会社を維持、発展させる必要があります。志高く未来を思い描き、足元を確かめて、一步を踏み出す。その一步が今は小さな一步でも、歩み続けることで大きな差となり、確かな成果を生むのです。微差は大差を生む。計画と実行力で、自社と自身のあるべき姿に近づいていきましょう。

ときには進むべき方向を見失ったり、周りのせいにして甘えてしまったりすることもあるかもしれません。まだまだ未熟な青年経営者だからこそ、自己成長の伸びしろがたくさんあります。同世代の仲間でありライバルがいるこの有難い環境の中で学び合い、磨き合い、本気本音で関わり合う。青年部活動を通して苦楽を共に乗り越えることで、経営者として視座を高めるだけでなく、人間力を向上させることが出来るのです。

今期の活動テーマは、以下の 2 つです。

### 1.一所懸命

一つの所に命を懸ける。当たり前のことを当たり前にやり続ける、凡事徹底が実は難しいものです。青年部で時に楽しく、時に厳しく活動する中で、「やる！」と決めたことに対してコミットし、やり切ることで自社の経営を前進させていきましょう。

### 2.人と正面から関わる

青年部には色んな学びのコンテンツがありますが、それをより活かすのが仲間の存在です。相手のことを本気で想い、本音で語り合うことで、より一層信頼関係を築くことが出来ます。腹を割って本質の話をし合い、生涯の仲間づくりをしていきましょう。

1 年間という限られた時間ではありますが、青年部の仲間と共に先を見据え、自社を少しでも良くするために実践し続けることで、未来への大きな糧となる 1 年にします。

1 年間、どうぞよろしくお願いいたします。

2025 年度 第5グループ 幹事長 大久保 泰介

## 組 織 方 針(案)

【組織運営方針】 共に学び合う仲間への感謝を忘れず、人と正面から関わり切磋琢磨して未来をつくる！

- 会員同士が本気本音で向き合い、未来への一步を認め合う中で、経営者としての人間力を高めます。
- 次世代の青年経営者が育つ環境をグループ内で構築します。

【幹事会運営方針】 自主・民主・連帯の精神をもとに、みんなで決めたことをみんなでやり切る！

- グループの役員としての自覚を持ち、真摯な姿勢で幹事会運営に携わります。
- 時間を大切にする為、報告・提出期限をはじめ、定刻を厳守します。
- 懇親会は主に経営について語り合う場とし、相手のことを本気で想い本音で話します。
- 幹事会のあり方とやり方を知ってもらうことを目的とし、会員にオブザーバー参加を推進します。
- 幹事会で承認された事象に対して、全員が自分事として行動します。

【委員会運営方針】 人と正面から関わり、みんなにスポットライトを当てる！

- 組織で動くことを体現し、委員長所信で掲げた目標を委員会全員で達成します。
- 委員会メンバーの事を深く知れる、学び合える委員会を開催します。
- 会員一人一人が自己開示できるような委員会にします。
- 毎月、正副委員長会と委員会を必ず別日で開催します。

【各事業に関する補足事項】

- オール兵庫、オール青年部は青年部例会扱いとします。
- 近畿圏合同例会、青全交は青年部例会扱いとしません。
- 近畿圏合同例会、オール兵庫、青全交は全ての委員会で積極的に参加を募ります。

【増強に関する方針】 学びの源泉は人。学び合う環境を担保するために仲間を増やし、成功体験を積み重ねよう！

- 25名以上の純増を年間目標とし、必ず達成します。
- 増強を拡大と組織活性の二部門と捉え、拡大として入会 35名以上、組織活性として休退会 10名以下を目指します。
- 拡大委員会が会員拡大の旗振り・管理をし、全委員会、全会員が行います。
- 組織活性委員会が主となり、参加率等の必要な項目を数値化し、休退会予測及び発生の防止を目指します。

【総務渉外委員会に関する方針】

組織運営における扇の要として、会議、予算、スケジュールの管理を担い、円滑な事業運営をサポートします。グループ内を見通し組織の全体最適を図りつつ、組織の中を知るからこそ気づける、他グループや他府県青年部の良いところや違いを研究し、グループ運営に還流します。

- 増強に関する業務
- 幹事会の成立を担保し、幹事会、正副幹事長会の議事録を担当する。
- 合同予定者委員会、9月総務渉外例会、3月褒賞会の企画・運営
- 総務PJへの参画
- 近畿圏合同例会への積極的な参画
- 年間スケジュールの管理
- 各委員会の活性化率の数値化
- 中間検証の企画・運営
- 委員長会、運営幹事会の開催管理
- 委員会、例会の参加率 60%以上達成

#### 【例会委員会に関する方針】

例会は青年部活動における最大の学びの場です。青年部活動の話だけではなく、報告者のリアルな経営体験報告に重きをおき、報告者と作りこみの段階から深く関わり合うことで、経営の本質や、経営者の覚悟と姿勢を学びます。

- 増強に関する業務
- オール青年部PJへの参画
- 近畿圏合同例会への積極的な参画
- オール青年部への積極的な参画
- 5月例会、2月例会の企画、運営
- 設営担当外の例会事業における公式プレへの積極的な参画
- 委員会、例会の参加率 60%以上達成

#### 【指針ビジョン委員会に関する方針】

目的地がない船はどこに進めばよいのか分かりません。経営も同じです。自社や自身のあるべき姿が明確になればなるほど、先を見据えた一歩が踏み出せます。同友会で一番大事なツールともいわれる経営指針書やビジョンの必要性を認識し、青年経営者らしく明るく楽しい未来を描く機会を提供します。

- 増強に関する業務
- 8月指針ビジョン例会の企画、運営
- 年1回以上(10月、12月を目安)の指針ビジョン事業の企画、運営
- 近畿圏合同例会への積極的な参画
- オール青年部への積極的な参画
- 委員会、例会の参加率 60%以上達成

#### 【交流委員会に関する方針】

交流は組織の潤滑油です。会員同士の関係性の質を向上させることで、経営者としてだけでなく一個人として腹を割って話し合う機会を提供します。会員同士の絆を深め、組織の結束力を高めることで、活発な組織運営を実現し、一生涯の心友をつくります。

- 増強に関する業務
- 近畿圏合同例会への積極的な参画
- オール青年部への積極的な参画
- 8月納涼会、12月クリスマス会の企画、運営
- 委員会、例会の参加率 60%以上達成

#### 【組織活性委員会に関する方針】

会員全員が青年部活動に参加しやすくなる、したくなる環境を整備します。特に新会員や参加回数の少ない会員に対し、青年部活動を行うことの意義を伝え、グループ内での学びの質を向上させます。青年部活動を通してより学びたいという仲間の意欲を高め、活きのよい組織をつくります。

- 増強に関する業務
- 組織強化PJへの参画
- 第5グループの休退会者数を10名以下に抑え、組織の活性化を目指します。
- 近畿圏合同例会への積極的な参画
- オール青年部への積極的な参画
- 6月組織活性例会、1月同期会の企画、運営
- 拡大委員会と連携し、新会員のスムーズなフォロー体制を構築
- 委員会、例会の参加率 60%以上達成

#### 【拡大委員会に関する方針】

会員一人一人が私たちの学びの源泉です。量は質を生み、質は量を担保する。会員同士で学び合う同友会青年部では、会員拡大はとても重要な要素です。学びの幅を拡げ、学びの深さを大きくするために、会員を増やします。戦略的思考と緻密な戦術を駆使し、全員で会員拡大を行うことで目標を達成します。

- 増強に関する業務
- 会員拡大PJへの参画
- 第5グループとして35名以上の新入会員を迎え、青年部全体で900名の会勢を目指します。
- 近畿圏合同例会への積極的な参画
- オール青年部への積極的な参画
- 7月例会、11月例会の企画、運営
- 委員会、例会の参加率60%以上達成

【研修委員会に関する方針】

経営者として必要なスキルはもちろん、一人の人間として大切な知識、技術、考え方を学び、自社や自身に活かせる研修を行い、人間力を高めます。今日の自分、今日の会社よりも、明日が少しでも良くなる一助となる機会を提供します。

- 増強に関する業務
- 青年部MG PJへの参画
- 年3回以上(7月、10月、12月、2月を目安)の研修事業の企画、運営
- 近畿圏合同例会への積極的な参画
- オール青年部への積極的な参画
- 委員会、例会の参加率60%以上達成

## 職務分掌(案)

### 【幹事長】

- 正副幹事長会の召集・出席
- 幹事会の召集・出席
- 支部例会への出席
- 近畿圏サミットへの出席
- 連絡協議会への出席
- 青年部第 5G 幹事会の代表としての活動
- 幹事の任命
- 所属各グループの委員会設置
- 近畿圏合同例会への出席
- 県役員研修への出席

### 【副幹事長および総括幹事】

- 幹事長の補佐
- 担当委員会および事業の報告
- 正副幹事長会への出席
- 幹事会への出席
- 幹事会の議長担当
- 担当以外の委員会との連絡・調整
- 県役員研修への出席
- 支部例会への出席
- 近畿圏合同例会への出席
- 渉外担当副幹事長は近畿圏サミットへの出席

### 【総括幹事】

- 幹事会メンバーでの中間検証の企画・検証
- 事務局との調整
- 会計管理の業務
- 連絡協議会への出席
- 県役員研修への出席
- 県の理事会方針および青年部諸規定の研究

### 【委員長】

- 月1回、正副委員長会の召集・出席
- 月1回、委員会の召集・出席
- 予定者委員会の召集・出席
- 幹事会への出席
- 支部例会への出席
- 県役員研修への出席
- 青年部例会の企画・運営
- 近畿圏合同例会への出席・参画
- 会員増強への協力

### 【副委員長】

- 担当委員会の各事業の企画・運営・実施
- 委員長を補佐し、万一の場合には、副委員長がその職務を代行する
- 事業責任者を兼務する場合もある
- 年 1 回以上幹事会へのオブザーバー出席

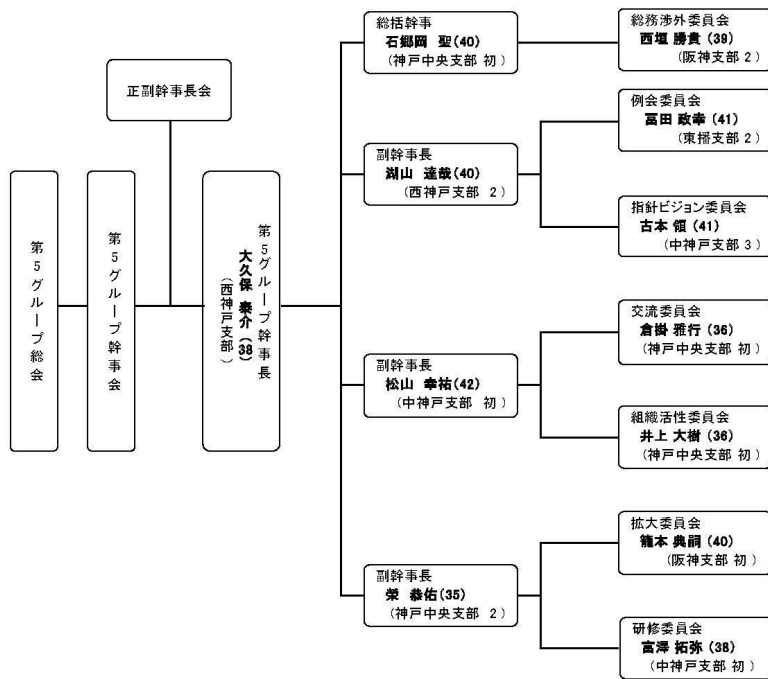
- 会員増強への協力
- 正副委員長会への出席
- 委員会への出席

【運営幹事】

- 委員会および懇親会の召集・設営に関する業務
- 委員会内の連絡網の管理に関する業務
- 委員会名簿作成・管理に関する業務
- 委員会・例会の参加要請・出欠確認に関する業務
- 委員会・事業における会計に伴う諸事に関する業務
- 委員会報告シートの提出
- 正副委員長会への出席
- 委員会への出席

【会員】

- 担当委員会への出席
- 例会への出席
- 県行事および支部行事への出席



## 総務渉外委員会委員長所信（案）

委員会名 : 総務渉外委員会  
担当総括幹事予定者 : 石郷岡 聖  
委員長予定者 : 西垣 勝貴  
作成日 : 2025 年 2 月 22 日

### 「ともに学び、最高のチームをつくる」

#### 【所信】

組織の要として、グループを超えた学びを積極的に取り入れます。  
仲間との関わり、学びを生かすことで、一丸となって進む組織体が体感できる環境を目指します。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会メンバーが経営体験報告を行い、自社との違いに気づき、自社成長のきっかけを作ります。
- 委員会メンバーが自身の役割を理解し、活動することで組織における役割の重要性を学び体現します。
- 懇親会では、報告からの学びを更に自社の課題と照らし合わせて、今後の経営や未来の話について語り合い学ぶ環境とします。

##### （事業運営）

- 9 月総務渉外例会では、他グループや県外で青年部活動の学びから組織を成長されている報告者より学ぶ例会を企画・運営します。
- 3 月褒賞会では、1 年間の活動を振り返り、切磋琢磨してきた仲間が互いに称え合う会を企画・運営します。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別の日に毎月 1 回開催します。
- 委員会出席率を毎回 60%以上達成できるように取り組みます。
- 委員会メンバーの会社を訪問し、経営体験報告を行います。
- 総務渉外委員会として 5 名以上の新入会員を迎え入れます

##### （事業計画）

- 9 月総務渉外例会の企画・運営をします。
- 中間検証の企画・運営をします。
- 3 月に褒賞会の企画・運営をします。
- 総務 PJ へ参画します。
- 近畿圏合同例会 PJ、青全交の目標人数達成に向けて取り組みます。
- 各事業の参加率を 60%以上達成できるように取り組みます。
- 期限の明確化のため年間スケジュールを管理します。
- 会員への告知やフォローなどを円滑に行うため名簿を管理します。
- 幹事会の次第及び議事録、正副幹事長会の議事録を作成します。
- 正副幹事長会、幹事会の開催管理をします。
- 活性化、拡大に向き合う風土を作るために、組織活性委員会と連携して、各委員会の活性化を数値化します。

#### 数値目標

委員会参加率（60%） 例会参加率（60%） 拡大目標（5 名）

## 例会委員会委員長所信（案）

委員会名 : 例会委員会  
担当副幹事長予定者 : 湖山 達哉  
委員長予定者 : 富田 政幸  
作成日 : 2025 年 2 月 22 日

### 「継続は力なり！～小さな努力を続ければ大きな成長を生む～」

#### 【所信】

経営課題や経営姿勢の本質について深掘りし、学び合った事を実践し続け、自身や自社が成長できる環境を創ります。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会メンバーの会社を訪問し、経営体験報告とフィードバックを実施します。
- 自身や自社の成長の為に継続することを決めて発表します。
- 外部環境に左右されない強靱な企業をめざせる環境を作ります。
- 本気本音で切磋琢磨しあえる仲間をつくります。

##### （事業運営）

- 経営体験から様々な手法を学ぶだけではなく、報告者の経営姿勢を深く理解し、学び方を修得することで自社に落とし込める例会を開催します。
- バズセッションの質を担保するためにグループ長研修を開催します。
- 懇親会では、例会テーマから派生した新たなテーマで交流を深め、さらなる学びの環境を提供します。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 幹事長所信、委員長所信の読み合わせを行います。
- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日に毎月 1 回開催します。
- 正副委員会で増強会議を行います。
- 委員会出席率を、毎回 60 %以上達成できるようにリマインドを徹底します。
- 例会委員会では今期 5 名以上の新入会員を迎え入れます。
- 継続すると決めたことを毎月の委員会で検証する時間を設けて、フィードバックを行います。
- 委員会内で事業の告知、経営に関する情報を共有します。

##### （事業計画）

- 5 月例会、2 月例会の企画・運営をします。
- 各事業の出席率を、毎回 60 %以上達成できるようにリマインドを徹底します。
- 懇親会参加率を例会参加者の 70%以上を達成します。
- 設営担当外例会事業の公式プレへも積極的に参加します。
- 年 1 回以上 G 長研修の企画・運営をします。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (5名)

## 指針ビジョン委員会委員長所信（案）

委員会名 : 指針ビジョン委員会  
担当副幹事長予定者 : 湖山 達哉  
委員長予定者 : 古本 領  
作成日 : 2025 年 2 月 22 日

### 「個人のビジョン、自社のビジョンを明確にする！」

#### 【所信】

人生の目的、自社と自身のビジョンを明確にする場を提供し、ビジョンにコミットする環境を創ります。ビジョンに紐づいて自社の経営計画を明確にし、行動を変えるきっかけ創りを目的とします。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 経営体験報告を通じ、経営指針やビジョンを語り合う委員会にします。
- 委員会メンバーと正面から関わり、1年後のビジョンを達成する為のフィードバックをし合える委員会にします。
- 経営指針書や理念の重要性に気づける委員会にします。

##### （事業運営）

- 経営指針書や理念の重要性を感じてもらい、一步を踏み出すきっかけになる例会創りをします。
- 事業を通じて自社と自身のあるべき姿を明確にする機会を創出し行動を変えるきっかけ創りをします。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月1回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月1回開催します。
- 委員会出席率を60%達成できるように取り組みます。
- 全委員会メンバーの掲げた1年後のビジョンを共有し、毎月の委員会時に進捗を管理します。
- 第5グループの経営指針成文化セミナーの受講状況を共有し、経営指針成文化セミナーの受講者年間5名を達成できるように取り組みます。
- 指針ビジョン委員会では5名以上の新入会員を迎え入れます。

##### （事業計画）

- 8月指針ビジョン例会の企画・運営をします。
- 12月指針ビジョンミニイベントの企画・運営をします。
- 例会の参加率60%以上達成できるよう取り組みます。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (5名)

## 交流委員会委員長所信（案）

委員会名 : 交流委員会  
担当副幹事長予定者 : 松山 幸祐  
委員長予定者 : 倉掛 雅行  
作成日 : 2025 年 2 月 22 日

### 「人は人によって磨かれる」

#### 【所信】

志高い青年経営者と出会い、同友会会員や社員、家族との関係性を深め、経営者として、人として、磨き合える心友との絆を創出することを目的とします。

#### 【運営方針】

##### (委員会運営)

- 最高に楽しみ、切磋琢磨し、感謝を忘れず、結束が強い委員会にします。
- 委員会メンバー全員が主体性を持ち、自ら交流し、参加しやすい環境を作ります。
- 一生涯の心友に出会い、共に自身と自社を高め続けていける関係を作ります。

##### (事業運営)

- 心友との出会いを創出し、関係性の質を高め、絆を深め合える事業を行います。
- 年間を通じて部活動のように活動を続け、新しい仲間と出会える事業を行います。
- 社員や家族に感謝の気持ちを伝え、絆を深め合える事業を行います。

#### 【行動計画】

##### (委員会計画)

- 結束を強めるため、活発的な委員会を毎月 1 回開催します。
- 結束を強めるため、活発的な懇親会を毎月 1 回開催します。
- 委員会へ参加しやすい環境を作るために、正副委員会を委員会とは別で毎月 1 回開催します。
- 絆を深めるために委員会出席率を、毎回 60%以上達成できるように取り組みます。
- 交流委員会では今期 5 名以上の新入会員を迎え入れます。

##### (事業計画)

- 8 月に納涼会を開催します。
- 12 月にクリスマス会を開催します。
- 年 4 回以上、青年部第 5 グループで部活動を開催します。
- 年 2 回以上、志高い経営者でミニイベントを開催します。
- 各事業の参加率を 60%以上達成できるように取り組みます。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (5 名)

## 組織活性委員会委員長所信（案）

委員会名 : 組織活性委員会  
担当副幹事長予定者 : 松山 幸祐  
委員長予定者 : 井上 大樹  
作成日 : 2025 年 2 月 22 日

### 「One for all.All for one～心躍る関係づくり～」

#### 【所信】

成長意欲のある青年経営者が、互いに学び支え合うことで信頼を築き、ワクワクする成長機会を創出します。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 私たちの学びたいという意欲を高め、積極的に関わり、交流を深めます。
- 委員会活動では、所信の実現に向け積極的に関わり ONE TEAM になるための活動します。
- 自社と自己開示の発表を中心とした委員会を実施し、内容の充実と実践的な学びを提供します。

##### （事業運営）

- 新会員や参加できていない会員に対し、青年部活動を行うことの意義を伝える事業を行います。
- 青年部活動の良さを伝える座談会を開催します。
- 青年部活動を通じて成長意欲を高め、活性化に繋がるワクワクする事業を行います。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別の日に毎月 1 回開催します。
- 委員会出席率を毎回 60%以上達成できるように取り組みます。
- 参加が少ない会員には、ワクワク感が伝わるよう積極的に声を掛けたり、会社訪問を通じて関わりを深めます。
- ゲストとして来訪いただいた方をリスト化し、定期的に声を掛けることで関係性を深めます。
- 組織活性委員会では今期 5 名以上の新入会委員を迎え入れます。

##### （事業計画）

- 6 月に組織活性例会の企画・運営をします。
- 1 月に同期会の企画・運営をします。
- 各事業の参加率を 60%以上達成できるように取り組みます。
- 座談会を年 6 回以上開催し、年間スケジュールを組んで継続的に実施します。
- 同期全員が関われるよう積極的に声掛けとフォローを行い、同期会への全員参加を目指します。
- 第 5 グループの休退会を 10 名以下に抑え、組織の活性化を目指します。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (5 名)

## 拡大委員会委員長所信（案）

委員会名 : 拡大委員会  
担当副幹事長予定者 : 榮 恭佑  
委員長予定者 : 籠本 典嗣  
作成日 : 2025年2月22日

### 「経営者の数だけ学びがある」

#### 【所信】

経営者が増えると学びの幅が広がり、学びの内容が濃くなります。委員会活動や事業を通して共に組織を拡大、成長させる体験を通し、戦略的思考、人材育成能力、コミュニケーション能力を育み、各委員の自身と自社の成長に繋がります。

#### 【運営方針】

##### (委員会方針)

- 委員会メンバー同士が悩みや経営課題を相談しあえる委員会運営をします。
- 委員会活動を通じて組織を体感し、自社・自身が成長する場にします。
- 各委員会の事業や目的達成を円滑にする為、他委員会との交流を積極的に行います。

##### (事業運営)

- 事業目的を正副委員会、フロアメンバーに周知徹底し、委員会一丸となって事業運営、目的達成を行います。
- 若い経営者同士で共に自己を高め合っていく青年部の本当の魅力を伝えられる事業を行います。
- 共に事業運営していく中で本気で関われる関係性を構築します。

#### 【行動計画】

##### (委員会計画)

- 毎月1回委員会を開催します。
- 正副委員会は、委員会と別日に月に1回開催します。
- 委員会出席率を、毎回60%以上達成できるように取り組みます。
- 各支部の事業を委員会で把握しグループ全体で共有しながら支部のゲスト又は青年部未入会会員へのアプローチを行います。
- 拡大委員会では今期5名以上、第5グループでは35名以上の新入会員を迎え入れます。

##### (事業計画)

- 7月例会の企画運営をします。
- 11月例会の企画運営をします。
- 各事業の参加率を60%以上、出欠回答率を100%達成できるように取り組みます。
- 第5グループでは、今期純増25名以上を目標とします。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率(60%) 拡大目標(5名)

## 研修委員会委員長所信（案）

委員会名 : 研修委員会  
担当副幹事長予定者 : 榮 恭佑  
委員長予定者 : 富澤 拓弥  
作成日 : 2025 年 2 月 22 日

### 「他者理解を深め、もう1段上の成長を！」

#### 【所信】

一人一人の人と向き合える人間力を磨き、魅力ある経営者として成長するための、一步を踏み出す機会を作る。

#### 【運営方針】

##### (委員会運営)

- 人前で話す、人に伝える機会を通じて、自己開示と他者理解の場を創出します。
- 自社と向き合い、学びを活かすための時間を作るために、時間設定や場所の選定を効率よく行い、スマートな委員会運営を目指します。
- 自己開示を行うことによって自社に向き合い、仲間と共に成長するための委員会を行います。
- 会員同士が、常に前向きな姿勢で関わり合える場をつくります。

##### (事業運営)

- 他者理解を深める研修を行い、関わる人達から愛される、人間力向上ための事業を行います。
- 仲間と共に学び、自社に取り入れ、明日から実践できるような事業を行います。
- 研修委員会主体での研修事業を行います。

#### 【行動計画】

##### (委員会計画)

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会と別に毎月 1 回開催します。
- 委員会出席率を毎回 60%以上達成できるように取り組みます。
- 研修委員会では今期 5 名以上の新入会員を迎え入れます。

##### (事業計画)

- 年 3 回(7 月、12 月、2 月を目安)の研修事業の企画、運営をします。
- 研修事業として 心理学、EQ、傾聴技術などをテーマとした研修を実施します。
- 各事業の参加率を 60%以上達成できるように取り組みます。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (5 名)

## 2025 年度 青年部第 6 グループ 活動方針(案)

### 『青春謳歌』 ～汗をかけ恥をかけ夢を描け～

皆さんにとって青春時代とは、いつの事を言うのでしょうか。  
毎日がワクワクし、思考に制限なく夢を追いかけた日々。  
本気で仲間と切磋琢磨し、毎日が挑戦に満ちていたのではないのでしょうか。

では今、この青年部活動を通じて、どれほどの挑戦の機会に触れているのでしょうか。  
私は、この場で組織を体で学び、知識を増やし、沢山の先輩方と語り、共通学習を通じてここまで成長してきました。  
青年部活動を通じて様々な経験を積み、自社を前進させ、より良い会社を皆で作ること。  
これこそが最も大切な目的であり、私たちの原点と思っています。

同時に、青年経営者としての「心」を育てる場でもあります。  
なぜなら私が思う、リーダーとは人々に夢を与える影響力を持たなくてはならない存在だからです。  
そのため、私たちは率先して、大きな夢を描き、語りましょう。  
リーダーである私たちは常に、求められる姿を超える「想像以上の自分」であり続ける必要があります。

この一年間の始まりに、それぞれの明るい未来を描く事から始めていただけないでしょうか。  
私たちは、本気の想いが決して笑われず称え合う文化を作っていきます。  
一人でも多くの切磋琢磨できる仲間を作るために全力で挑戦ができ、学べる環境を整えていきます。

描いた夢を実現するために、必要なことがあります。  
それは汗をかく事です。  
緊張の汗、精一杯の汗、失敗を恐れずに脈拍が上がるような体験からかいた汗は必ず勇気を生み、  
次なる挑戦へ送り出してくれると確信しています。

この一年の間にも、辛い時や苦しい時が必ず訪れるでしょう。  
どうか忘れないでください。  
頼れる仲間がここにいる事を。  
そして何より私自身がこのグループのリーダーとして、青春という熱い挑戦の灯りを決して消さぬよう謳歌します。  
ついてきてください。  
私たちの挑戦が必ず良い会社の創造に繋がります。

2025 年度 第6グループ 幹事長 連 智人

## 組 織 方 針(案)

### 【組織運営方針】

#### ●『青春謳歌』

「青春」生涯において若く元気な時代、主に青年時代を指す言葉として用いられる。

「謳歌」恵まれた幸せを、みんなで大いに楽しみ喜び合うこと。

限られた青年部活動の中で最大の財産は「仲間」との出会い、切磋琢磨する時間であると考えます。

友でありライバルである存在と切磋琢磨をし、青年経営者としての実感を噛みしめながら成長する。

人に何かを与えるには自らが輝く必要があります。

精一杯に行動し、挑戦を称え合い、夢を追うこの時間こそが掛け替えのない青春時代です。

### 【拡大増強方針】

●拡大増強委員会がその中心を担い、拡大増強に関する企画、運営を行います。

●役職、所属委員会に関係せずグループ全体で拡大増強に取り組みます。

●拡大増強へ貢献してくれた会員をグループ全体で称え合います。

●拡大増強の本質をしっかりと組織内に浸透させ意味を紡ぎます。

●第6グループとして純増25名以上を達成します。

●第6グループとして87名以上、新会員を迎え入れます。

### 【正副幹事長会運営方針】

●副幹事長が議長、謝辞講評を務め、より良い幹事会運営へ向けての準備を行います。

●委員長が輝く為に最大限のサポートを行います。

●組織の全体最適を考え、より良い環境作りに努めます。

●近況報告をベースに自社の数値、130%アップに拘ります。

### 【幹事会運営方針】

●時間の大切さを実感する場とする為に、提出期限の厳守、集合時間の厳守を徹底します。

●懇親会は関わり合いを深くする場、経営の話をする場とし、自社の理想を創造する為に年間目標の推移、自社の近況報告を共有し、仲間の踏み出した一步を共に称え合います。

●組織運営を学ぶ為に、組織図に沿った指示・連絡・相談を行います。

●すべての事業に対して、各委員会の100%出欠回答を目指します。

●会議運営を学んで頂く事、幹事会を知って頂く事を目的とし、会員のオブザーバー参加を推奨します。

●幹事会全員が、第6グループの運営の一翼を担っている意識と覚悟を持って行動します。

●組織の中核を担う認識を整え、規律、言動、行動に意識を置き模範となる姿勢を示します。

### 【各事業についての補足事項】

●オール兵庫は青年部例会扱いとします。

●青年経営者全国交流会は例会扱いとしません。

●近畿圏合同例会、オール兵庫、青年経営者全国交流会は全ての委員会で意義を伝え積極的に参加を募ります。

### 【総務委員会に関する方針】

青年部でも会社でも、総務の正確な情報整理、処理速度により加速度が上がります。

グループとしての活動では、正副幹事長会と各委員会を繋ぐ非常に重要なポジションとなります。

半歩先の視座で組織運営に関わっていただきます。

●会員拡大、増強に関する業務を行う

●総務委員会として8名以上、新会員を迎え入れる

●幹事会の成立を担保し、幹事会、正副幹事長会の議事録を担当

●合同予定者委員会、9月総務例会、3月褒章会の企画運営

●総務PJへの参画

- 年間スケジュールの管理
- 各委員会の活性度の数値化
- 中間検証の企画・運営
- 毎月一回の委員長会の企画、運営
- 財務規則委員会と連携し、組織内の規律、発言、行動への注意を図る
- 議案書の事前チェックを行い会議の質の向上を行う
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを 2 名以上推薦する

#### 【財務規則委員会に関する方針】

事業作りの中で必須となる議案書。

初の事業責任者が安心して事業作りを行えるよう事前に、財務チェックを設け、チェックリストを用い、予算書の整合性の確認、議案書の文言の適正を図ります。

幹事会の最高意思決定機関の質を高め、会議をより高度なものにすることを目的とします。

青年部として初の委員会となりますが紡ぐ文化となる事を狙い発足します。

- 会員拡大、増強に関する業務
- 財務規則委員会として 8 名以上、新会員を迎え入れる
- 財務チェック日を設け、幹事会前に全事業の予算書の整合性をチェックする
- 6 月財務規則例会の企画運営
- 総務委員会と連携し、組織内の規律、発言、行動への注意を図る
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを 2 名以上推薦する

#### 【拡大増強委員会に関する方針】

青年部でも会社でも「人」はエネルギーの源です。また増強とは未来への投資であり自社に置ける利益でもあります。「青年部」の魅力を、どのように営業すれば売れるのかを分析し、目標達成の PDCA を学び自社や商品のセールスに活かせる増強運営を行います。

- 会員拡大、増強に関する業務
- 8 月ウェルカム例会、2 月スーパーウェルカム例会の企画運営
- 拡大増強委員会として 8 名以上、新会員を迎え入れる
- 全委員会で増強活動を行うための戦術、数字に向き合う組織風土を作る
- 拡大増強シートを用い、状況の見える化を図る
- 他団体との連携も率先して行い、同友会活動のファン作りを行う
- サポート広報委員会と連携し、新入会の方へのフォロー体制の仕組み作り
- 拡大活動は、3 月連絡協議会までを期限とする
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを 2 名以上推薦する

#### 【志例会委員会に関する方針】

青年部でも会社でも、主力商品は「顔」となります。青年部の主力商品である「例会」を妥協せず作り込み、会員、ゲスト、報告者に感動を与えることのできる例会運営を行います。

また青年部で学び自己変革したことにより自社や自身をどの様に成長させたのかを報告いただき、志ある経営の大切さを伝えます。

- 会員拡大、増強に関する業務
- 志例会委員会として 8 名以上、新会員を迎え入れる
- 全委員会と連携して各例会の規律、発言、行動への注意を図る
- 各例会の全体的なフォローへ入る
- 5 月志例会、2 月スーパーウェルカム例会の企画運営
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを 2 名以上推薦する

#### 【サポート広報委員会に関する方針】

青年部でも会社でも、新会員の活性は組織活性の源泉です。また新会員だからこそ感じる声には改善のヒントも多く含まれています。紡ぐ想いをもち、会の魅力、意義を伝え、新会員が輝ける活動をサポートします。

また、グループの活動を対外的に発信することでグループを越えた認知を広めます。

- 会員拡大、増強に関する業務
- サポート広報委員会として 8 名以上、新会員を迎え入れる
- 7 月同期会の企画運営
- 12 月サポート広報例会の企画運営
- 拡大増強委員会と連携し、入会者へのスムーズなフォロー体制を構築する
- 様々な発信方法で、活動の認知を広める
- 渉外委員会と連携し、他グループ、県外、他団体へも情報の発信を行う
- 委員会・例会の参加率 60%以上
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを 2 名以上推薦する

#### 【交流委員会に関する方針】

青年部でも会社でも、風土づくりに交流は欠かせません。仕事から離れた環境で、仲間の新しい一面を見つけたり、家族やパートナーと触れ合い感謝を述べる機会を設ける事は、相互理解を深める一番の近道です。個人としての顔が見える交流事業を通して組織の結束を強固なものとし、自社事業における交流の大切さを知る機会とします。

- 会員拡大、増強に関する業務
- 交流委員会として 8 名以上、新会員を迎え入れる
- 8 月納涼会の企画運営
- 12 月クリスマス会の企画運営
- 定期的なミニイベント、交流行事の開催
- 委員会・例会の参加率 60%以上達成
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを 2 名以上推薦する

#### 【研修委員会に関する方針】

青年部でも会社でも、戦略こそがすべてです。計画なき行動から利益は発生しません。また偶然にでた利益は継続性がありません。採用や社内整備等、すぐに経営に活かせる研修を実施し、一社でも多くの黒字化を実現できる、研修事業を行います。

- 会員拡大、増強に関する業務
- 研修委員会として 8 名以上、新会員を迎え入れる
- 年 2 回以上の研修事業の企画運営
- 毎月 1 回の経営に活かせるミニ事業の企画運営
- 青年部 MGPJ への参画
- 委員会・例会の参加率 60%以上
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを 2 名以上推薦する

#### 【渉外委員会に関する方針】

青年部でも会社でも、巻き込む力は推進力です。お金や家族の時間を犠牲にする渉外ではなく県外やグループ内外へ目を向ける事で新たな視点を手にし、近畿圏合同例会を牽引する中でポジティブな側面を捉え「楽しさ」を併せ持った渉外運営を行います。

『青年部は一つ』を元にグループの垣根を越えて交流の機会を企画します。

- 会員拡大、増強に関する業務
- 渉外委員会として 8 名以上、新会員を迎え入れる
- 渉外 PJ への参画
- 他府県への徹底した事前準備、おもてなしの心でお迎えする空気作り
- 他グループとの情報共有及び交流を行い、全グループでの活性化の目標達成
- 2 月スーパー合同例会の企画運営

- 委員会・例会の参加率 60%以上達成
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを2名以上推薦する

## 職務分掌(案)

### 【幹事長】

- 正副幹事長会の招集・出席
  - 幹事会の招集・出席
  - 支部例会への出席
  - 近畿圏サミットへの出席
  - 連絡協議会への出席
  - 青年部第6G幹事会の代表としての活動
  - 幹事の任命
  - 所属各グループの委員会設置
  - 近畿圏合同例会への出席
  - 県役員研修への出席
- ※委員会とは各グループ共通の基本委員会ならびに各グループ独自の任意委員会  
※基本委員会の構成は役員会の決議によるものとする

### 【総括幹事】

- 幹事会メンバーでの中間検証の企画・検証
- 事務局との調整
- 会計管理の業務
- 連絡協議会への出席
- 県の理事会方針および青年部諸規定の研究
- 他府県青年部の組織体及び規定の研究
- OB会員・県委員会との連絡
- 幹事会の司会担当
- DoyuHyogoの青年部ページの管理

### 【副幹事長および総括幹事】

- 幹事長の補佐
- 担当委員会の委員長へ寄り添い、正面からの関わり
- 担当委員会および事業の報告
- 正副幹事長会への出席
- 幹事会への出席
- 幹事会の議長担当
- 担当以外の委員会との連絡・調整
- 県役員研修への出席
- 支部例会への出席
- 近畿圏合同例会への出席
- 渉外担当副幹事長は近畿圏サミットへの出席
- 会員増強への主体的な協力

### 【委員長】

- 月1回、正副委員長会の召集・出席
- 月1回、委員会の召集・出席
- 予定者委員会の招集・出席
- 幹事会への出席
- 支部例会への出席
- 県役員研修への出席
- 青年部例会の企画・運営
- 近畿圏合同例会への出席・参画
- 会員増強への主体的な協力

●委員長会の企画・参加

【副委員長】

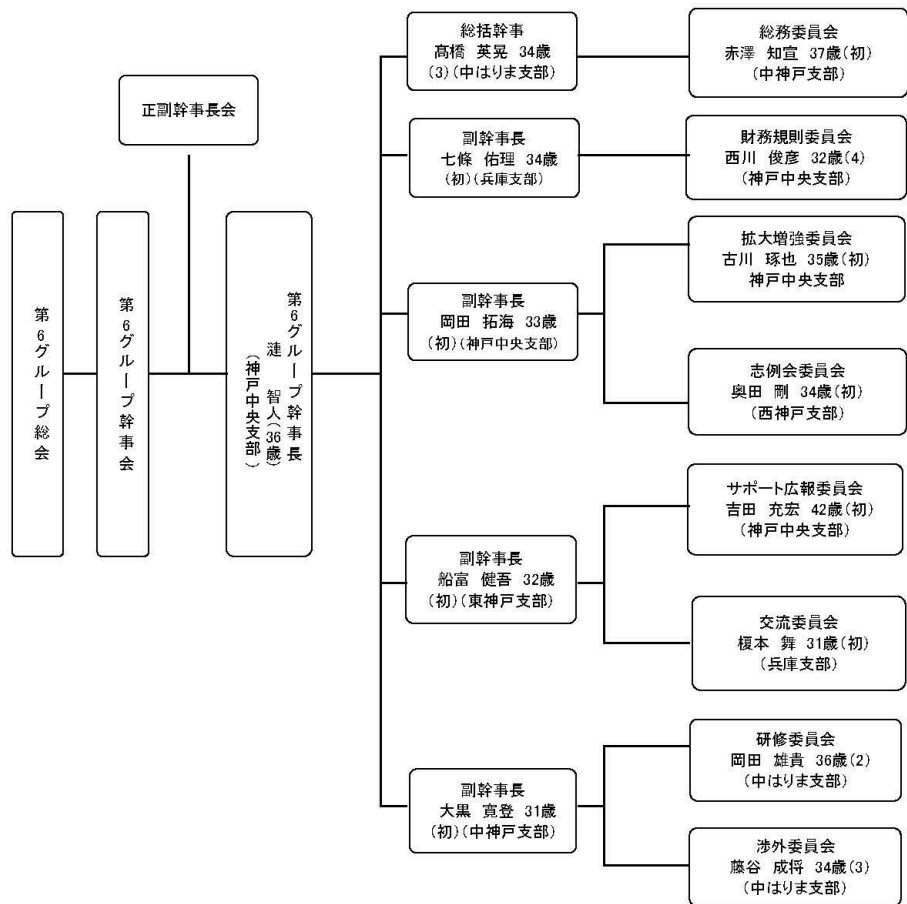
- 担当委員会の各事業の企画・運営・実施
- 委員長を補佐し、万一の場合には、副委員長がその職務を代行する
- 事業責任者を兼務する場合もある
- 年1回以上幹事会へのオブザーバー出席
- 会員増強への主体的な協力
- 正副委員長会への出席
- 委員会への出席

【運営幹事】

- 委員会および懇親会の招集・設営に関する業務
- 委員会名簿作成・連絡網の管理に関する業務
- 委員会・例会の参加要請・出欠確認に関する業務
- 委員会・事業における会計に伴う諸事に関する業務
- 委員会報告シートの提出
- 正副委員長会への出席
- 委員会への出席
- 年1回以上幹事会へのオブザーバー出席
- 会員増強への主体的な協力

【会員】

- 担当委員会への出席
- 例会、各事業への出席
- 県行事および支部行事への出席



## 総務委員会委員長所信（案）

委員会名 : 総務委員会  
担当総括幹事予定者 : 高橋 英晃  
委員長予定者 : 赤澤 知宣  
作成日 : 2025年1月13日

### 「青春の舞台をつくる！」

#### 【所信】

総務委員会は、仲間が青春を全力で謳歌できるよう、挑戦の舞台をつくり、支える役割を担います。その「舞台をつくる」という工程そのものが学びであり、組織運営や経営に活かせる経験になると考えます。

私たちは、正確な情報整理と迅速な対応を通じて組織全体の連携を強化し、挑戦する仲間を支えることを使命とし、仲間が輝き続けられる環境を共に築きながら未来を描く活動を推進していきます。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会では経営体験の共有を通じて、課題解決や新しい視点を得られる場をつくります。
- メンバーが主役となるよう、正副が委員会運営をサポートし、お互いに高め合う場を作ります。
- 生涯にわたって相談し合えるような信頼関係を築きます。
- 他委員会との情報共有や相互参加を促し、青年部全体の活性化に貢献します。

##### （事業運営）

- 中間検証: 上半期の振り返りを通じて改善を行い、検証というプロセスを自社経営に活用できるよう工夫します。
- 9月総務広報例会: 組織運営の重要性を体験的に学び、参加者が自社で活かせるような内容を企画します。
- 3月褒章会: メンバーの努力を称え合い、その文化を自社にも取り入れたいような場を創出します。
- 総務 PJ へ積極的に参画し、青年部総会の企画運営を通じて、その重要性を多くのメンバーに伝えます。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月1回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月1回開催します。
- 委員会・例会の参加率60%以上達成します。
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを2名以上推薦します。

##### （事業計画）

- 3月: 合同予定者委員会の企画運営を行います。
- 9月: 中間検証の企画運営を行います。
- 9月: 総務広報例会の企画運営を行います。
- 3月: 褒章会の企画運営を行います。
- 幹事会や正副幹事長会にて精度の高い議事録を作成・共有します。
- 各委員会の活性化数値や年間スケジュールの管理し、全体の連携を図ります。
- 財務規則委員会と連携し、組織の規律や言動、行動において模範となる運営を行います。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率(60%) 拡大目標(5名)

## 財務規則委員会委員長所信（案）

委員会名 : 財務規則委員会  
担当副幹事長予定者 : 七條 佑理  
委員長予定者 : 西川 俊彦  
作成日 : 2025 年 1 月 27 日

### 「互恵成長」 ～繋がり・関わり・活かす～

#### 【所信】

体験で組織と関係性を学び、未来を語り合える仲間創りを行います。  
心を繋げ、本気本音で関わり、自身と社業の発展に活かします。そして、議案書を通じて、幹事会全体の学びの質を高め、10年後の兵庫経済を担う環境づくりの“カタ”を未来へと紡ぎます。

#### 【運営方針】

##### (委員会運営)

- 委員会メンバー全員に成長の場を設け、経営体験報告をおこない、各々が主役となる委員会作りをします。
- 委員会メンバー全員に幹事会へのオブザーブ参加できっかけを与え、組織としての運営やあり方を学び、変革する機会を作ります。
- 経営者同士でしか解決できない経営課題や悩みを打ち明けられる委員会運営を目指します。

##### (事業運営)

- 今までに無い財務規則という概念を浸透させます。
- 6月に各会社の財務規則を正すきっかけをつくる、財務規則例会を行います。

#### 【行動計画】

##### (委員会計画)

- 委員会は、毎月1回開催します。
- 正副委員長会は、委員会とは別の日に毎月1回開催します。
- 委員会・例会の出席率を、毎回60%以上達成できるよう取り組みます。
- 委員会正副から、次期以降の幹事会メンバーを2名以上推薦します。
- 委員会正副から、順番に幹事会にオブザーブ参加していただきます。
- 委員会メンバーに、理念・ビジョン又は大事にしている価値観などを、共有してもらい機会を作ります。
- 未来に紡ぐ、財務チェックシートを作成します。

##### (事業計画)

- 各事業の参加率60%以上達成します。
- 月に1回、zoomにて財務規則審査会議を行い、議案書の適正、予算書のチェックを行います。
- 総務委員会と連携し、組織内の規律を正します。
- 6月財務規則例会の企画運営を行います。
- 10月に財務諸表に関する勉強会を、研修委員会と連携して行います。
- 委員会では、志高く、今期8名以上の新会員を迎え入れます。

#### 数値目標

委員会参加率(70%) 例会参加率(60%) 拡大目標(8名)

## 拡大増強委員会 委員長所信（案）

委員会名 : 拡大増強委員会  
担当副幹事長予定者 : 岡田 拓海  
委員長予定者 : 古川 琢也  
作成日 : 2025 年 1 月 28 日

### 「やめとこう から やってみよう！！ 挑戦し続ける一年へ」

#### 【所信】

挑戦しなければ失敗も成功もなく、成長もありません。私たちは青年部に新しい風を吹かし、生き生きとした同志を創ります。仲間と夢を描き、心を躍らせ、大きな壁を前に切磋琢磨し、恥を称賛し合える一年にします。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 一年後変わったと他者が認識し自身の成長につながる委員会運営を目指します。
- 拡大増強の本質を理解し「青年部」の魅力を、同じ認識の持てる委員会運営を目指します。
- 青年部の今後の風土づくりに新しい施策を導入し、好循環をもたらします。

##### （事業運営）

- 拡大増強目標に数字管理だけではなく、現状把握を徹底しフォロー漏れを無くします。
- 新入会員のフォローはサポート広報委員会と連携し確実にいきます。
- 青年部対象者でまだ活発でない方に、再度意義を伝えます。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月1回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月1回開催します。
- 委員会出席率を、毎回 60 %以上達成できるように取り組みます。
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを 2 名以上推薦します。
- 委員会の中で最優秀委員会賞などのアクティブ会員に向けた称賛する機会を作ります。
- 近況報告として good&new を設け、苦手克服シートを作成、期首より一年後変化があるかを可視化します。
- 各委員会から拡大担当者を選出して頂き、連携を強固にします。
- 参加できていない方へ、アプローチし委員会の魅力を再認識してもらう事でアクティブ会員を純増します。

##### （事業計画）

- 例会の参加率 60%以上達成できるよう取り組みます。
- 8 月ウェルカム例会、2 月スーパーウェルカム例会の企画運営を行います。
- 各事業の動員達成目標を達成するために他委員会の事業に率先して作り込みに参加します。
- サポート広報委員会と例会で連携し、新会員とゲストの接点を増やしフォロー体制を作ります。
- 他委員会と協力し例会の収録とアーカイブを SNS で記録します。
- 理由があり参加ができていない会員の統計を取り次期に残る財産を作ります。
- 拡大増強委員会では、志高く、今期 8 名以上の新会員を迎え入れます。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率(60%) 拡大目標(8名)

## 志例会委員会委員長所信（案）

委員会名 : 志例会委員会  
担当副幹事長予定者 : 岡田 拓海  
委員長予定者 : 奥田 剛  
作成日 : 2025 年 1 月 28 日

### 「人生楽しんだ者勝ち」

#### 【所信】

目標に向かって挑戦することは不安や恐怖が伴いますが、同志と共に 1 歩踏み出す事で思考が変化し、想像以上の自分になれるのではないのでしょうか。だからこそ経営者の心を育てられる環境を構築し、かけがえのない青春の 1 ページを謳歌します。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 自分の利益や欲望を満たすだけでなく、誠実に仲間を思いやる組織を構築します。
- 相手を尊重し、お互い認め合い、課題や悩みなど、メンバー同士が本音で語りあえる信頼関係を構築します。
- 些細な事にも感謝し「有難う・ごめんなさい」を素直に言える仲間を築きます。
- メンバーが自主的に挑戦し、失敗や成功を称え合える委員会を作ります。

##### （事業運営）

- 例会作りに妥協せず、一人でも多くの方に学びや感動を与える事が出来る例会運営を行います。
- 全委員会が規律を守れる例会作りをします。
- 例会を通じて、改めて目標や課題を整理し、設定できる機会を作ります。
- 経営に必要な知識を共に学び、参加者全員のモチベーション向上に努めます。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 委員会出席率を、毎回 60%以上達成出来るように取り組みます。
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを 2 名以上推薦します。
- メンバーの 1 年間の目標を立て、逆算し月 1 回の目標を委員会で発表をします。
- みんなが主役になれるよう、懇親会では一人一人に話してもらう機会を作ります。
- 所信を委員会時に読み上げ、メンバーに浸透させる環境を作ります。

##### （事業計画）

- 各事業の参加率 60%以上達成します。
- 5 月志例会、2 月スーパーウェルカム例会の企画運営を行います。
- 例会を妥協せずに作り込み、会員、ゲスト、報告者に感動を与える例会運営を行います。
- 各例会の設えを整え、質が高い例会を担保します。
- 研修委員会と連携をとり G 長研修を推進し、バズセッションの向上に努めます。
- 各委員会と連携をとり規律、発言、行動の注意を図ります。
- 委員会では、志高く、今期 8 名以上の新会員を迎え入れます。

#### 数値目標

委員会参加率（ 60%） 例会参加率（ 60%） 拡大目標（ 8 名）

## サポート広報委員会委員長所信（案）

委員会名 : サポート広報委員会  
担当副幹事長予定者 : 船富 健吾  
委員長予定者 : 吉田 充宏  
作成日 : 2025年1月28日

### 「想像を超えて、まだ見ぬ明日へ」

#### 【所信】

本委員会は、“想像を超えて自社を良くする”ことを目指して、ともに成長し、ともに挑戦する場を作ります。本音で語り合いながら、体験から学び、リスクを恐れずに一緒に挑戦していきます。新会員が主体的に活動しやすい環境作りと、グループのサポートを通じて、心を磨いていながら全員で自社成長に繋がっていきます。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会メンバー同士が腹を割って話し合いをするための委員会（場）を作ります。
- メンバー同士が半生を語り合い、他者理解を通じて信頼関係を構築します。
- 自社の事業報告や経営課題を共有してお互いの社業状況を深く理解し、サポートします。
- 情報交換を活性化し、協力体制を強めることでビジネスチャンスや学びの場を広げます。
- メンバー同士で意見交換を行い、誰もが気づきを得られる「双方向」の場を作ります。
- 懇親会では、普段聞けない想いを話せる場とし、新たな気づきを得られるようにします。

##### （事業運営）

- 7月同期会では入会年度の近いメンバー同士の絆を深めるためのきっかけを作ります。
- 8～11月にかけて、絆を深めながら自社成長へと繋げる新会員向け企画を開催します。
- 12月例会では、7月～11月に開催した同期会や新会員向けの企画を総括した例会構成とします。
- 同友会活動をより多くの人たちに認知される広報活動を行います。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月1回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月1回開催します。
- 委員会の参加率 60%以上達成します。
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを2名以上推薦します。
- 自社の年度目標を明らかにし、毎月進捗報告や次月の取り組み内容を共有します。
- 自社成長に繋がるプログラムを提供します。

##### （事業計画）

- 各事業の参加率を60%以上にします。
- 7月同期会、12月例会の企画運営を行います。
- 当事者意識を持っていただくため、メンバー個々の成長テーマに合った事業づくりに参画してもらいます。
- 7月～12月までの事業にストーリー性を持たせて、きっかけの先にある「深める」を作ります。
- 毎月開催される事業へ参加し、広報活動を通じて認知率を上げます。
- 委員会では、志高く、今期8名以上の新会員を迎え入れます。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (8名)

## 交流委員会委員長所信（案）

委員会名 : 交流委員会  
担当副幹事長予定者 : 船富 健吾  
委員長予定者 : 榎本 舞  
作成日 : 2025年1月28日

### 「助け合い、高め合い、分かち合う」

#### 【所信】

青春は一人ではできません。青年部活動で仲間と出会い、周囲を巻き込みながら交流を深めることでお互いのことを知り、人生の新しいページを積み重ねられる環境をつくります。仲間たちと共に体験を重ねて『本気になること』と向き合うことで、その『ご縁』を未来へと紡いでいきます。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 委員会メンバーが自己開示できる場として、事業報告、経営課題報告を毎月行います。
- 他委員会への日程などの情報交換も行き、お互いが参加しやすい場を提供いたします。
- 懇親会では本音が話せる場とし、より深いコミュニケーションを図ります。
- 委員会メンバーに他委員会への出席を促します。

##### （事業運営）

- 8月納涼会では全員が主役としグループ全体の繋がりと青春を感じられる事業作りをします。
- 12月クリスマス会では参加者への特別感と、特に会員の家族に対する感謝を伝えられる事業作りをします。
- 第6グループとしての繋がりが持てるミニイベントを定期開催開催します。
- すべての事業を青春、本気、喜びを軸に行います。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月1回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月1回開催します。
- 委員会の参加率60%以上達成します。
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを2名以上推薦します。
- 全委員会メンバーが参加できる様タイムスケジュールを順守します。
- 委員会では、志高く、今期8名以上の新入会を迎え入れます。

##### （事業計画）

- 各事業の参加率を60%以上達成します。
- 8月納涼会、12月クリスマス会の企画運営を行います。
- ミニイベントは全委員会メンバーが参画し企画運営を行います。

#### 数値目標

委員会参加率（ 60%） 例会参加率（ 60%） 拡大目標（ 8名）

## 研修委員会委員長所信（案）

委員会名 : 研修委員会  
担当副幹事長予定者 : 大黒 寛登  
委員長予定者 : 岡田 雄貴  
作成日 : 2025 年 1 月 28 日

### 日進月歩 ～「想像以上」の自分を目指して～

#### 【所信】

私たちは、青年経営者としての心を育てていく必要があります。  
研修事業を通じて、ありたい自分を目指して目の前の小さな事からひとつひとつ挑戦していける環境をつくりたい。その挑戦を積み重ねていき「継続から生まれる強さ」を体得できるチームを目指します。  
そしてその先にある想像以上の自分を目指し、日々進歩していきましょう。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 1 年間の限られた時間の中で、本気で関わり、学び、本音で話せる委員会運営を行っていきます。
- 誰一人取り残すことなく、委員会メンバー全員が活躍できる環境をつくりたい。
- 委員会メンバーが輝いている姿を体現することで、まだ見ぬ新しい仲間たちにもその魅力を伝え、その輪を広げていくことにより、「選ばれる」自身・そして自社になれる心を育てていきます。

##### （事業運営）

- 毎月 1 回の経営に活かせるミニ事業を行う事により、継続することの大切さを体現していきます。
- 研修事業を通して、その先のありたい自分を常に考えていけるような企画運営をしていきます。
- 研修事業を通して、計画ある行動こそが継続性を生むことを体現していきます。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月 1 回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月 1 回開催します。
- 委員会の参加率 60%以上達成します。
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを 2 名以上推薦します。
- 委員会メンバーが、今期目指したい姿を期首に掲げ、毎月の委員会にて進捗を共有します。

##### （事業計画）

- 各事業の参加率 60%以上達成します。
- 年 2 回以上（7 月と 2 月）の研修事業の企画運営を行います。
- 青年部 MGPJ への参画をします。
- 各委員会と連携して、経営に活かせるミニ事業を毎月企画運営します。

（8 月：渉外委員会）

（9 月：志例会委員会）

（10 月：財務規則委員会）

（11 月：拡大増強委員会）

（12 月：総務委員会）

（1 月：交流委員会）

（3 月：サポート広報委員会）

- 委員会では、志高く、今期 8 名以上の新会員を迎え入れます。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (8 名)

## 渉外委員会委員長所信（案）

委員会名 : 渉外委員会  
担当副幹事長予定者 : 大黒 寛登  
委員長予定者 : 藤谷 成将  
作成日 : 2025 年 1 月 28 日

### 「一期一会」

#### 【所信】

青年部活動の楽しさを実感するには、仲間のために何ができるか、何を思うかに重点を置き、1つ1つの課題や悩みを打ち明ける関係性創りを行います。

「青年部は一つ」を合言葉にグループの垣根を超え、さまざまな出会いを得て、失敗と成功を繰り返し挑戦する楽しさに汗をかき、人として憧れの的になれるよう活動を行います。

#### 【運営方針】

##### （委員会運営）

- 自己開示する環境と課題解決ができる関係を創ります。
- 新たなヒントを掴む為の情報を常に発信します。
- 他委員会、他グループからの参加もお客様ではなく仲間として接します。

##### （事業運営）

- 青年部は一つの想いを持って活性化の底上げに挑戦します。
- 関わる仲間はライバルと捉え勝ちにこだわります。
- 兵庫県だけではなく全国の経営者が関わられる例会創りを行います。

#### 【行動計画】

##### （委員会計画）

- 委員会は毎月1回開催します。
- 正副委員会は委員会とは別日で毎月1回開催します。
- 委員会の参加率 60%以上達成します。
- 委員会正副から次期以降の幹事会メンバーを2名以上推薦します。
- 毎月経営体験報告をします。
- 幹事会オブザーバー参加を毎月1人促進します。
- 他委員会、他グループに積極的に参加します。

##### （事業計画）

- 各事業の参加率 60%以上達成します。
- 11月に青年部の魅力を発信する例会の企画運営を行います。
- 報告、設営、動員全てにおいて事前準備を行い目標数字を追いかけます。
- 県外からも積極的に動員を行います。
- 委員会では、志高く、今期8名以上の新会員を迎え入れます。

#### 数値目標

委員会参加率(60%) 例会参加率 (60%) 拡大目標 (8名)

# 諸規程・資料等

# (一社)兵庫県中小企業家同友会青年部運営規程

【 名 称 】 (一社)兵庫県中小企業家同友会青年部

【 構 成 】 (一社)兵庫県中小企業家同友会会員及び会員企業の後継者(1社あたり1名まで)をもって構成する。会計年度開始(4月1日)時点で、年齢は原則として42歳以下とする。

【目的と事業】 (一社)兵庫県中小企業家同友会の機構に基づく部活動として、青年経営者の資質の向上と会員企業の発展、さらに同友会理念を体得し同友会活動の発展強化に寄与する事を目的とする。

- ① 時代に即応した経営に関する研究、並びに研修会を実施する。
- ② 青年部会員の社会的知識を涵養するため、経済、文化に関する情報の収集及び研修会、講演会等を開催する。
- ③ 同友会の先輩経営者から広く学び、同友会活動に積極的に参加する中で、将来の同友会を担う力量を養う。
- ④ 21世紀を生き抜くために夢とロマンを語り継ぎ、共に学び、共に育ち、経営者として成長する。

【存在意義】 未来への投資。

- ① 「創業者問題」を解決する。
  - ② 「本会の横軸組織」への足がかり。
  - ③ 不純な動機で「歩(ふ)を金(きん)」にする。
  - ④ 「企業家育成を」を心がける。
- \* 別紙参照

【会計年度】 4月1日より翌年3月31日とする。

【入会】

- ① 入会希望者は入会申込みを青年部連絡協議会に提出し、青年部連絡協議会の承認と会費納入をもって入会とする。
- ② 年度途中において入会した会員の会費は、年会費を月割りにより計算した額(入会手続き月を含めない)とする。

【退会】

- ① 退会する場合は青年部連絡協議会に届けを行い、承認を得るものとする。その場合、その年度までの会費は納入し、すでに納入した会費は払い戻ししないものとする。
- ② 43歳の誕生日を迎えた年度末をもって、自動的に退会とする。
- ③ 9月末日までに当年度の会費未納の場合は退会とする。

【会費】 会費は会員1名につき年額24,000円とする。

【例会】

- ① [目的と事業]を実践するために例会を開催する。
- ② 原則として月1回、例会を行う。
- ③ 青年部会員は、例会に積極的に参加しなければならない。

【運営機関】 この会に次の機関を置く、招集は部会長が行う。

- ① 総会 部内最高の決議機関で、定時総会は年1回開催する。臨時総会は部会員3分の1以上の要請、青年部連絡協議会の決定により開催する。定足数は、委任状をふくめ2分の1以上とし、議決は出席者の過半数とする。
- ② 青年部連絡協議会 総会に次ぐ決議機関で、原則として月1回開催する。定足数は委任状を含め、2分の1以上とし、議決は議決権を持つ出席幹事の過半数とする。

【 協 議 員 】 この会に次の協議員をおく。

- ① 部会長は1名で、会を代表し、総会、青年部連絡協議会を招集する。
- ② 運営専務は1名とし、部会長を補佐する。
- ③ 副部会長は若干名とし、部会長を補佐する。
- ④ 協議員の任期は、1年とする。

【 監 査 報 告 】 青年部活動の会計処理を監査し、総会に報告する。

【 規 定 の 設 定 】 青年部の活動を円滑に行う為、県の規約に基づき、運営規定、その他必要とする規定を青年部連絡協議会の決議により設定します。

【 慶 弔 規 定 】 別紙慶弔規定参照

【 規 約 の 改 廃 】 この規約の改廃は総会でいきます。

【 付 則 】 この規程に定めのない事項及び解決については青年部連絡協議会が決定する。

(1996年4月20日 一部改正)

(1997年4月5日 一部改正)

(1998年4月4日 一部改正)

(1999年4月3日 一部改正)

(2000年4月8日 一部改正)

(2003年4月12日 一部改正)

(2005年12月8日 一部改正)

(2010年4月16日 一部改正)

(2013年4月26日 一部改正)

(2014年4月25日 一部改正)

(2017年4月17日 一部改正)

(2023年4月14日 一部改正)

(2024年4月18日 一部改正)

# 青年部の存在意義

## 「未来への投資」

### 1、「創業者問題」を解決する。

創業者問題には、2つの意味があります。

ひとつ目は後継者サイドの創業者問題。

42歳までの年齢制限の中で後継者の比率も多いのですが、一般的によく言われる後継者問題を反対側からの立場で見ると、後継者から見る創業者問題がでてきます。偶然にも親や親類が経営者であるため、家業を継がないといけなく、また轢かれたレールの上を歩まなくてはならない。その中には、いつまでたっても信頼してくれない社長への不満、古参の幹部社員対策、時代に対応しきれない社内ルール、陳腐化したビジネスモデルなどこれらの問題があげられます。

ふたつ目はキャリアの浅いオーナー社長の緒問題

若年層の創業者にとっても大いに課題はあります。例えば年齢の近い幹部のコントロール方法、組織の作り方、銀行との付き合い方、資金繰り、自社のコア・コンピタンス(ダントツの得意技)の創出などがあります。若い経営者が創業期に向かえる課題は多くあります。この問題も「創業者問題」と言います。本会には無い、42歳までの立場ならではの創業者問題を解決するきっかけになる青年部をつくりたく考えています。

### 2、「本会の横軸組織」への足がかり

(一社)兵庫県中小企業家同友会の基本的活動は支部活動を中心に行われています。いわゆる縦割り組織です。いい意味では、各支部のカラーも表現でき、責任ある個性的な運営が行われています。その反面、同友会仲間でありながら連携プレーや融合がうまくいかないことも見受けられます。組織が大きくなると頭の痛い問題が多くでてきます。青年部は活動を通じて水平展開できるフラットな人間関係をつくり、全支部が助け合いの精神に満ち溢れる組織づくりを考えています。兵庫同友会の5年後、10年後を見据え、各支部活動が切磋琢磨しベンチマーキング(他の優れているモノを盗み自分に補う)なども行い、更なる組織の活性化の手助けになればと願っています。

### 3、不純な動機で、「歩(ふ)を金(きん)」にする

青年部では、節度があれば不純な活動も肯定的に受け止めます。まだまだ遊びたい盛りで、経営者の気持ちも知らず、お気楽な面もあるでしょう。不純な動機だからこそメンバーや組織が面白く活性化することも大いにあると思います。より深い人間関係の構築、より早く気づくこと、より能動的な活動などを習慣化します。自分がこれから背負う大きな責務を本気で考え、自分自身を環境に順応させるようにします。

(平成15年4月12日 制定)

# 幹事共通職務分掌規定

## 目的

「兵庫青年部青年部は一つ」の原則の基、活動を担保する。

多数のグループで活動する為、各グループの幹事メンバーは共通の職務を認識・遂行することを目的とする。

## 【幹事長】

- ① 幹事の任命
- ② 正副幹事長会の招集・出席
- ③ 幹事会の招集・出席
- ④ 近畿圏サミットへの担当月の出席
- ⑤ 青年部連絡協議会への出席
- ⑥ 幹事会の代表としての活動
- ⑦ 県役員研修への出席
- ⑧ 支部例会への出席
- ⑨ 所属各グループの委員会設置

※委員会とは、各グループ共通の基本委員会ならびに各グループ独自の任意委員会  
基本委員会の構成は、青年部連絡協議会の決議によるものとする

※基本委員会以下とする

総務・例会・交流・拡大・研修

## 【副幹事長および総括幹事】

- ① 幹事長の補佐
- ② 担当委員会および事業の報告
- ③ 正副幹事長会への出席
- ④ 幹事会への出席
- ⑤ 幹事会の議長担当
- ⑥ 担当以外の委員会との連絡・調整
- ⑦ 県役員研修への出席
- ⑧ 近畿圏サミットへの年1回以上の参加
- ⑨ 支部例会への出席

## 【総括幹事】

- ① 県の理事会方針および青年部諸規定の研究・見直し
- ② 他府県青年部の組織体および規定の研究
- ③ 幹事会メンバーでの中間検証の企画・検証
- ④ OB会員・県委員会との連絡
- ⑤ 事務局との調整
- ⑥ 会計に関する業務
- ⑦ 青年部連絡協議会への出席

**【全委員長に共通する職務】**

- ① 月1回、正副委員長会の招集・出席
- ② 月1回、委員会の招集・出席
- ③ 予定者委員会の招集・出席
- ④ 幹事会への出席
- ⑤ 支部例会への出席
- ⑥ 青年部例会の企画・運営
- ⑦ 近畿圏合同例会への参加・参画

**【副委員長】**

- ① 担当委員会の各事業の企画・運営・実施
- ② 委員長を補佐し、万一の場合には、副委員長がその職務を代行する
- ③ 事業責任者を兼務する場合もある

**【運営幹事】**

- ① 委員会及び懇親会を招集・設営に関する業務
- ② 委員会内の連絡網の管理
- ③ 委員会名簿作成・管理
- ④ 委員会・例会の出欠確認に関する業務
- ⑤ 委員会・事業における会計に伴う諸事
- ⑥ 正副委員長会の出席

**【会員】**

- ① 担当委員会への出席
- ② 例会への参加
- ③ 県行事および支部行事への参加

(2023年4月14日 一部改正)

# チラシ作成規定

## 事業目的

各事業のチラシの完成度の均一化と、分かりやすいチラシを作成する体制を整えることを目的とする。

## 事業概要

### 1. 実施内容

#### 1) チェック項目

- 青年部のロゴマークが入っているか
- 表面、及び、申込み欄に青年部のグループ名を明記されているか
- 正しい開催日時、曜日、開催場所、参加費が記載されているか
- 会場の住所、電話番号が記載されているか
- 申し込み方法が明確になっているか
- 申し込み欄に行事名、開催日、FAX 番号は正しく記載されているか
- 「(一社)兵庫県中小企業家同友会」と記載されているか
- 同友会事務局の住所と電話番号が記載されているか
- 「青年部は 42 歳以下を対象とした、経営者・経営者候補が学べる場です。共に学び合い、10 年後の兵庫経済を担う経営者になりましょう。」という文言が入っているか
- キャンセル期限がある場合には、キャンセル期限やその後の対応(返金不可・キャンセルチャージをお支払いいただくなど)が明記されていて、それを確認したことが分かる工夫がなされているか
- 注意事項として「例会中のカメラやビデオの無断撮影の禁止、許可なくインターネットや Facebook などに掲載することは迷惑になる」などが書かれているか

#### 2) 注意事項

- ・デザインは奇抜になりすぎないこと
- ・見る人に不快感を与えない内容にすること
- ・研修のチラシについては、その研修の目的や具体的な内容・効果を記載すること
- ・報告例会のチラシについては、報告者が同友会で何を学び、どう変わったか、どのように活動しているかなどを記載すること
- ・各事業独自の PR ポイントを記載すること
- ・チラシ案は協議案の際に見積とともに幹事会、及び青年部連絡協議会に上程すること(原則として、一発審議にならないようにすること)
- ・チラシのサイズは「A4」、紙質はマット紙で 90 kg 以上とする。大手ネット発注印刷会社は、安さを追求するため、海外の安い用紙を使用し、紙質の縦目・横目を無視した悪質な印刷技術により事務局の丁合に不具合をきたすことがあるので、可能な限り印刷機械を保有する会員企業に発注すること。
- ・チラシの製作依頼時に、チェック項目を製作者に渡すこと
- ・この規定は予算を使用して作成する青年部の公式行事のチラシに適用する

(2023 年 4 月 14 日 一部改正)

## (一社)兵庫県中小企業家同友会青年部慶弔見舞規定

この規定は、原則として該当会員の自主申告により役員が連絡をとって、幹事長の判断により実施します。

- 会員が結婚した場合、祝電ならびに1万円を限度に心のこもった贈り物をする。
- 会員及びその配偶者に子供ができた場合、第一子のみ記念品を贈る。  
(5千円相当)
- 会員が傷病の為、2週間以上の入院をした場合、5千円を限度に見舞金を贈る。ただし同一傷病につき1回とする。
- 本会社屋落成の場合、5千円を限度に祝金を贈る。
- 会員の死亡に際しては、香典1万円及び弔電、供花を贈る。
- 一親等までの葬儀又は社葬の場合は、弔電及び5千円を限度に香典を贈る。
- 株式の一部上場により同友会を退会する場合、1万円を限度に祝金を贈るとともに、記念講演をしてもらう。
- その他、正副幹事長及び幹事会において必要と認められた場合、1万円を限度に祝金等を贈るものとする。

(1997年4月5日 制定)  
(1998年4月4日 一部改正)  
(2024年4月18日 一部改正)

# 会議進行規定

## 1. 幹事会運営について

### 1. 幹事会運営の基本姿勢

- (1) 青年部事業の成功、不成功は幹事会での議論と準備によってほぼ決まる。幹事はその責務を遂行し、全面的に幹事会運営に対し協力補佐する。
- (2) 月1回の幹事会に貴重な時間を割いて集まる各幹事のために空虚感を抱かせぬよう充分配慮する。そのためには事前打合わせ(正副幹事長会議)と、周到なる準備を必要とする。
- (3) 幹事長基本方針、事業計画書を充分理解して、事業推進にもこの幹事長基本方針を反映させていかなければならない。

### 2. 幹事会運営ルール

- (1) 幹事会を遅刻した時は、罰金¥1,000を支払う。罰金は、幹事懇親会費用に充てる。
- (2) 幹事会への出席は、幹事の義務とする。
- (3) 幹事会の開催日程は、年間スケジュールを作成し、配布すること。

### 3. 上程の手続きについて

- (1) 幹事会の4日前までに、事業担当幹事が議案を上程する。
- (2) 総務委員会が、議案を確認し、書類の不備、財務規律の確認を行い、事務局にて印字を行い、当日に持ち込む。
- (3) 事業終了後、幹事会の4日前までに、事業報告書と決算報告書を上程する。
- (4) 事業終了後の幹事会にて、事業内容の報告、決算審議を行うこととする。
- (5) 原則として、協議を経た議案について審議を行う。必要であれば協議の前に討議を行ってよい。
- (6) 会議を議長が適切に行う。(議長は副幹事長が行うものとする)
- (7) 総括幹事は会議の司会を行う。

## 2. 幹事会事業手続きについて

### 1. 事業案および幹事会資料提出について

- (1) 同友会青年部で事業および事項を行なう場合は、幹事会の決議を経なければならない。
- (2) 幹事会に事業案ならびに予算(収入・支出を伴うもの)案の提出を行なう場合は、指定の書式を使用する。
- (3) 幹事会に提出する資料は、毎月提出期限までに担当副幹事長の確認の上議案を明確にし、協議・審議・報告事項の区分を行ない、必要があれば参考資料を添付し、総括幹事まで提出しなければならない。
- (4) 事業終了後は速やかに事業報告および決算報告をまとめ、領収書等の関係書類を添付し、総括幹事までに提出しなければならない。

### 2. 事業計画書及び事業報告書の作成・提出について

- (1) 事業計画書及び事業報告書の作成方法  
事業計画書、収支予算書、事業報告書、決算報告書は所定のフォームを利用してください。書式に関しては、e.doyu [部会掲示板]-[青年部幹事会]「議案書フォーマット」よりダウンロードしてください。

最低限下記項目を明記すること

- ① 事業目的
- ② 実施日時
- ③ 実施場所・会場
- ④ 参加員数計画並びに参加推進方法
- ⑤ 予算総額
- ⑥ 事業内容

- (2) 提出期限について

原則として、各会議開催日の4日前(日曜・祝日を除く)の正午(12:00)までに必ずご提出下さい。

提出期日が守れない場合は上程できかねる場合もありますのでご注意願います。

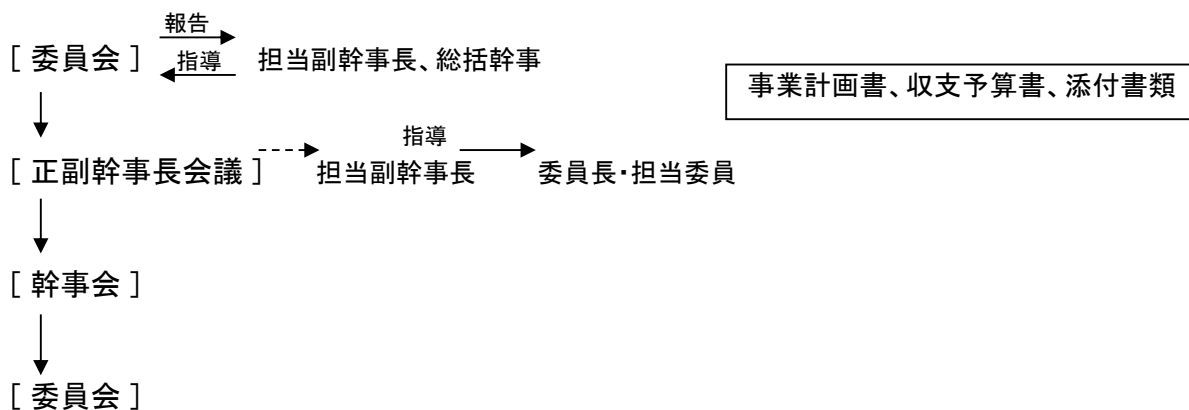
書類の不足、形式的な不備のある場合は、協議、審議が行われません。

くれぐれもご注意願います。

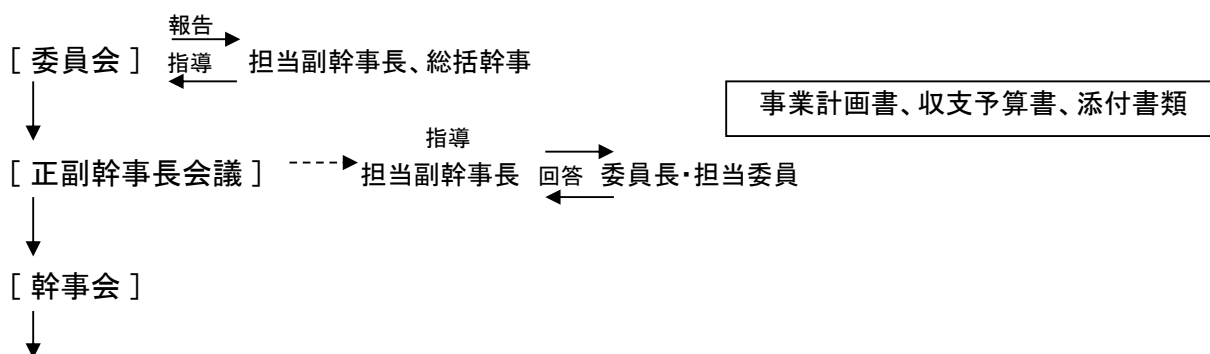
### 3. 幹事会 議案提出の手順

#### (事業計画) 協議→審議

##### (1)協議



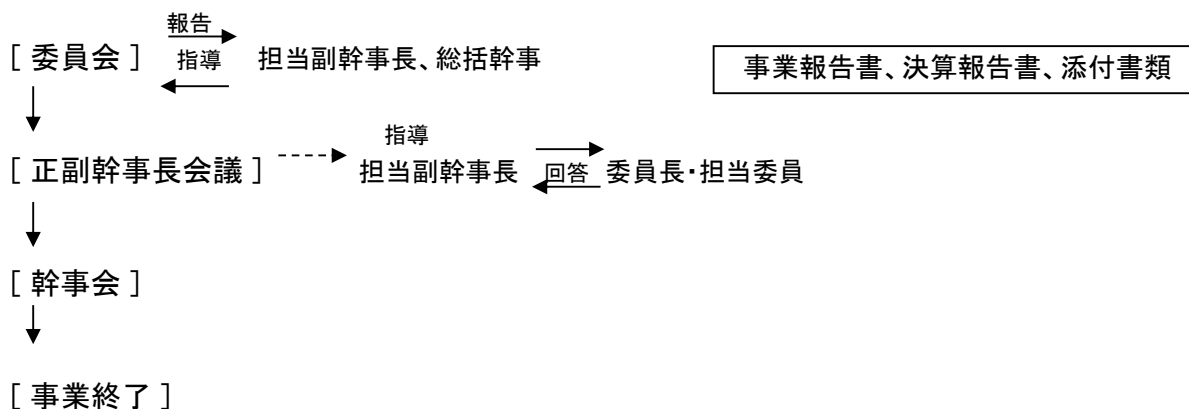
##### (2)審議



#### [事業実施]

#### (事業報告)

##### (4)決算審議



[事業終了]

< 例:幹事会次第 >

(一社)兵庫県中小企業家同友会青年部  
20××年度 第〇〇回 〇〇〇〇〇〇〇〇〇幹事会次第

日時 20××年〇月〇日( )

〇〇時~〇〇時

場所〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

司会〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

1. 開会
2. 出席者の確認並びにオブザーバー申告(定足数確認)
3. 配布資料の確認
4. 幹事長挨拶
5. 理事会及び外部団体等の報告
6. 議長指名
7. 審議事項
8. 協議事項
9. 議長解任
10. 報告事項
11. 要望・依頼事項
12. 副幹事長謝辞及び講評
13. 次回開催日の確認
14. 懇親会の案内
15. 閉会

# 財務規定

## 1. はじめに

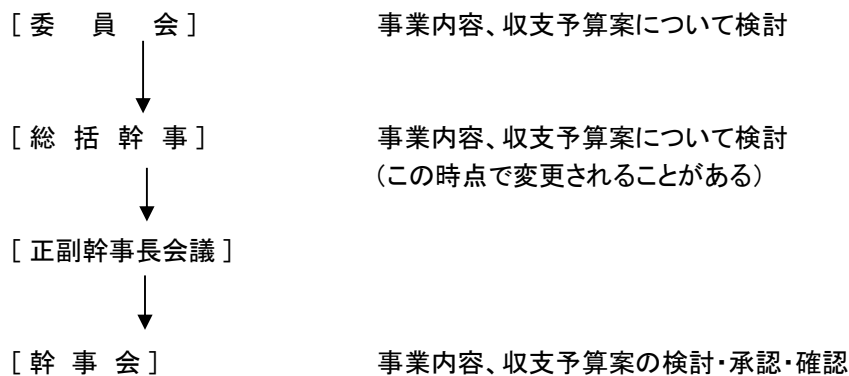
(一社)兵庫県中小企業家同友会青年部(以下、青年部)は運営規定に定めるところの目的達成のために事業を行うものであって、目的と無関係な事業を行うことは認められません。よって各委員会事業は、当該年度の幹事長基本方針に沿って作られる事業計画および収支予算に基づき実施されるものであり、その事業目的達成のために使用する資金及びその用途を社会的責任において明確にする必要があります。事業収支予算書・事業収支決算書作成の際は、その重要性を十分認識の上、作成して下さい。

## 2. 原則

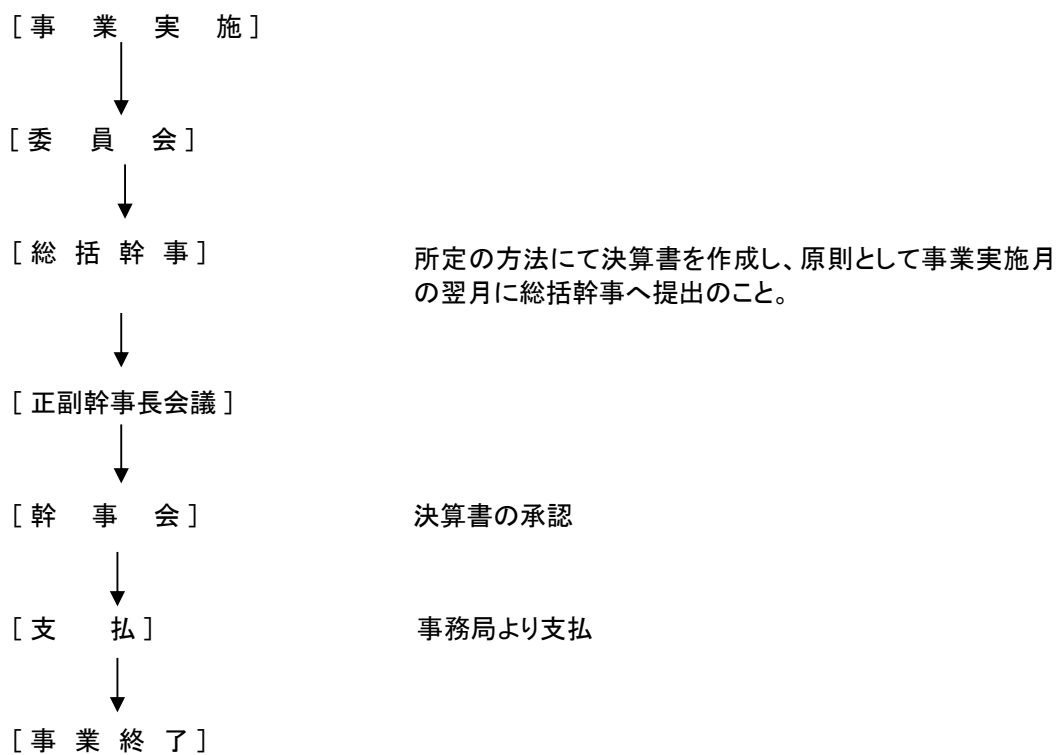
- (1) (一社)兵庫県中小企業家同友会青年部運営規定に基づいて下さい。
- (2) 事業費の全収入、全支出については、幹事会の審議可決により確定すること。
- (3) 基本運営以外の費用については、原則として受益者負担とする。
- (4) 青年部例会の参加費は無料を原則として、懇親会参加者からのみ実費相当額を徴収する。
- (5) 事業終了後、必ず決算審議を行うこととする。
- (6) 経費精算を事務局で完了しない限り決算審議の承認はできないものとする。
- (7) 事務局からキャンセル費請求を行えば決算審議で承認を得られるものとする。

## 3. 会計処理

### ① 事業予算案の承認の流れ



## ② 事業実施から予算の支払、決算書承認への流れ



その他不明な点が御座いましたら総括幹事までお問い合わせください。

(2023年4月14日 一部改正)

(2024年4月18日 一部改正)

# 褒賞規定

## 1. 目的

(一社)兵庫県中小企業家同友会青年部(以下、青年部)は、その活動に貢献した名誉をたたえるため、褒賞を行う。

## 2. 対象

褒賞は、委員会及び会員に対して行う。

## 3. 期間

褒賞は、当該年度における功績に対して行う。ただし、必要に応じてその前後の期間も考慮することができる。

## 4. 審査

褒賞の審査は、幹事長が指名した委員で構成される褒賞委員会がこれを行う。

## 5. 行事

褒賞は、3月例会において、褒賞委員会の決定した方法で行う。

以上

# 青年部役員選考規定

- 第1条 (一社)兵庫県中小企業家同友会青年部(以下、青年部)の役員選考の方法は、本規定によるものとする。
- 第2条 青年部の次年度役員は、青年部役員選考委員会(以下、委員会)において選考される。
- 第3条 委員会は第4条に定める青年部役員選考委員(以下、委員)により構成され、定数を8名以上12名以下とする。
- 第4条
1. 部会長 1名
  2. 運営専務 1名
  3. 運営専務候補者 1名
  4. 幹事長経験者より 4名
  5. 副幹事長または委員長より 4名
  6. 事務局員 1名
- 第5条 青年部連絡協議会は、6月度青年部連絡協議会までに役員選考委員の選出を行わなければならない。幹事長経験者・副幹事長・委員長の委員については、期首に各グループより自薦・他薦問わず、推薦用紙を提出していただき、青連協で選出する。
- 第6条 委員会は、委任状を含め委員の過半数の出席で成立し、議決は原則、出席者の全員一致によるものとする。
- 第7条 青年部役員選考委員長(以下、役員選考委員長)は、第1回委員会において委員の互選により決定する。
- 第8条 委員会は、次年度幹事長立候補を8月中のしかるべき日付まで受け付ける。
- 第9条 幹事長の立候補資格は以下の通りとする。
1. 正会員であること(支部及び青年部に在籍していること)
  2. 青年部で委員長以上の役職経験者であること(副幹事長もしくは総括幹事を経験していることが望ましい)
  3. 経営指針を成文化し、社内で発表していること
  4. 従業員を2名以上雇用していること(家族・他人を問わない)
  5. 9月頃に開催される立候補者選考会(立候補者面接)にリアルで参加できること(立候補者選考会の日程については、8月頃に事務局からFAXもしくはメールで送信される「立候補募集案内」を確認すること)
- 第10条 委員が次年度幹事長に立候補した場合、委員の資格を喪失する。この場合、役員選考委員長が新しい委員を選任する。
- 第11条 委員会は、10月度青年部連絡協議会までに幹事長候補を選出する。
- 第12条 副幹事長候補、総括幹事候補は本会所属会員とし、委員会の同意をうけ、幹事長候補者が指名する。
- 第13条 委員長候補は、原則として副委員長経験者から、幹事長候補者の意見を尊重して、委員会が指名する。
- 第14条 委員会は、次年度の全部会役員候補者中に4分の1以上の役員未経験者を指名するよう努力しなければならない。
- 第15条 委員の任期は、次期役員名簿が承認された総会終了をもって終了とする。
- 第16条 委員会の議事内容は、公表しない。
- 第17条 任期中役員に欠員が生じた時、幹事長の場合は副幹事長の中から、幹事会において選任し、青年部連絡協議会に報告する。  
副幹事長、総括幹事、委員長の場合は幹事長が推薦し、幹事会決議によって選任する。

(2023年4月14日 一部改正)

(2024年4月18日 一部改正)

(2025年4月3日 一部改正)

## 青年部連絡協議会役員選考規定

- 第1条 (一社)兵庫県中小企業家同友会青年部連絡協議会(以下、青連協)の役員選考の方法は、本規定によるものとする。
- 第2条 青連協の次年度役員は、青連協役員選考委員会(以下、委員会)において選考される。
- 第3条 委員会は第4条に定める青連協役員選考委員(以下、委員)により構成され、定数を4名以上6名以下とする。
- 第4条
1. 部会長 1名
  2. 運営専務 1名
  3. 部会長経験者より 1名
  4. 幹事長経験者より 2名
  5. 事務局員 1名
- 第5条 青連協は、毎年5月度青年部連絡協議会までに委員の選出を行わなければならない。部会長経験者・幹事長経験者の委員については、期首に自薦・他薦問わず、推薦用紙を提出していただき、青連協で選出する。
- 第6条 委員会は、委任状を含め委員の過半数の出席で成立し、議決は原則、出席者の全員一致によるものとする。
- 第7条 青連協役員選考委員長(以下、委員長)は、第1回委員会において委員の互選により決定する。
- 第8条 部会長候補は、原則として運営専務がその任にあたる。
- 第9条 運営専務候補は立候補によるものとし、委員会は、次年度運営専務立候補を6月中のしかるべき日付まで受け付ける。
- 第10条 運営専務の立候補資格は以下の通りとする。
1. 幹事長経験者であること
  2. 卒業までに直前部会長を担える年齢であることが望ましい
- 第11条 委員が次年度運営専務に立候補した場合、委員の資格を喪失する。この場合、委員長が新しい委員を選任する。
- 第12条 副部会長候補は、原則として幹事長経験者から選出し、部会長候補が委員会に推薦する。
- 第13条 委員会は、7月度青年部連絡協議会までに部会長(県理事)候補、運営専務候補(県理事)、副部会長候補を選出する。但し、県理事候補に於いては理事会の承認を得るものとする。
- 第14条 幹事長候補は、別途定める青年部役員選考規定によるものとする。
- 第15条 委員の任期は、次期役員名簿が承認された総会終了をもって終了とする。
- 第16条 委員会の議事内容は、公表しない。
- 第17条 任期中、青連協役員に欠員が生じた時、部会長の場合は原則運営専務を青連協において選任する。運営専務の場合は副部会長経験者の中から部会長が推薦し、青連協の決議によって選任できる。部会長と運営専務は県理事のため、理事会の承認を要する。

(2025年4月3日 制定)

# 青年部権限規定

## 第1章 総則

### (目的)

第1条 この規程は、青年部幹事長及び職務分掌で定められた各職位の権限を明確に定め、活動の組織的かつ効果的な運営を図ることを目的とする。

## 第2章 責任および権限

### (職位の責任・権限)

第2条 各職位には、職務分掌に規定された責任の範囲及びその責任遂行に必要な権限が与えられなければならない。

### (権限行使の基準)

第3条 権限は、その行使について権限表によって、あらかじめ設定され、これに従って行使されなければならない。

### (権限の行使者)

第4条 権限は、原則として職務を処理する立場にある職位のものが、自ら行使するものとする。

### (権限の代行)

#### 第5条

1. 出張、病欠その他の自己により、権限を行使すべきものが、その権限を行使することができない場合には、直属上級職位が自ら代行し、もしくは、あらかじめ、その都度上級職位者が指名して代行させることができる。
2. 前項の定めにかかわらず、権限を行使すべきものが、現職のまま長期間にわたって不在となる場合には、別に専任の取扱者を任命して代行させる。

### (権限の委任)

#### 第6条

1. 業務その他の都合により、職務の一部を委任する場合は、直属上級職位者の承認を得た上、その遂行に必要な権限もあわせて委任しなければならない。
2. 前項の場合、委任者はその職務を委任したことによって、その責務および処理についての監督の責任を免れるものではない。また受任者は委任者に対して、経過および結果に付いて、必ず報告しなければならない。

### (委任する責任権限の範囲)

第7条 各職位の職務および権限のうち、委任してはならない事項については、その都度定める。

### (権限の調整)

第8条 職務遂行にあたり職位相互間が一致しないときは、上級職位の決定または協議による。

# 職務権限一覧

《略号説明》 △：上程 ●：決済/決議 ◇：報告

		委員 長	副 幹 事 長	総 括 幹 事	幹 事 長	幹 事 会	副 部 会 長	運 営 専 務	部 会 長	連 絡 協 議 会	総 会
1. グループ事業支出の予算超過・予算外（幹事会で修正審議できない場合）											
予算・予備範囲内	10万円以上					●	◇				
	1万円～10万円未満					●	◇				
	1万円未満					●	◇				
2. プロジェクト事業支出の予算超過・予算外（連絡協議会で修正審議できない場合）											
予算・予備範囲内	10万円以上								●	◇	
	1万円～10万円未満								●	◇	
	1万円未満								●	◇	
3. 幹事会											
	招集				●						
	青年部グループ事業計画案	△	△	△	△	●					◇
	委員会報告	△				◇					
4. 委員会											
	招集	●									
5. 青年部連絡協議会											
	招集								●		
	青年部PJ事業計画案				△		△	△	△	●	◇
6. 人事											
	入会					◇				●	
	退会					◇				●	
	役員任命										●
(幹事長)	役員欠員の補充		△	△		●				◇	
(副幹事長以下)	役員欠員の補充				△	●				◇	
(部会長)	役員欠員の補充						△	△		●	
(副部会長)	役員欠員の補充								△	●	
	褒章（各グループ）			△	●						
	褒章（全グループ）							△	●		
7. 規定											
	運営規定の改定・廃止									△	●
	規定制定・改定・廃止					△	△	△	△	●	
8. 渉外											
	外部団体への書面提出								●	◇	

# 青年部キャンセル規定

この指針は、青年部事業において、より多くの参加者に満足いただける事業運営をめざして、また、参加費やキャンセル料金によって申込者が誤解や不信感を抱かないよう、参加費の告知と徴収について、どうあるべきか示す。

2. に示す、キャンセル料金の設定基準に基づき、できるかぎり、キャンセル料金は設定しないように事業計画を行うべきである。

## 1. 参加費及びキャンセル条件を明示する

参加費及びキャンセル条件は、下記の方法で参加者へ告知を徹底する。

- (ア) 事業案内の文面に明記する(チラシ、e.doyu、FAX 案内等)
- (イ) 申込み時に申込み者への告知を徹底する
- (ウ) 申し込み受付は、FAX、e.doyu によるものとし、キャンセル料金が設定されている事業であることを確認した履歴が残るような措置を講じる
- (エ) キャンセル受付時に、キャンセルによる負担の有無をお伝えし、キャンセル費用が発生する場合は、その場で徴収するか、徴収方法を確認する
- (オ) キャンセル料金が設定されている事業は、キャンセル料金が発生する前に、申込者全体へ、キャンセル条件についての告知を行う
- (カ) キャンセル料金が設定されている場合、キャンセル条件の目的や理由を明記する

## 2. キャンセル料金設定の基準

下記のいずれかに当てはまる場合は、キャンセル料金を設定してもよい。  
ただし、キャンセル料金は、できる限り設定しない。

- (ア) 参加人数が制限されている場合
- (イ) 参加キャンセルが、事業の品質や運営に、大幅に悪影響を与える場合
- (ウ) 一定期日時点での参加人数により、会場変更等の支出の変更を行う場合

## 3. キャンセル料金が設定されている事業での参加費徴収は、事業開催後 1 週間以内のできるだけ早期に行う。

特に設定のない場合、事業の黒字、赤字にかかわらず、キャンセル料金は、事前の案内通りに請求する。

- (ア) 可能であれば、入金後に参加登録をする
- (イ) キャンセル受付時にキャンセル料金を徴収する、もしくは徴収の期限を決める
- (ウ) 事業責任者が、前項(イ)が実施されているか確認を行う
- (エ) 事業開催後、事務局よりキャンセル料金の請求を一斉に行う
- (オ) 事業責任者はキャンセル料金の徴収状況を副幹事長経由で正副幹事長に報告を行う
- (カ) キャンセル料金の徴収期限は事業開催後2ヶ月とする
- (キ) 事業責任者は、キャンセル料金の徴収期限に到達して最初に開催される幹事会までの間、幹事会にて徴収状況の報告を行う

## 4. キャンセル料金の設定について

できるかぎり、キャンセル料金を設定しない。

- (ア) キャンセル料金の徴収範囲は、できる限り青年部会員本人までとする。
- (イ) キャンセル料金の発生時期は、できる限り開催日の直近とする

## 5. 事業計画案に対応方法を明記する

- (ア) 参加費の徴収方法および、キャンセル条件について、事業計画案に明記し、幹事会若しくは委員会にて、内容を精査する

(イ) キャンセル料金が設定されている場合は、キャンセル料金の徴収について、役員と事業担当委員会メンバーへの周知を徹底する

6. 決算審議について

(ア) 決算審議では、参加人数を明記する

(イ) キャンセル条件が設定されている場合、キャンセル者の人数を明記すると共にキャンセル料金の徴収状況を明記する

(ウ) 天災および不慮の事故、伝染病などによるキャンセルの場合は、幹事長一任とする。

以上

**青年部活動のすすめ方（青年部担当事務局のサポート基本業務）**

2025年2月

兵庫同友会の部会組織である青年部は自主運営を基本としています。事務局は青年部が同友会理念をもとにした青年部らしい活動を進めるために、原則として下記の内容についてサポートします。ただし、事務局業務時間（平日午前9時から6時まで）以外に対応できない場合がありますので、ご了解ください。

**1. 青年部連絡協議会**

- ・担当事務局が参加します。
- ・入退会資料、会員数、会員リストの管理を事務局が行い、連絡協議会の資料を作成し、Google フォームにアップします。（入会提案の条件、①青年部入会申込書、②月割会費納入）
- ・担当事務局は理事会報告ならびに青年部入退会提案を行います。
- ・役員選考委員として、次期幹事長候補選考に関わります。

**2. 例会・ウエルカムの開催について**

- 1) 幹事会への企画上程や会場予約等は幹事会が自主的に行いますが、会場とのトラブルが起こらないよう、会場予約・キャンセルはメール等の証拠が残る形で行って下さい。会員への月次定期発送のチラシ封入は、青年部定例日開催の報告例会もしくはウエルカム例会のみとし、複数回発送は行いません。
- 2) 各グループの月次報告例会・ウエルカム例会については、事務局がFBメッセージグループに準備グループを作成し、担当委員会より提出された資料準備ならびに edoyu との連携名簿作成・名札・立替金請求書・備品等の作成を行います。  
※準備に関しては、edoyu 青年部掲示板の「青年部例会開催の事前準備」を参照してください。
- 3) 行事当日は、原則として事務局は参加しません。会員の出欠確認は D-checkin を活用し、会員外の出欠は受付簿に記録を残してください。本会入会の確度の高いゲストが5名以上参加する場合に限り、そのグループからの要請があれば、事務局内で調整し、事務局員を派遣することがあります。ただし、他の業務の関係で、どうしても都合がつかない場合はご容赦ください。

**4) 例会終了処理**

- ・行事終了後一週間以内に、受付簿、欠席者の立替金請求書、青年部旗などの返却備品とともに、事務局に返却してください。例会プレ会場費などのその他の費用清算もその時に行うのがベストです。事務局清算は、領収証(原本)が必要です。領収証の管理は担当者が責任をもって行って下さい。ネット購入の際も必ず領収証(見積書や配達記録ではないもの)を準備してください。購入先からの請求書払いの場合は、宛名を(一社)兵庫同友会青年部第〇グループとして事務局住所あてに費用明細(第〇グループ 9月例会チラシ代など)が分かるように依頼してください。また行事開催翌月末までに、事業開催報告書(事業決算書)を必ず事務局に提出してください。

- 重要● チラシやお弁当、備品等は、会員企業からの購入を原則としています。企画段階の予算提案の際には、担当者が知っているだけなどの安易な発注先を選択せずに、必ず同友会企業に発注してください。

**3. 例会以外の事業**

前記定例報告例会以外の行事は、自主運営開催とします。幹事会承認行事(予算決議行事)については、各グループからの依頼があった場合は、以下のように対応します。

- 1) 会員の参加費は、口座振替となります。終了後すみやかに参加者リストを事務局に提出してください。事務局から口座引き落とし手続きを行います。ゲスト参加者の場合のみ当日現金徴収をお願いします。その場合は、事前にゲスト名を申し出いただき、事務局より必要領収証を発行します。懇親会を開催する場合は、懇親会会場から参加者個人宛の領収証を発行してもらい、現場で支払ってください。
  - 2) その他資料印刷は、適正枚数の依頼であれば印刷準備します。ただし、データまたは原紙での原稿を開催の3営業日前までに事務局に事前依頼してください。
  - 3) 備品等の貸し出しについては、事務局に相談の上、対応できることがあれば協力します。
- ※上記準備依頼については、開催10日前までには、担当事務局に連絡すること、直前の依頼に関しては対応できない場合がありますので、ご了解ください。

※MG研修に関しては、別途ご相談ください。

#### 4. 例会・委員会事業・委員会等の edoyu スケジュール登録について

1) edoyu のアクセス権限(管理者設定)は、年度開始時に下記のように付与します。

各グループ権限→幹事メンバー、幹事会権限→正副幹事長、各委員会権限→正副委員長

2) 上記権限者以外の担当者が行事案内を行う場合、ならびに行事登録後の出欠変更権限者の追加設定は、原則として委員長以上が担当事務局に権限付与依頼を行ってください。

#### 5. 入会

・青年部運営規程に青年部会員は「兵庫県中小企業家同友会会員及び会員企業の後継者(1社あたり1名まで)をもって構成する」とあります。入会資格を有するゲスト経営者の入会意思が確認出来たら、すみやかに担当事務局までご連絡ください。

1) 本会未入会のゲスト経営者が入会される場合は、入会手続きに事務局が訪問します。その際に、事務局から同友会と会活動の説明を行い、同友会入会申込書・青年部入会申込書に記入いただき、同友会入会申込金2万円、2ヶ月分会費1万4千円、ならびに青年部の月割会費と会費口座引落申込書(要銀行印)を頂戴します。

2) 同友会企業の後継者が青年部に入会される場合は、青年部入会申込書を記入してもらって下さい。年度末までの月割会費は、①その時にもらって後日申込書とともに事務局に届け、事務局から領収証を郵送する、②申込書を事務局に届け、事務局から入金依頼する、のどちらかでお支払いいただきます。(後継者入会の場合は、事務局が訪問することはありませんので、②の場合は青連協の入会承認に間に合わない場合があります)

#### 6. その他

・グループ運営に必要な、名簿等は、兵庫同友会個人情報保護方針に基づいたデータ項目のみ加工してお渡しすることができます。担当事務局に申し出て下さい。

※ただし、デジタルデータの取り扱いは十分に留意し、外部への流出は厳禁とします。

例: 第1グループの今年度卒業生のリスト、阪神支部の青年部対象者リスト など

以上